

青梅市
学校施設のあり方に関するアンケート調査
調査結果報告書

令和6年11月

目次

第1章 調査の概要.....	1
第2章 小学生保護者調査.....	3
第3章 小学生本人調査.....	23
第4章 中学生保護者調査.....	29
第5章 中学生本人調査.....	49
第6章 未就学児保護者調査.....	54
第7章 青梅市内在住の17歳調査.....	71
第8章 青梅市内在住の18歳以上無作為抽出調査.....	87

第 1 章 調査の概要

1 . 対象者および全体回答数等

本調査は、以下の 7 区分を対象として実施しました。

No.	対象者	人数	回答数	回答割合
1	青梅市立学校に通う小学校 6 年生の保護者	897	156	17.4%
2	青梅市立学校に通う小学校 6 年生	897	655	73.0%
3	青梅市立学校に通う中学校 3 年生の保護者	947	133	14.0%
4	青梅市立学校に通う中学校 3 年生	947	507	53.5%
5	青梅市内保育園等に通う未就学児の保護者	654	140	21.4%
6	青梅市内在住の 1 7 歳	1,169	197	16.9%
7	青梅市内在住の 1 8 歳以上無作為抽出	998	177	17.7%
	合計	6,508	1,965	30.2%

2 . 調査期間・実施方法

本調査の実施期間・調査の実施方法は、以下の通りです。

No.	対象者	実施期間	調査の実施方法
1・2	青梅市立学校に通う 小学校 6 年生・保護者	令和 6 年 9 月 9 日 ~ 令和 6 年 10 月 4 日	・ Q R コード入りのチラシを学校および 保育園等経由にて配布 ・ インターネット上の入力フォームにて 回答
3・4	青梅市立学校に通う 中学校 3 年生・保護者		
5	青梅市内保育園等に通う 未就学児の保護者	令和 6 年 9 月 18 日 ~ 令和 6 年 10 月 3 日	
6	青梅市内在住の 1 7 歳	令和 6 年 9 月 17 日 ~ 令和 6 年 10 月 3 日	・ 住民基本台帳から抽出した対象へ郵送 により Q R コード入りのチラシを配布 ・ インターネット上の入力フォームにて 回答
7	青梅市内在住の 1 8 歳以上無作為抽出		

3 . 報告書の見方

- ・ 調査結果の数値は、各問の回答者数（n）を基数とした百分率（％）で表記しています。
- ・ 集計は、小数第 2 位を四捨五入し、小数第 1 位までを表記しています。このため、回答比率の合計が、100.0%にならない場合があります。また、複数回答可の質問では、回答者数（n）に対する回答比率のため、回答比率の合計が 100.0%を超える場合があります。
- ・ 本報告書では、なるべく調査票そのままの表現を用いていますが、スペース等の関係から一部省略した表現としている箇所があります。
- ・ 回答者数が少ないものについては、比率が動きやすく分析には適さないため、参考値として示すにとどめている場合があります。
- ・ 本報告書においては、学校の規模別や地域別等の分析を行った上で、傾向の差がみられた設問等について結果を掲載しています。分析を行う上での、区分の考え方は次ページの表の通りです。

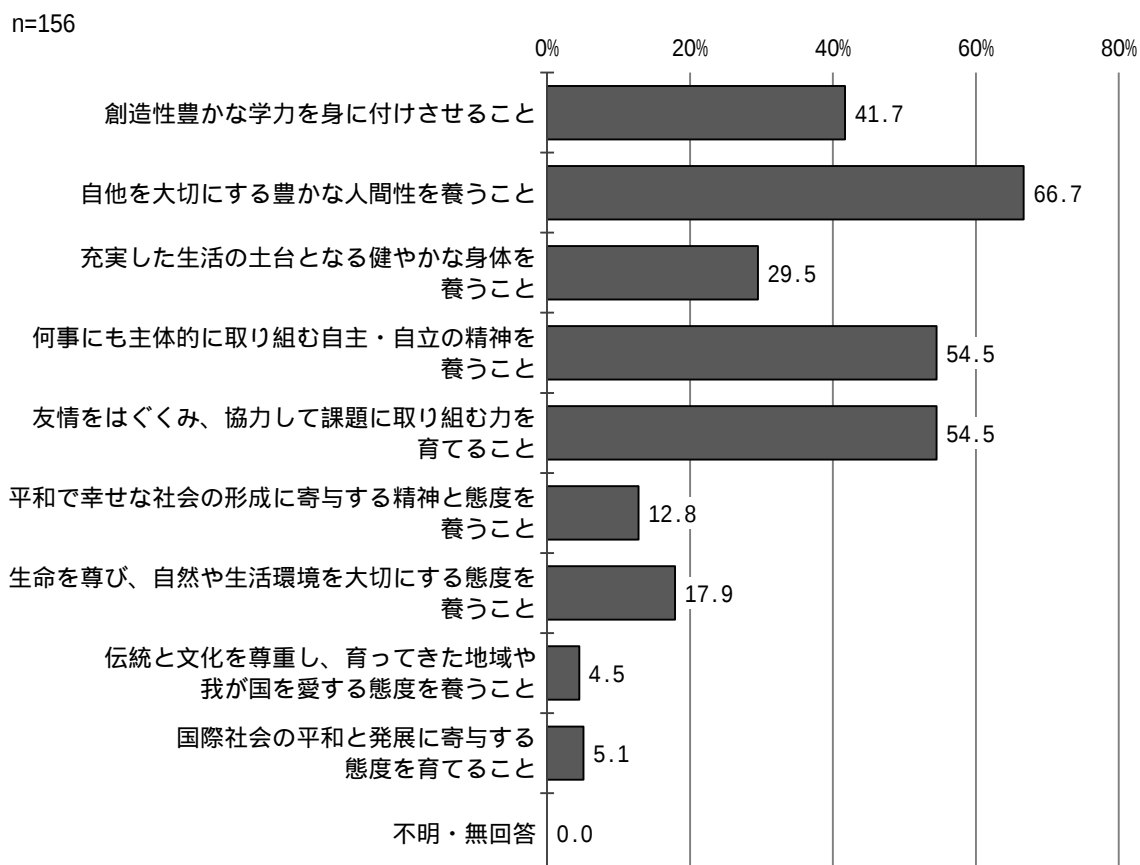
< 分析区分の考え方 >

分析軸	調査種類		区分	該当する学校
学校の規模	1 2 5	○ 青梅市立学校に通う小学校 6 年生・保護者 ○ 青梅市内保育園等に通う未就学児の保護者	単学級の学校	第六小学校・成木小学校・藤橋小学校・第七小学校・友田小学校
			1 学年 2 学級	第一小学校・河辺小学校・若草小学校・第四小学校・霞台小学校・吹上小学校・第五小学校・今井小学校
			1 学年 3 学級以上	第二小学校・第三小学校・新町小学校
	3 4	○ 青梅市立学校に通う中学校 3 年生・保護者	1 学年 2 学級以下	西中学校・第七中学校・第六中学校・吹上中学校
			1 学年 3 学級	第一中学校・霞台中学校・泉中学校
			1 学年 4 学級以上	第二中学校・第三中学校・新町中学校
小学校の規模	6	○ 青梅市内在住の 1 7 歳	単学級の学校	第六小学校・第七小学校・成木小学校
			1 学年 2 学級	第一小学校・河辺小学校・今井小学校・第四小学校・霞台小学校・藤橋小学校・第五小学校・友田小学校・吹上小学校
			1 学年 3 学級以上	第二小学校・新町小学校・第三小学校・若草小学校
中学校の規模	6	○ 青梅市内在住の 1 7 歳	1 学年 2 学級以下	第一中学校・第七中学校・第六中学校・吹上中学校
			1 学年 3 学級	西中学校・霞台中学校
			1 学年 4 学級以上	第二中学校・新町中学校・第三中学校・泉中学校
地域性 4 地区	1 2 5 6	○ 青梅市立学校に通う小学校 6 年生・保護者 ○ 青梅市内保育園等に通う未就学児の保護者	西部	第五小学校・第六小学校
			北部	第七小学校・成木小学校
			中央部	第一小学校・第二小学校・友田小学校・第四小学校・河辺小学校
			東部	第三小学校・吹上小学校・新町小学校・霞台小学校・若草小学校・今井小学校・藤橋小学校
	3 4 6	○ 青梅市立学校に通う中学校 3 年生・保護者 ○ 青梅市内在住の 1 7 歳	西部	西中学校
			北部	第六中学校・第七中学校
			中央部	第一中学校・第二中学校・霞台中学校
			東部	第三中学校・吹上中学校・新町中学校・泉中学校
地域性 6 地区	1 2 5 6	○ 青梅市立学校に通う小学校 6 年生・保護者 ○ 青梅市内保育園等に通う未就学児の保護者	西部	第五小学校・第六小学校
			北部	第七小学校・成木小学校
			中央部	第一小学校・第四小学校・吹上小学校
			南部	第二小学校・友田小学校
			東部 1	河辺小学校・霞台小学校・若草小学校
			東部 2	第三小学校・新町小学校・今井小学校・藤橋小学校
	3 4 6	○ 青梅市立学校に通う中学校 3 年生・保護者 ○ 青梅市内在住の 1 7 歳	西部	西中学校
			北部	第六中学校・第七中学校
			中央部	第一中学校・吹上中学校
			南部	第二中学校
			東部 1	霞台中学校・泉中学校
			東部 2	第三中学校・新町中学校
年代	7	○ 青梅市内在住の 1 8 歳以上無作為抽出	30 代以下 40 代・50 代 60 代以上	

第2章 小学生保護者調査

問2 お子さんが通う学校が力を入れてほしい教育内容をお聞かせください。（複数回答）

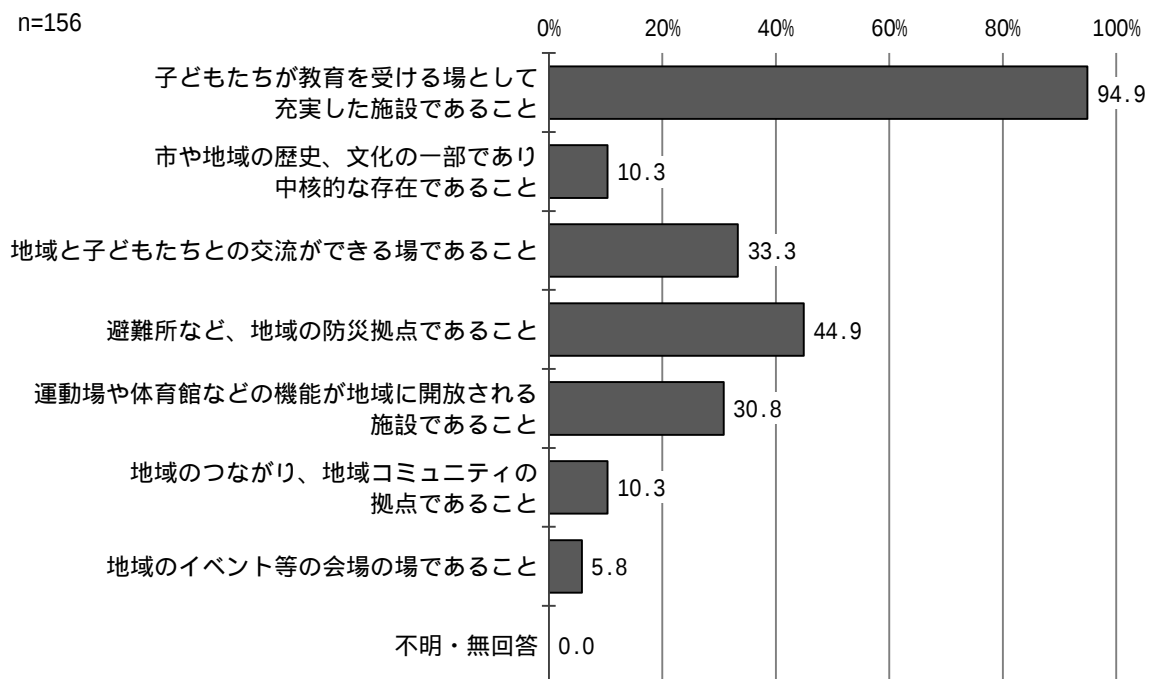
お子さんが通う学校が力を入れてほしい教育内容についてみると、「自他を大切にする豊かな人間性を養うこと」が66.7%と最も多く、次いで「何事にも主体的に取り組む自主・自立の精神を養うこと」「友情をはぐくみ、協力して課題に取り組む力を育てること」が54.5%となっています。



問3 お子さんが通う学校に期待する学校施設をお聞かせください。

(複数回答)

お子さんが通う学校に期待する学校施設についてみると、「子どもたちが教育を受ける場として充実した施設であること」が94.9%と最も多く、次いで「避難所など、地域の防災拠点であること」が44.9%、「地域と子どもたちとの交流ができる場であること」が33.3%となっています。



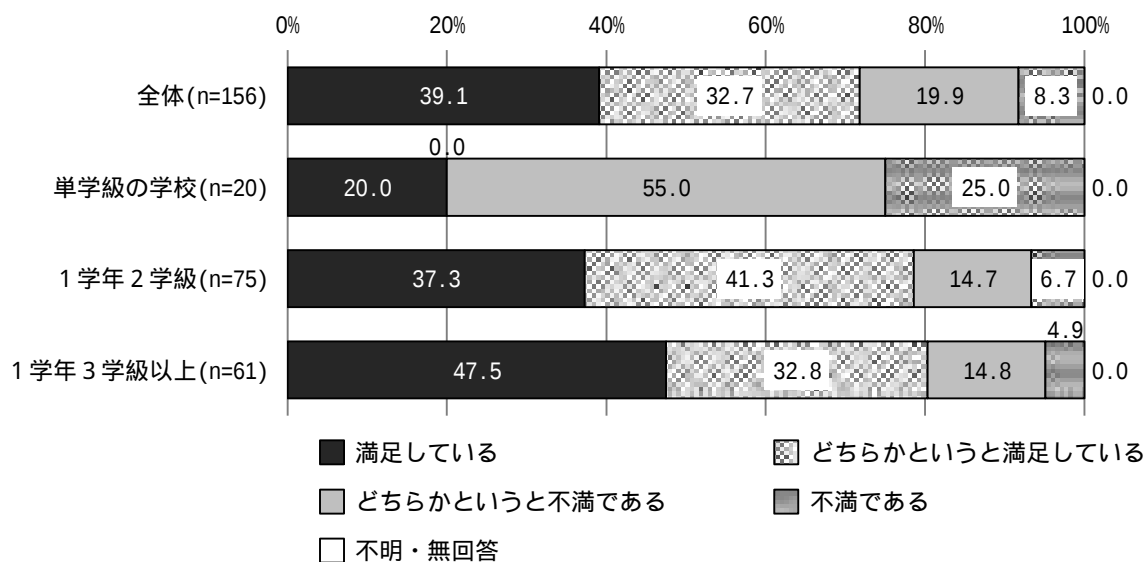
問5 お子さんが通っている学校の1学年の学級数に満足していますか。

× 学校の規模

(単数回答)

学級数への満足度についてみると、全体では「満足している」が39.1%と最も多く、次いで「どちらかという満足している」が32.7%となっています。

学校の規模別にみると、規模が大きいほど「満足している」が多くなっています。＜単学級の学校＞では「不満である」、「どちらかという不満である」が80%を占めています。

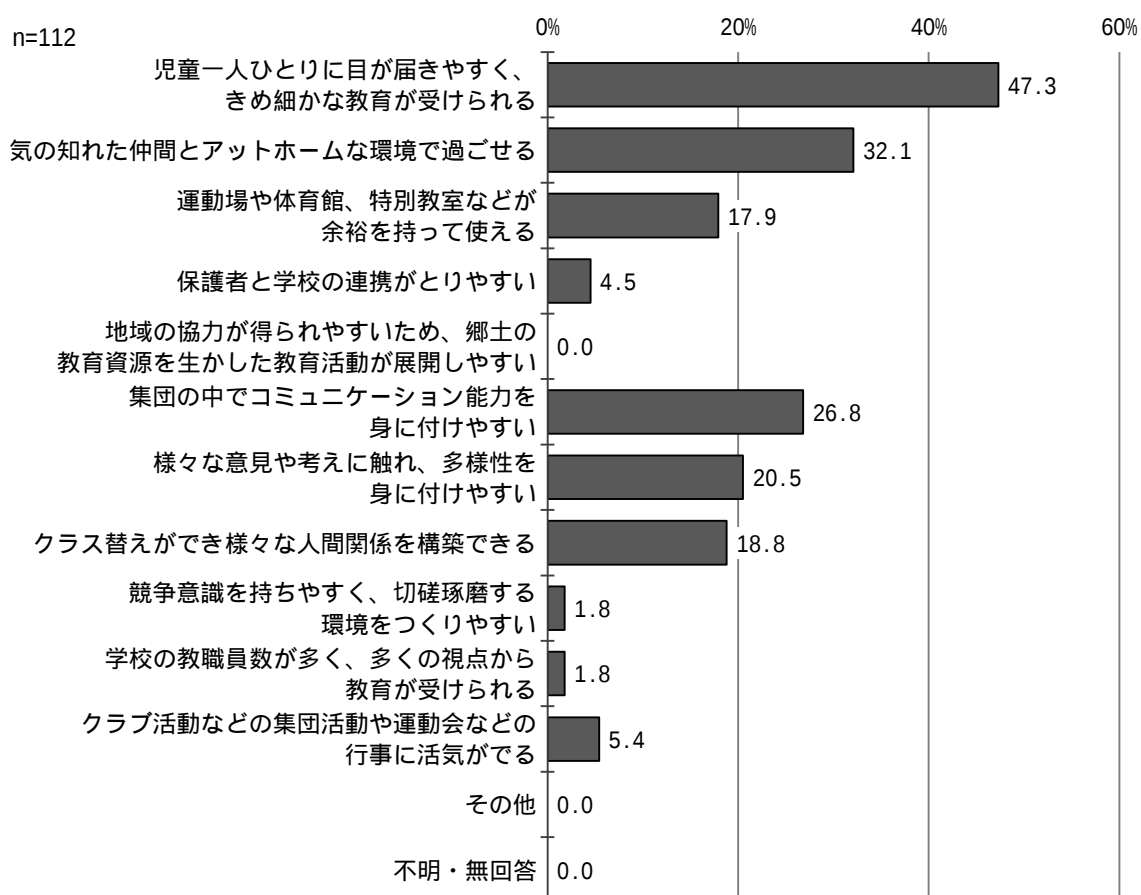


問6 問5で「1」または「2」(学級数に満足している側)を選んだ方にお聞きします。
「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

学級数に満足している理由についてみると、全体では「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が47.3%と最も多くなっています。

学校の規模別にみると、<1学年2学級>では、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせる」が多くなっています。

<1学年3学級以上>では、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」「様々な意見や考えに触れ、多様性を身に付けやすい」が多くなっています。



「その他」の内容について、記述回答はありません。

× 学校の規模

%		児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる	気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせる	運動場や体育館、特別教室などが余裕を持って使える	集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい	様々な意見や考えに触れ、多様性を身に付けやすい	クラス替えができ様々な人間関係を構築できる	クラブ活動などの集団活動や運動会などの行事に活気がでる
学校の規模の項目	全体(n=112)	47.3	32.1	17.9	26.8	20.5	18.8	5.4
	1学年2学級(n=59)	52.5	39.0	20.3	18.6	10.2	15.3	1.7
	1学年3学級以上(n=49)	38.8	18.4	16.3	38.8	34.7	24.5	10.2

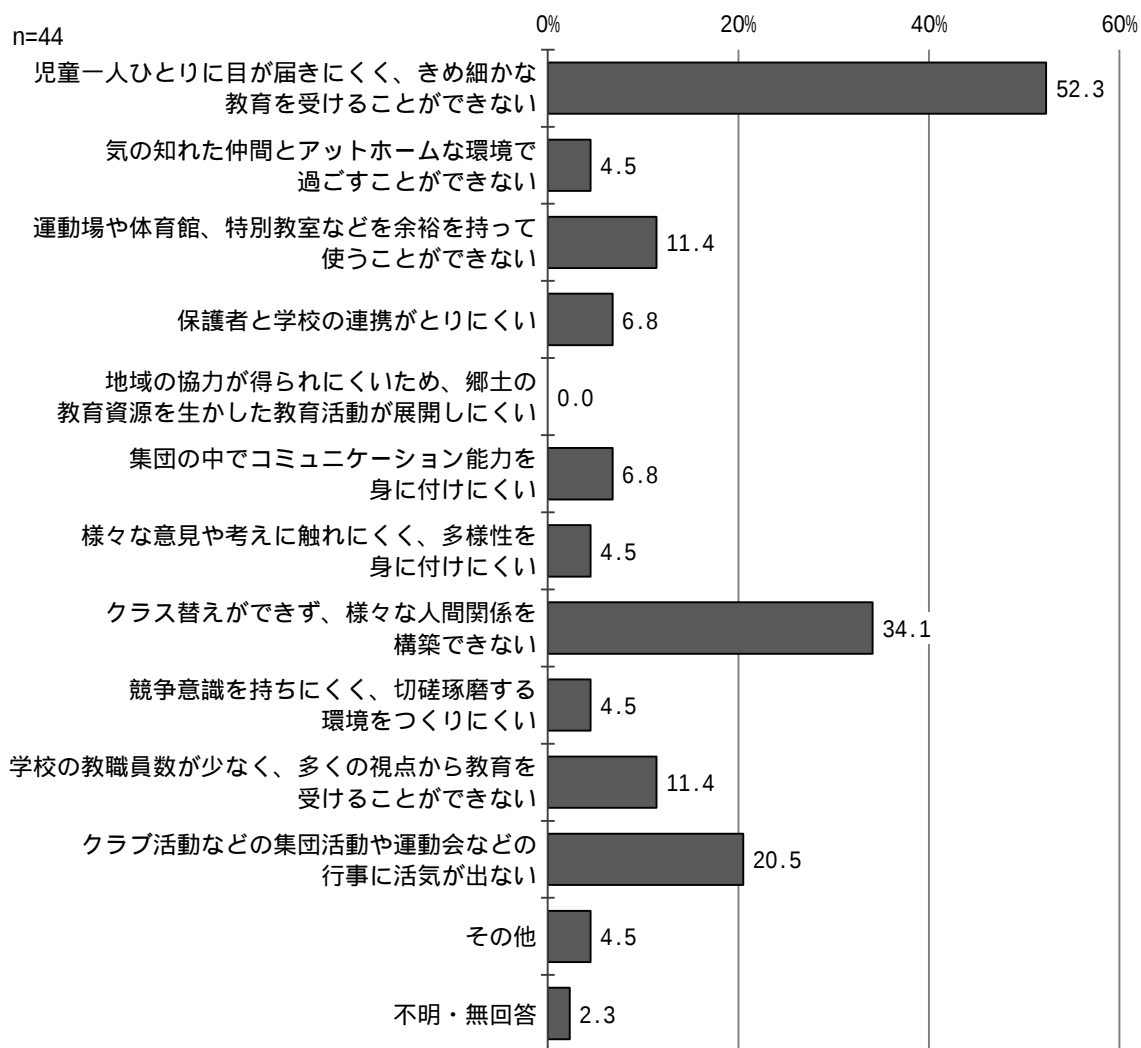
回答が多い選択肢のみを掲載。<単学級の学校>は母数が4と少なく、掲載を省略しています。

問7 問5で「3」または「4」(学級数に不満である側)を選んだ方にお聞きします。

「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。

(複数回答)

学級数に不満である理由についてみると、全体では「児童一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな教育を受けることができない」が52.3%と最も多く、次いで「クラス替えができず、様々な人間関係を構築できない」が34.1%、「クラブ活動などの集団活動や運動会などの行事に活気が出ない」が20.5%となっています。



「その他」の内容

- 学級の人数が決まっていることはわかっているが、1人増えたり減ったりすることによってクラス替えがあったりなかったり落ち着かない。ある程度、各学校の裁量に任せてもいいのでは。
- 1クラスの人数が多すぎる。一年生の頃には身体が小さいので狭さを感じにくかったが、6年生にもなると皆な身体が大きくなっているのでとても狭く感じた。これだけぎゅうぎゅう詰めだと冷房も効きづらく猛暑の季節は授業に集中しづらいのでは。

学校の規模別の集計は次のページに掲載。

学級数への不満 × 学校の規模

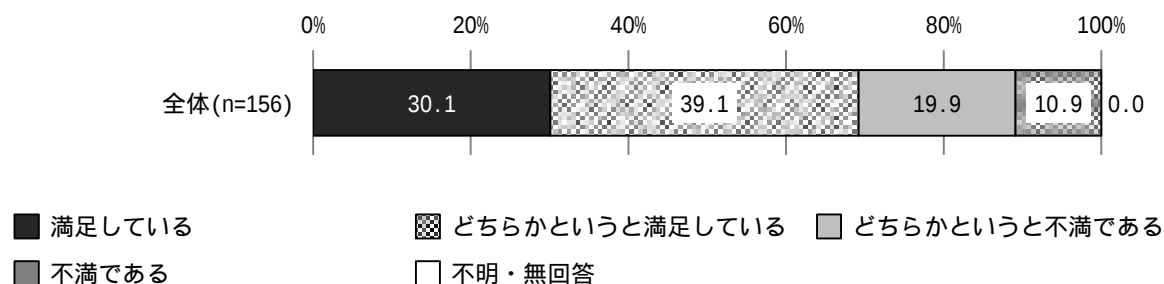
学級数に不満である理由について、学校の規模別にみると、<単学級の学校>では、「クラス替えができず、様々な人間関係を構築できない」が87.5%と最も多くなっています。

%		児童一人ひとりに 目が届きにくく、 きめ細かな教育が 受けることができ ない	運動場や体育館、 特別教室などが余 裕を持って使うこ とができない	保護者と学校の連 携がとりにくい	集団の中でコミュ ニケーション能力 を身に付けにくい	クラス替えができ ず、様々な人間関 係を構築できない	学校の教職員数が 少なく、多くの視 点から教育が受け ることができない	クラブ活動などの 集団活動や運動会 などの行事に活気 が出ない
学校の 規模の 項目	全体(n=44)	52.3	11.4	6.8	6.8	34.1	11.4	20.5
	単学級の学校(n=16)	12.5	-	6.3	12.5	87.5	12.5	37.5
	1 学年 2 学級(n=16)	68.8	-	12.5	6.3	6.3	12.5	18.8
	1 学年 3 学級以上(n=12)	83.3	41.7	-	-	-	8.3	-

回答が多い選択肢のみを掲載。

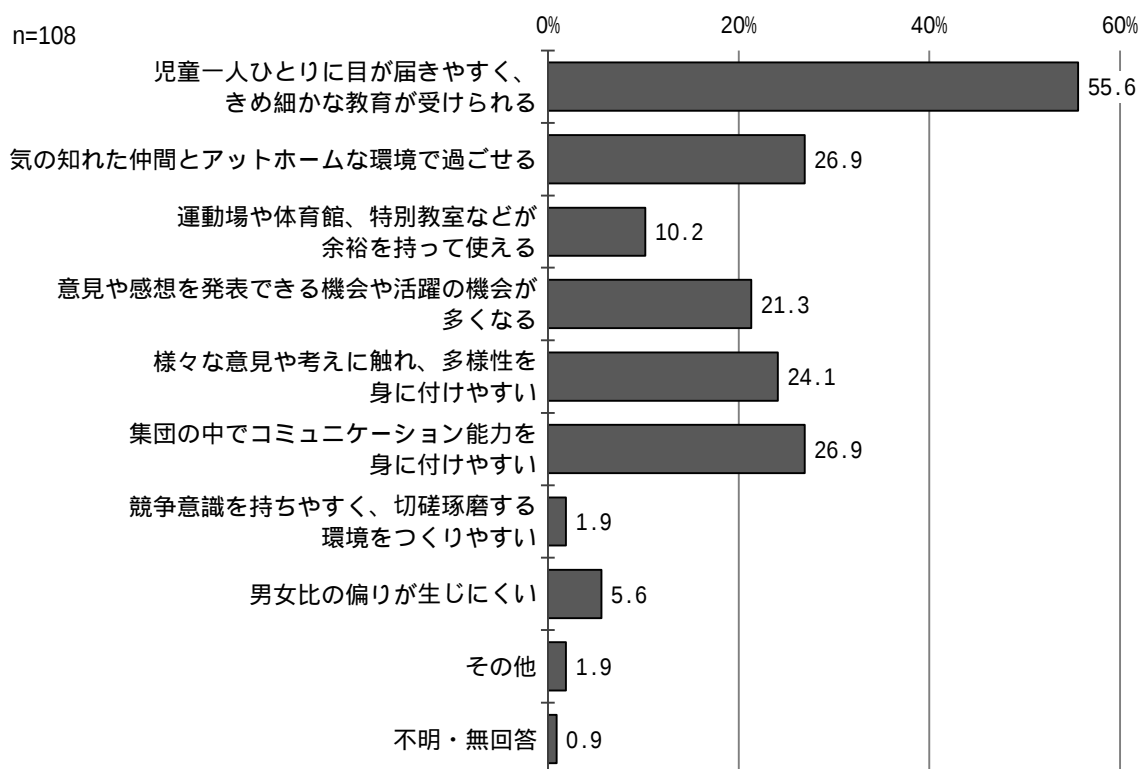
問 9 お子さんが通っている学校の 1 学級の子どもの数に満足していますか。（単数回答）

1 学級の子どもの数の満足度についてみると、「どちらかという満足している」が 39.1%と最も多く、次いで「満足している」が 30.1%、「どちらかという不満である」が 19.9%となっています。



問 10 問 9 で「1」または「2」（1 学級の児童数に満足している側）を選んだ方にお聞きします。「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。（複数回答）

1 学級の児童数に満足している理由についてみると、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が 55.6%と最も多く、次いで「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせる」「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」が 26.9%となっています。

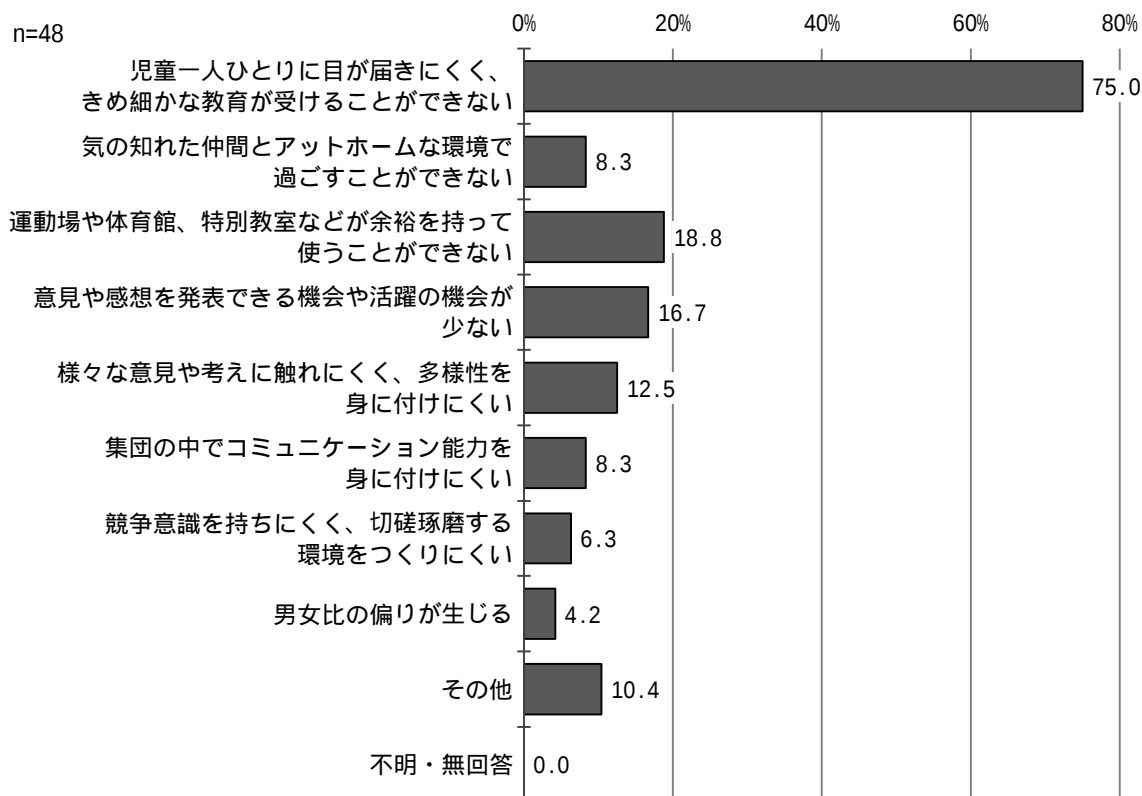


「その他」の内容

- 教室の広さに対する児童数がちょうどよさそう。
- 3 クラスで、人数を分けているので、特に満足も不満もありません。

問 11 問 9 で「3」または「4」(1学級の児童数に不満である側)を選んだ方にお聞きします。「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

1学級の児童数に不満である理由についてみると、「児童一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな教育が受けることができない」が75.0%と最も多く、次いで「運動場や体育館、特別教室などが余裕を持って使うことができない」が18.8%、「意見や感想を発表できる機会や活躍の機会が少ない」が16.7%となっています。



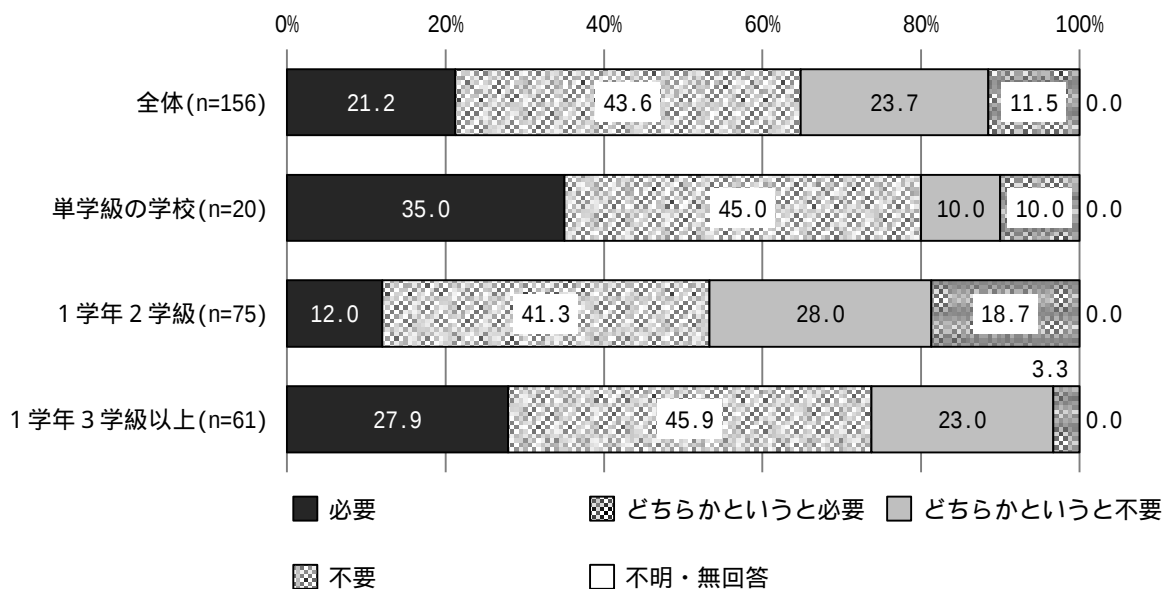
「その他」の内容

- 教室が人数に対して狭い
- 教室が狭い
- パーソナルスペースが狭いことによって、ザワザワしている印象があり落ち着かない子もいる様子
- 1クラスの人数が多すぎる。一年生の頃には身体が小さいので狭さを感じにくかったが、6年生にもなると皆な身体が大きくなっているのととても狭く感じた。これだけぎゅうぎゅう詰めだと冷房も効きづらく猛暑の季節は授業に集中しづらいのでは。
- 1クラスの人数が定員ギリギリなので、他の学年に比べると先生の目が届いていないのではないかとおもう

問 12 1 学年 1 学級が見込まれる学校などについては、統合するなどの小規模校対策は必要
 だと思いますか。 × 学校の規模 (単数回答)

小規模校対策が必要だと思うかについてみると、全体では「どちらかという必要」が 43.6%と
 最も多く、次いで「どちらかという不要」が 23.7%、「必要」が 21.2%となっています。

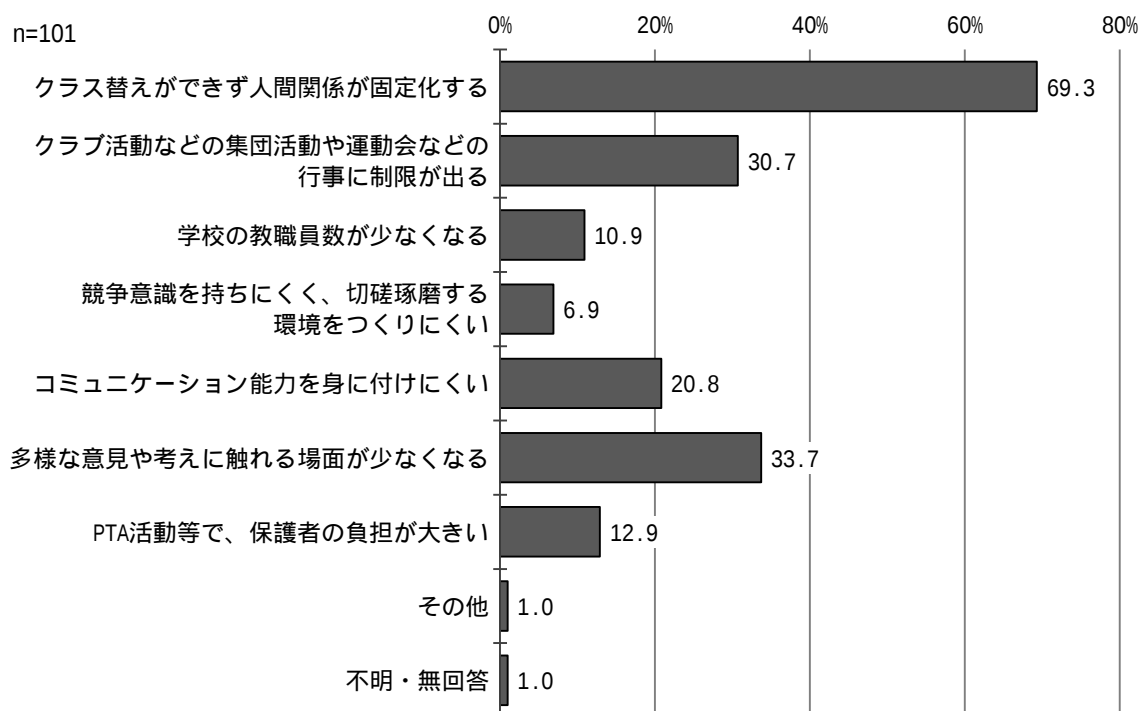
学校の規模別にみると、＜単学級の学校＞で、「必要」が 35.0%と、他の区分と比較して多くなっ
 ています。



問 13 問 12 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方お聞きします。
「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

小規模校対策が必要だと思ふ理由についてみると、全体では「クラス替えができず人間関係が固定化する」が69.3%と最も多く、次いで「多様な意見や考えに触れる場面が少なくなる」が33.7%、「クラブ活動などの集団活動や運動会などの行事に制限が出る」が30.7%となっています。

学校の規模別にみると、<単学級の学校>では、「クラス替えができず人間関係が固定化する」の75.0%に次いで、「PTA活動等で、保護者の負担が大きい」が31.3%となっています。



「その他」の内容

- 維持費がかかる。

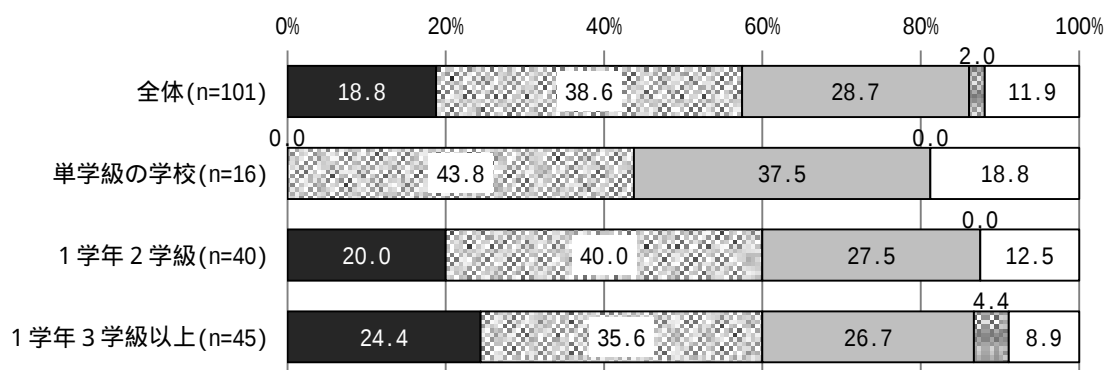
× 学校の規模

%		クラス替えができず人間関係が固定化する	クラブ活動などの集団活動や運動会などの行事に制限が出る	学校の教職員数が少なくなる	競争意識を持ちにくく、切磋琢磨する環境をつくりにくい	コミュニケーション能力を身に付けにくい	多様な意見や考えに触れる場面が少なくなる	PTA活動等で、保護者の負担が大きい
学校の規模の項目	全体(n=101)	69.3	30.7	10.9	6.9	20.8	33.7	12.9
	単学級の学校(n=16)	75.0	18.8	18.8	6.3	18.8	18.8	31.3
	1学年2学級(n=40)	70.0	40.0	5.0	2.5	20.0	37.5	2.5
	1学年3学級以上(n=45)	66.7	26.7	13.3	11.1	22.2	35.6	15.6
%		その他	不明・無回答					
学校の規模の項目	全体(n=101)	1.0	1.0					
	単学級の学校(n=16)	-	-					
	1学年2学級(n=40)	-	2.5					
	1学年3学級以上(n=45)	2.2	-					

回答が多い選択肢のみを掲載。

問 14 問 12 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方にお聞きします。
 小規模校対策として、どのような状況になったら、学校の統合を検討する必要があると思いますか(小学校を想定してお答えください) × 学校の規模 (単数回答)

どんな状況になったら学校の統合を検討する必要があると思うかについてみると、全体では「6学級の(全学年が単学級)場合は、学校の統合を検討した方よい」が38.6%と最も多く、次いで「複式学級が見込まれる場合は学校の統合を検討した方がよい」が28.7%となっています。
 学校の規模別にみると、いずれも概ね同様の傾向です。



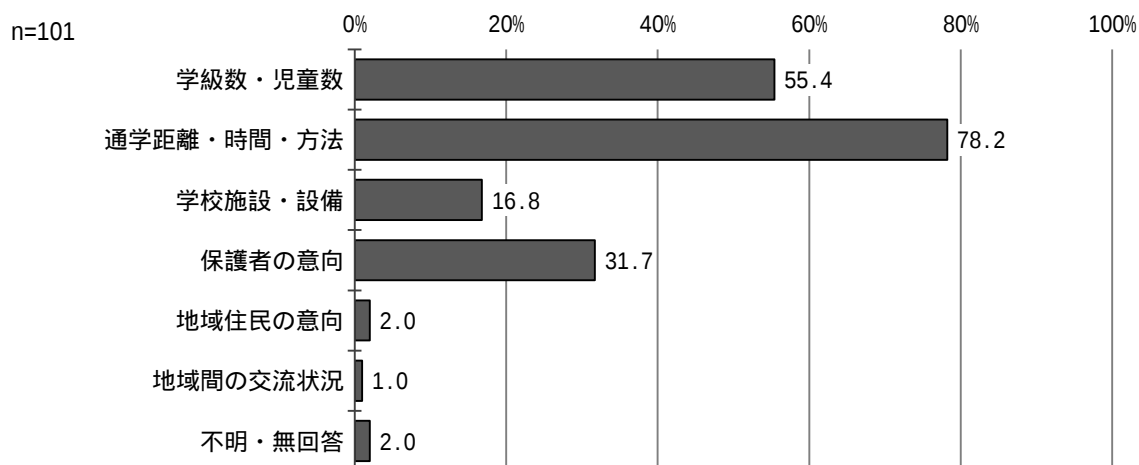
- 11学級以下の(学校全体で1学年でも単学級の学年がある)場合は、学校の統合を検討した方がよい
- 6学級の(全学年が単学級)場合は、学校の統合を検討した方よい
- 複式学級が見込まれる場合は学校の統合を検討した方がよい
- その他
- 不明・無回答

「その他」の内容

○通っている人たちの意見を尊重

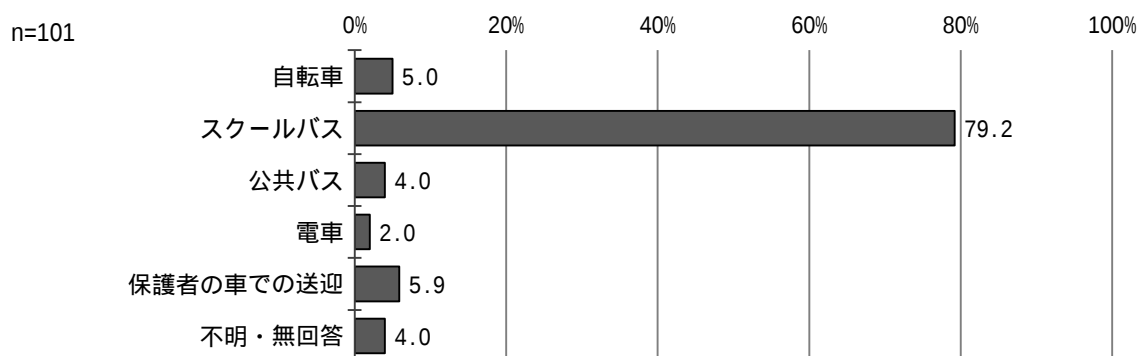
問 15 問 12 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方にお聞きします。
 学校の統合を検討する場合に重視すべきことは何だと思いませんか。(複数回答)

学校の統合を検討する場合に重視すべきことについてみると、「通学距離・時間・方法」が78.2%と最も多く、次いで「学級数・児童数」が55.4%、「保護者の意向」が31.7%となっています。



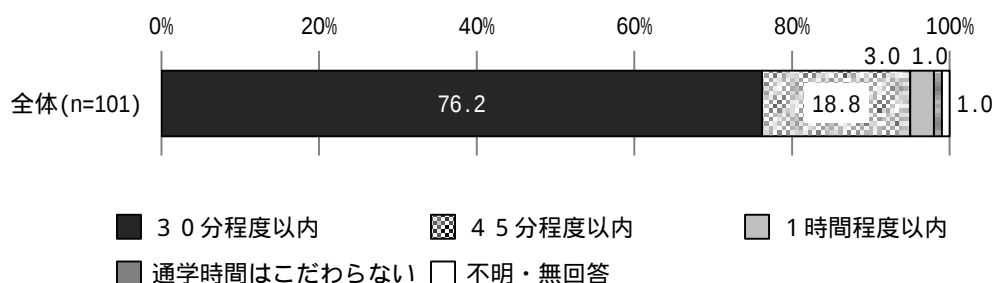
問 16 問 12 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方にお聞きします。
 例えば学校が統合されて通学距離が長くなり、徒歩で通学することが難しい場合にどのような通学手段が必要だと思いませんか。(複数回答)

徒歩で通学することが難しい場合の通学手段についてみると、「スクールバス」が79.2%と最も多くなっています。



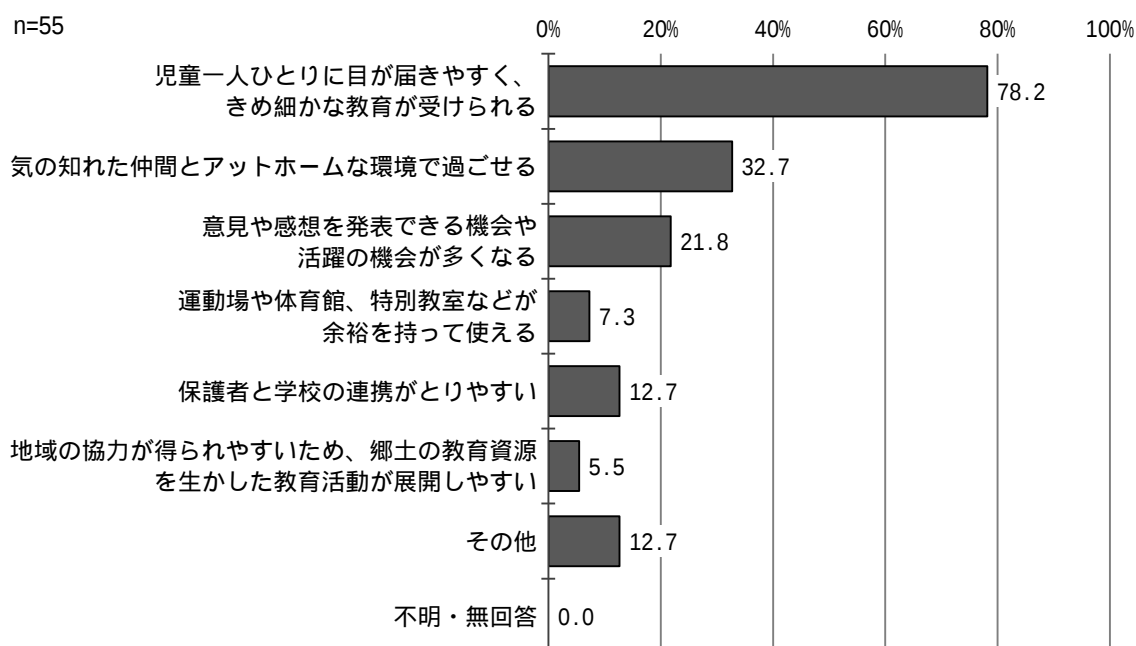
問 17 問 12 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方にお聞きします。
通学(片道)にかかる時間の許容範囲についてどのように思いますか。(単数回答)

通学時間についてみると、全体では「30分程度以内」が76.2%と最も多く、次いで「45分程度以内」が18.8%、「1時間程度以内」が3.0%となっています。



問 18 問 12 で「3」または「4」(小規模校対策は不要側)を選んだ方にお聞きします。
「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

小規模校対策は不要だと思う理由についてみると、全体では「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が78.2%と最も多く、次いで「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせる」が32.7%、「意見や感想を発表できる機会や活躍の機会が多くなる」が21.8%となっています。



「その他」の内容

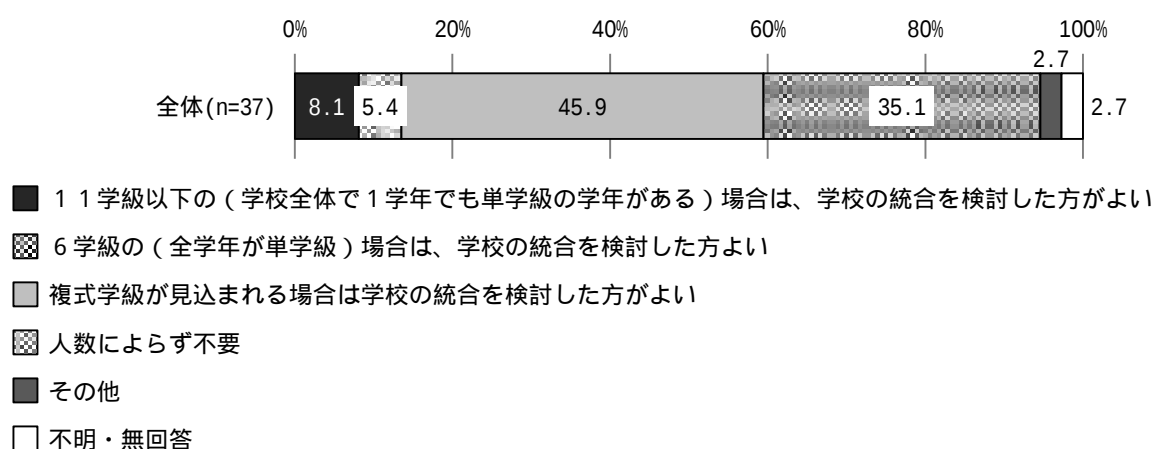
- 無理に統合しなくてもいいと思います。
- 無理なく地域の学校に通わせたい
- 統合すると学校が遠くなる可能性がある
- 統合したら通学距離が伸びる可能性が高くなり、子どもに負担がかかる。
- 通学が遠くなる児童が発生するため

- 子どもが歩いての通学が難しくなると思う
- わからない

問 19 問 12 で「3」(小規模校対策はどちらかというとな必要側)を選んだ方にお聞きします。

小規模校対策(例えば学校の統合)は不要だと思われていますが、どのような状況になったら、小規模校対策を検討する必要があると思いますか。(単数回答)

どのような状況になったら、小規模校対策を検討する必要があると思うかについてみると、全体では「複式学級が見込まれる場合は学校の統合を検討した方がよい」が45.9%と最も多く、次いで「人数によらず不要」が35.1%となっています。



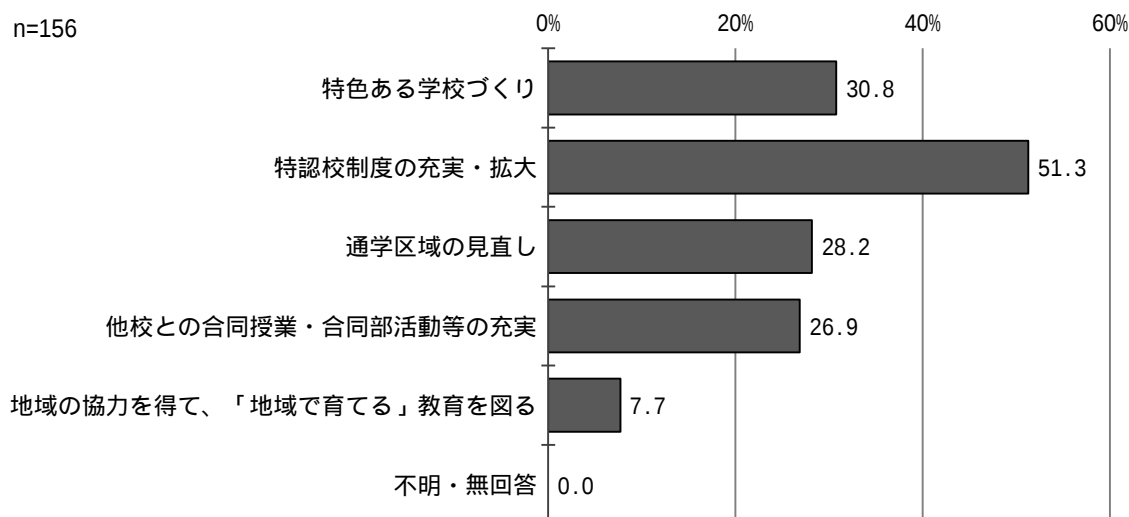
「その他」の内容

- その学校でしか体験出来ない事もあると思うが、少人数では体験出来ないこともある。統合と言う方法だけでなく、交流なども取り入れ、地域や学校、社会と、子ども達とのより良いかわりかたや在り方が画一的ではなく臨機応変に構築されていけば良いなと思います

問 20 全員にお聞きします。

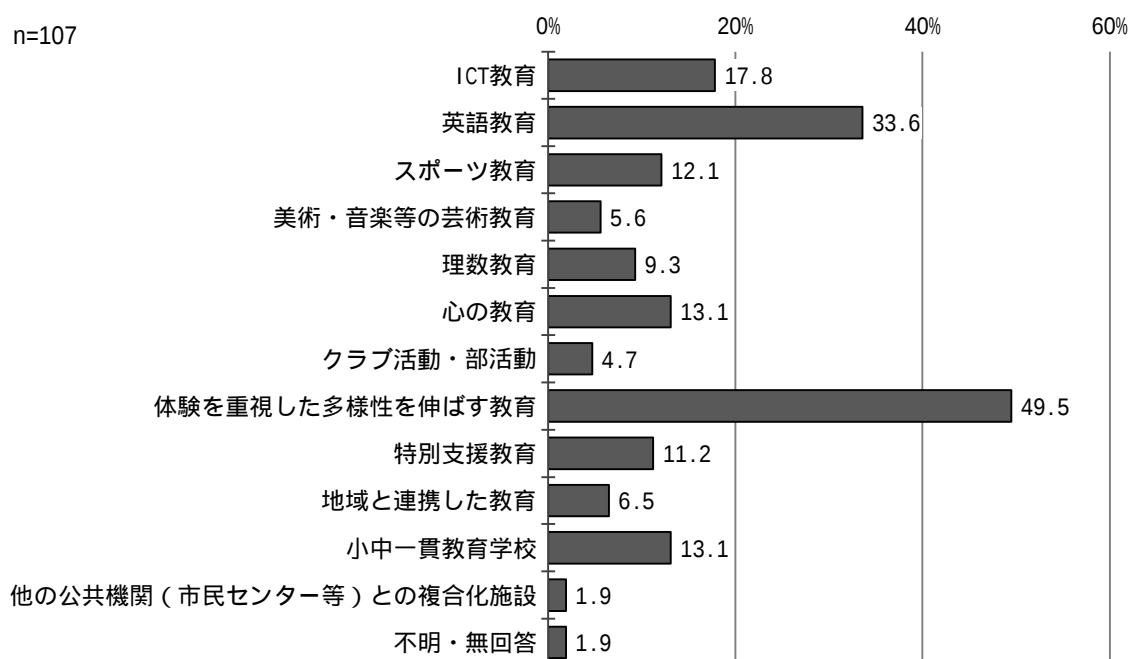
小規模校として存続する場合に必要なことは何だと思いますか。 (複数回答)

小規模校として存続する場合に必要なことについてみると、「特認校制度の充実・拡大」が51.3%と最も多く、次いで「特色ある学校づくり」が30.8%、「通学区域の見直し」が28.2%となっています。



問 21 問 20 で「1」または「2」(特色ある学校づくりや特認校制度の充実・拡大が必要側)を選んだ方にお聞きします。どのような特色を作ったり、特認校の充実を拡大した方がよいと思いますか。 (複数回答)

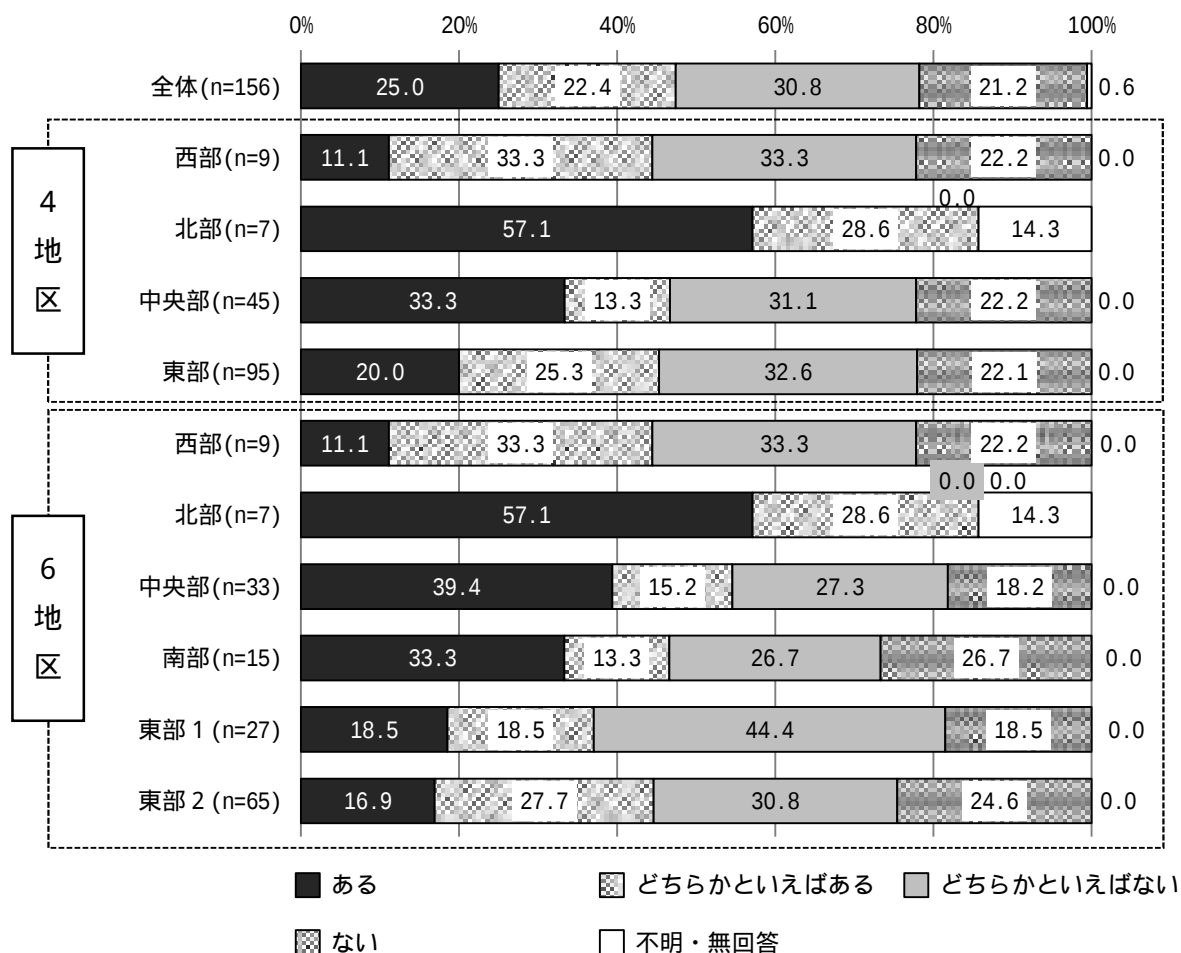
どのような特色を拡大した方がよいと思うかについてみると、「体験を重視した多様性を伸ばす教育」が49.5%と最も多く、次いで「英語教育」が33.6%、「ICT教育」が17.8%となっています。



問 22 お子さんが現在の学区の中学校に通うに当たり、学校規模や施設面等で気になる点がありますか。 × 地域性 (単数回答)

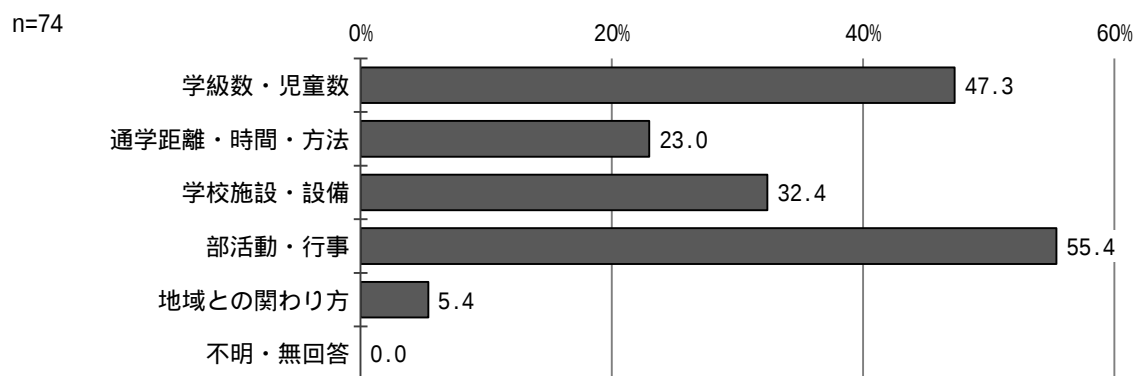
中学校の規模や施設で気になる点があるかについてみると、全体では「どちらかといえばない」が30.8%と最も多く、次いで「ある」が25.0%、「どちらかといえばある」が22.4%となっています。

地域別にみると、サンプル数が少ないものの<北部>で「ある」が57.1%、「どちらかといえばある」が28.6%と、他の区分と比較して多くなっています。



問 23 問 22 で「1」または「2」(中学校の規模や施設で気になる点がある側)を選んだ方
にお聞きします。どのような点が気になりますか。(複数回答)

中学校の規模や施設で気になる点についてみると、「部活動・行事」が55.4%と最も多く、次いで
「学級数・児童数」が47.3%、「学校施設・設備」が32.4%となっています。



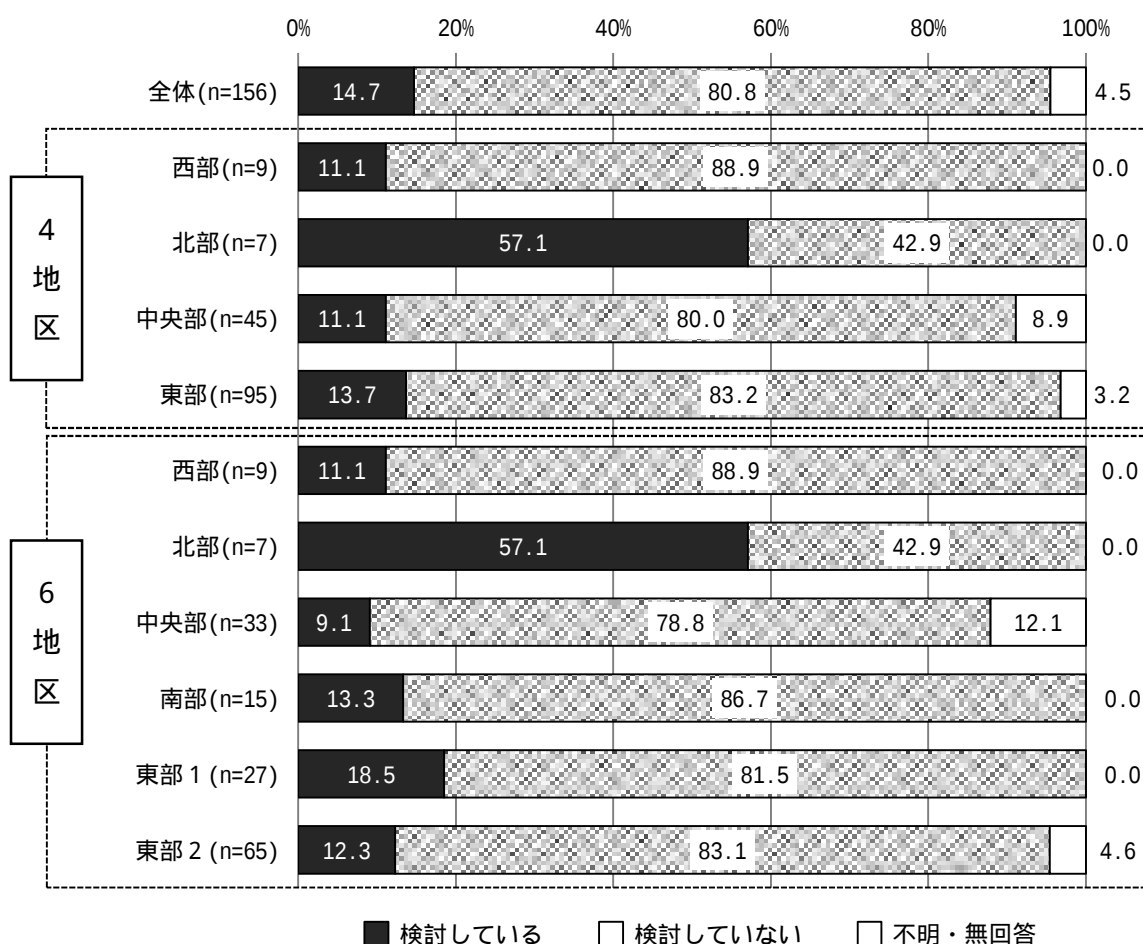
問 24 お子さんを中学校から私立に入学させることを検討されていますか。

× 地域性

(単数回答)

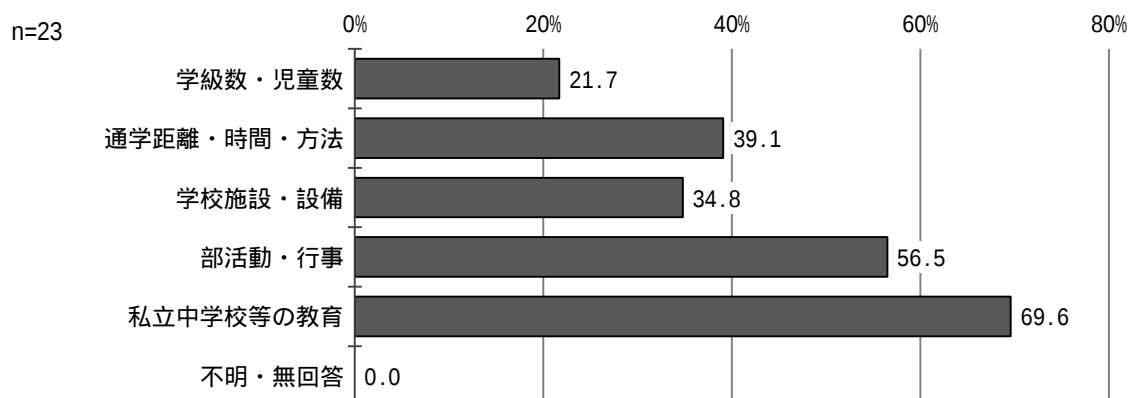
中学校から私立に入学させることを検討しているかについてみると、全体では「検討していない」が80.8%と最も多く、次いで「検討している」が14.7%となっています。

地域別にみると、サンプル数が少ないものの<北部>では、「検討している」が57.1%と、他の区分と比較して多くなっています。



問 25 問 24 で「 1 」(中学校から私立に入学させることを検討している)を選んだ方にお聞
きします。お子さんを私立中学校等に入学させることを検討する際に重視していること
は何ですか。(複数回答)

私立中学校等に入学させることを検討する際に重視していることについてみると、全体では「私
立中学校等の教育」が 69.6%と最も多く、次いで「部活動・行事」が 56.5%、「通学距離・時間・方
法」が 39.1%となっています。



問 26 青梅市では子ども達により良い教育環境を整えるために、学校の統合も視野に入れながら、学校規模の適正化について検討しています。
保護者の皆様の御意見があれば、お聞かせください。

学校規模の適正化等についてのご意見は、別冊の通りとなっています。

第3章 小学生本人調査

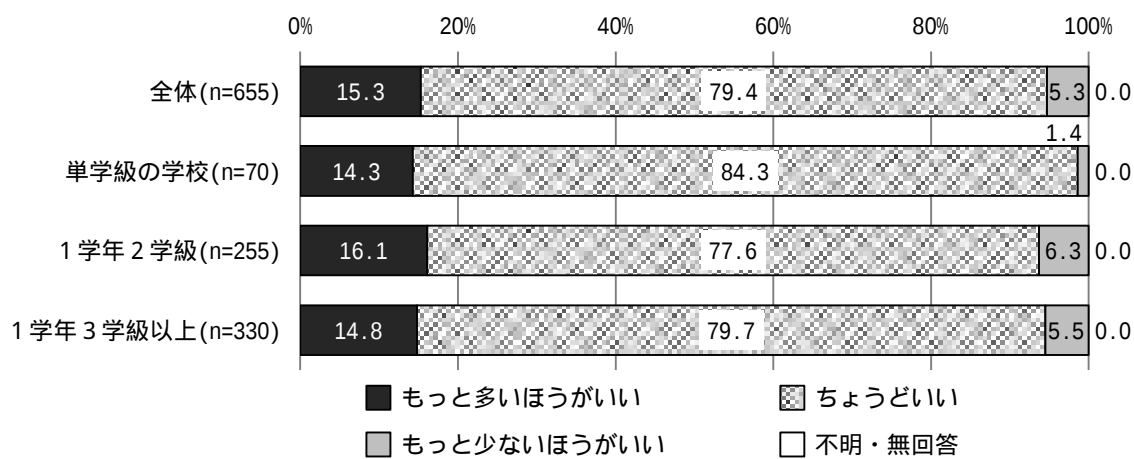
問 2 あなたが現在通っている小学校について、1学級あたりの児童数をどう思いますか。
(単数回答)

1学級の児童数をどう思うかについてみると、「ちょうどいい」が79.4%と最も多く、次いで「もっと多いほうがいい」が15.3%、「もっと少ないほうがいい」が5.3%となっています。

学級の規模別でみると、大きな差はみられません。

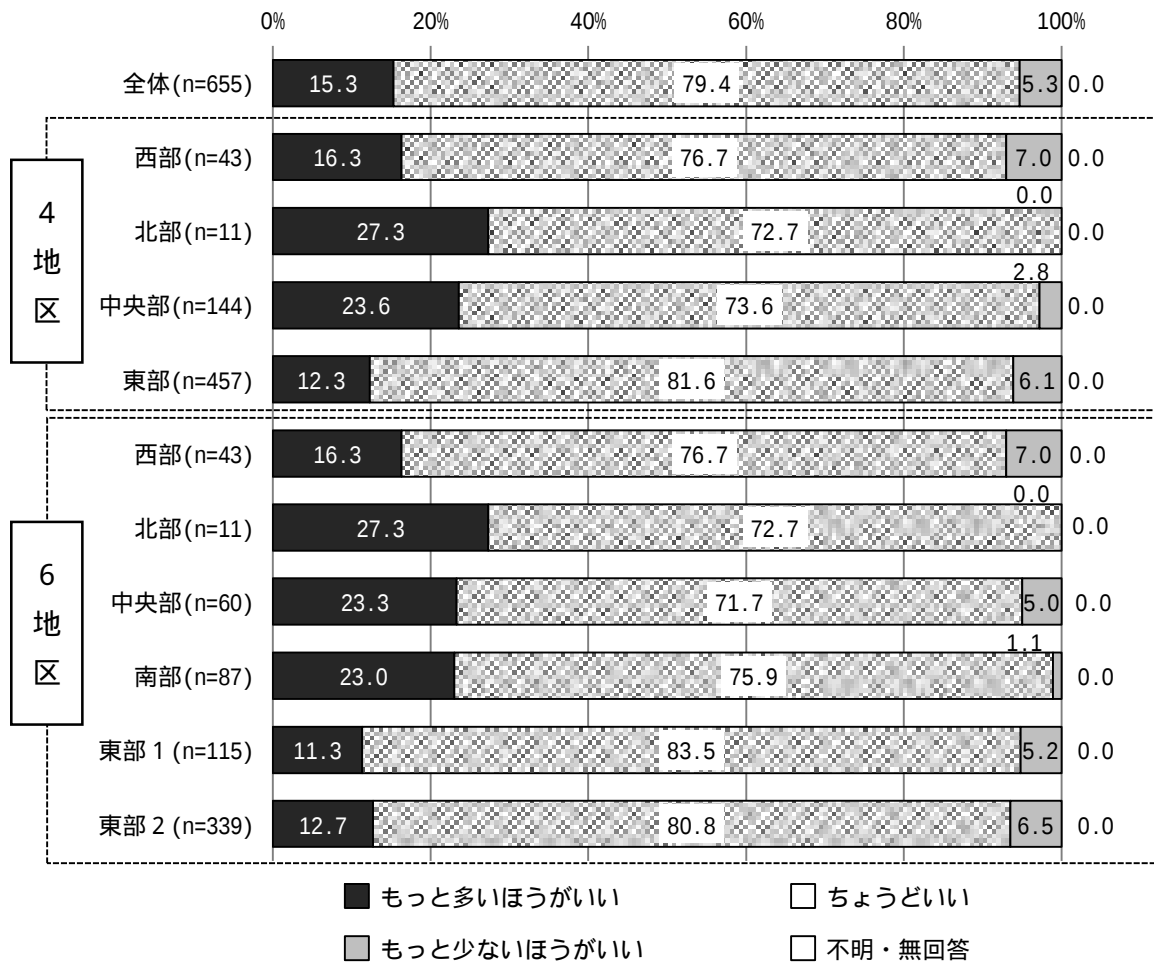
地域別でみると、北部・中央部では「もっと多い方がいい」が2割台と多くなっています。

× 学校の規模



地域別の集計は次のページに掲載。

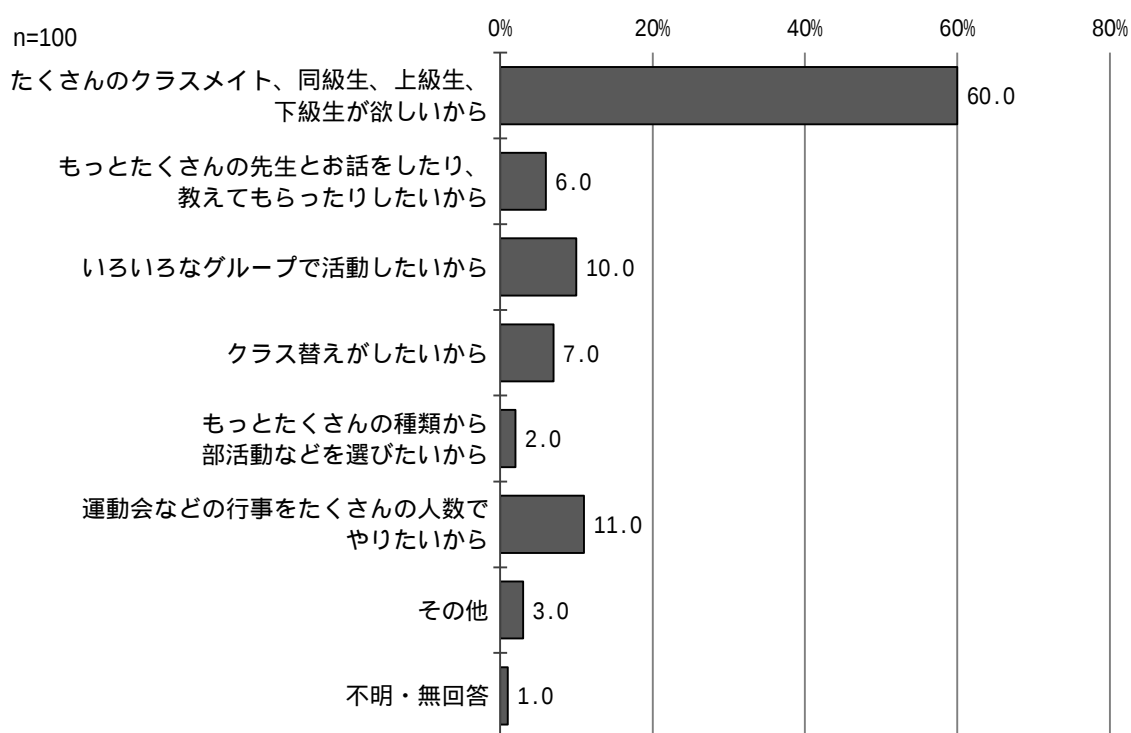
× 地域性



問 3 問 2 で「1」(1学級の児童数についてもっと多い方がいい)を選んだ方にお聞きします。「もっと多いほうがいい」を選んだ理由は何ですか。(単数回答)

1学級の児童数が増える方がいいと思う理由についてみると、全体では「たくさんのクラスメイト、同級生、上級生、下級生が欲しいから」が60.0%と最も多く、次いで「運動会などの行事をたくさんの人数でやりたいから」が11.0%、「いろいろなグループで活動したいから」が10.0%となっています。

学校の規模別にみると、単学級の学校ではサンプル数が少ないものの、「クラス替えがしたいから」が30.0%と、「たくさんのクラスメイト、同級生、上級生、下級生が欲しいから」と並んで多くなっています。



「その他」の内容

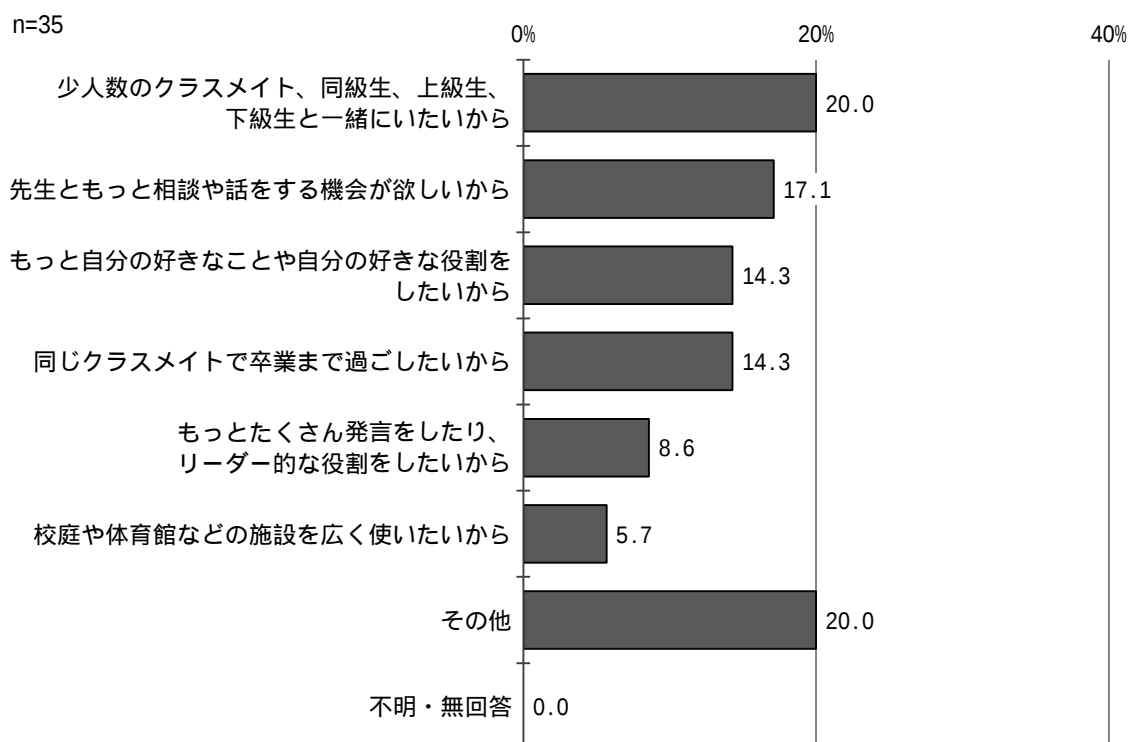
- | | |
|--|---------------------|
| ○友達を増やしたいから。 | ○色々な人ともっと話したいから。 |
| ○人数を増やすことでたくさんの人と喋ることができ、関わりを深められるから。 | ○少なすぎに感じたから |
| ○人数が少なすぎて、逆に人間関係が大変だから | ○自分たちの時より人数がすくないから |
| ○人が少ないとできることが限られるから委員会でも分担したり色々な考えを活用できるから | ○児童の人数が少ないから |
| | ○下級生との交流したいから |
| | ○とくにない |
| | ○6年とかは多いけど1年と2年が少ない |

1 学級の児童数をもっと多い方がいいと思う理由 × 学校の規模

%		たくさんのクラス メイト、同級生、 上級生、下級生が 欲しいから	もっとたくさんの 先生とお話をし たり、教えてもら ったりしたいから	いろいろなグルー プで活動したいか ら	クラス替えがし たいから	もっとたくさんの 種類から部活動な どを選びたいから	運動会などの行事 をたくさんの人数 でやりたいから	その他
学校の 規模の 項目	全体(n=100)	60.0	6.0	10.0	7.0	2.0	11.0	3.0
	単学級の学校(n=10)	30.0	20.0	10.0	30.0	-	10.0	-
	1 学年 2 学級(n=41)	68.3	4.9	4.9	2.4	4.9	12.2	-
	1 学年 3 学級以上(n=49)	59.2	4.1	14.3	6.1	-	10.2	6.1

問 4 問 2 で「3」(1 学級の児童数についてもっと少ない方がいい)を選んだ方にお聞きします。「もっと少ないほうがいい」を選んだ理由は何ですか。(単数回答)

1 学級の児童数をもっと少ない方がいいと思う理由についてみると、「少人数のクラスメイト、同級生、上級生、下級生と一緒にいたいから」「その他」が 20.0%と最も多く、次いで「先生ともっと相談や話をする機会が欲しいから」が 17.1%となっています。



「その他」の内容

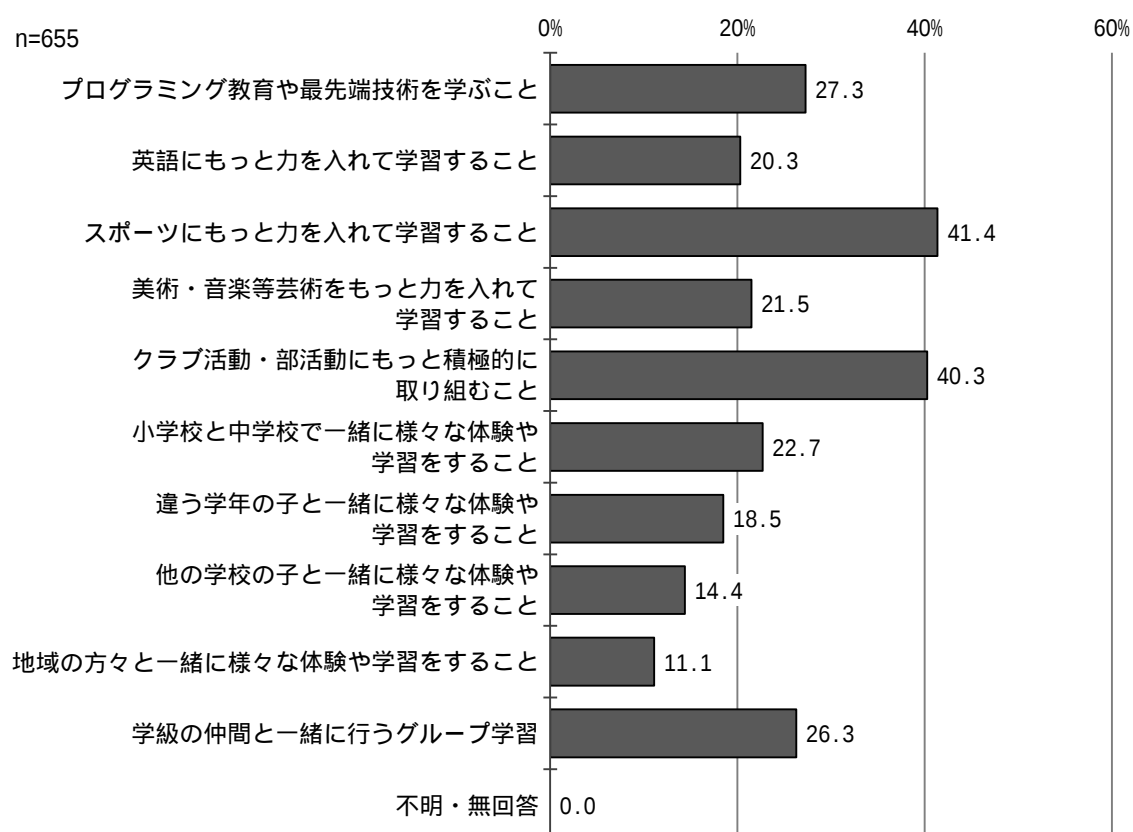
- 先生が大変だから
- 静かに集中して取り組みたいから。少人数の方が落ち着くから
- 静かな環境が良いから
- 人が多すぎて浮いて孤立してしまう
- 人が多いとうるさいから
- 少人数で担任にも児童にも負担なくしてほしい

- 児童数を更に増やしてしまうと、先生方への負担が今までより更に増加するため、児童数を減らし、効率的に学習を進めたほうが、先生方の負担が少なくなったり、生徒も速いスピードで学習を進められたりするから。
- 児童数が多くて狭い
- 教室に対して人数が多く、通路が狭くなっていたりしているから。
- 教室が狭くなる。
- 学年一つ一つの児童数が不規則すぎる。
- クラスが狭い

問 5 今後、学校生活でやってみたいことはありますか。

(複数回答)

今後、学校生活でやってみたいことについてみると、「スポーツにもっと力を入れて学習すること」が41.4%と最も多く、次いで「クラブ活動・部活動にもっと積極的に取り組むこと」が40.3%、「プログラミング教育や最先端技術を学ぶこと」が27.3%となっています。



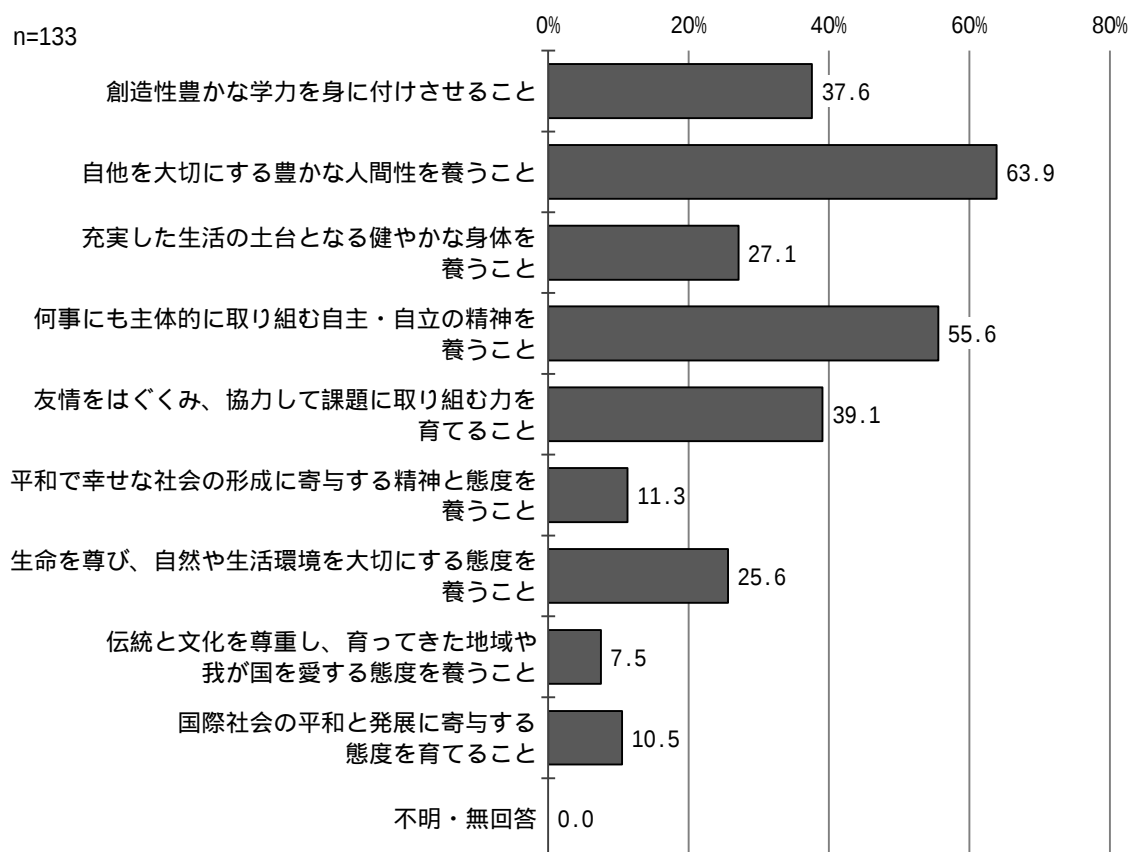
問 6 青梅市では、皆さんやこれから入学してくる人たちがより良い学校生活を送れるための、ちょうど良い学校や学級の大きさについて検討しています。ご意見があれば、あなたの考えをお聞かせください。

学校規模の適正化等についてのご意見は、別冊の通りとなっています。

第4章 中学生保護者調査

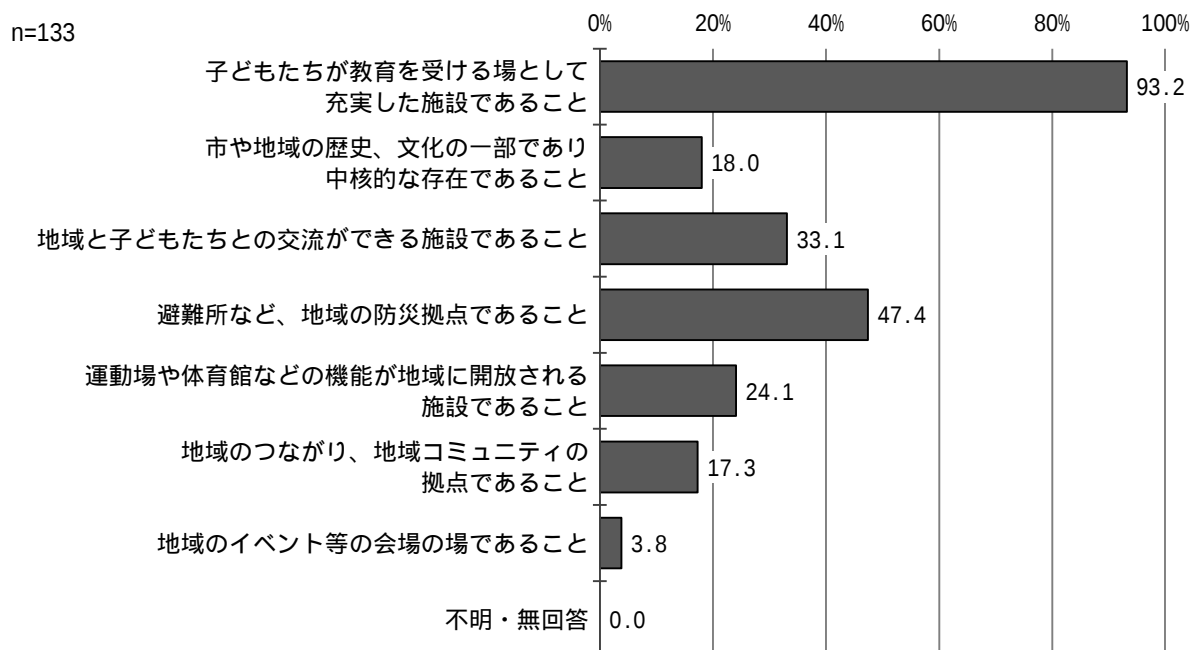
問2 お子さんが通う学校が力を入れてほしい教育内容をお聞かせください。（複数回答）

お子さんが通う学校が力を入れてほしい教育内容についてみると、「自他を大切にする豊かな人間性を養うこと」が63.9%と最も多く、次いで「何事にも主体的に取り組む自主・自立の精神を養うこと」が55.6%、「友情をはぐくみ、協力して課題に取り組む力を育てること」が39.1%となっています。



問3 お子さんが通う学校に期待する学校施設をお聞かせください。 (複数回答)

お子さんが通う学校に期待する学校施設についてみると、「子どもたちが教育を受ける場として充実した施設であること」が93.2%と最も多く、次いで「避難所など、地域の防災拠点であること」が47.4%、「地域と子どもたちとの交流ができる施設であること」が33.1%となっています。



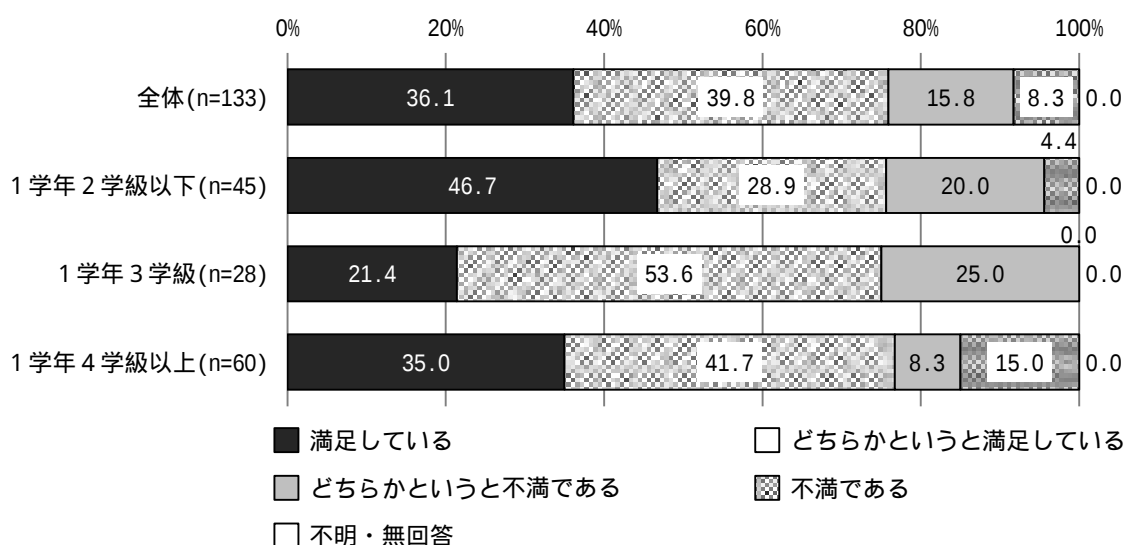
問5 お子さんが通っている学校の1学年の学級数に満足していますか。

× 学校の規模

(単数回答)

学級数への満足度についてみると、全体では「どちらかという満足している」が39.8%と最も多く、次いで「満足している」が36.1%、「どちらかという不満である」が15.8%となっています。

学校の規模別にみると、「満足している」のみの割合は区分により異なりますが、「満足している」「どちらかといえば満足している」の合計はいずれの区分でも7割台となっています。

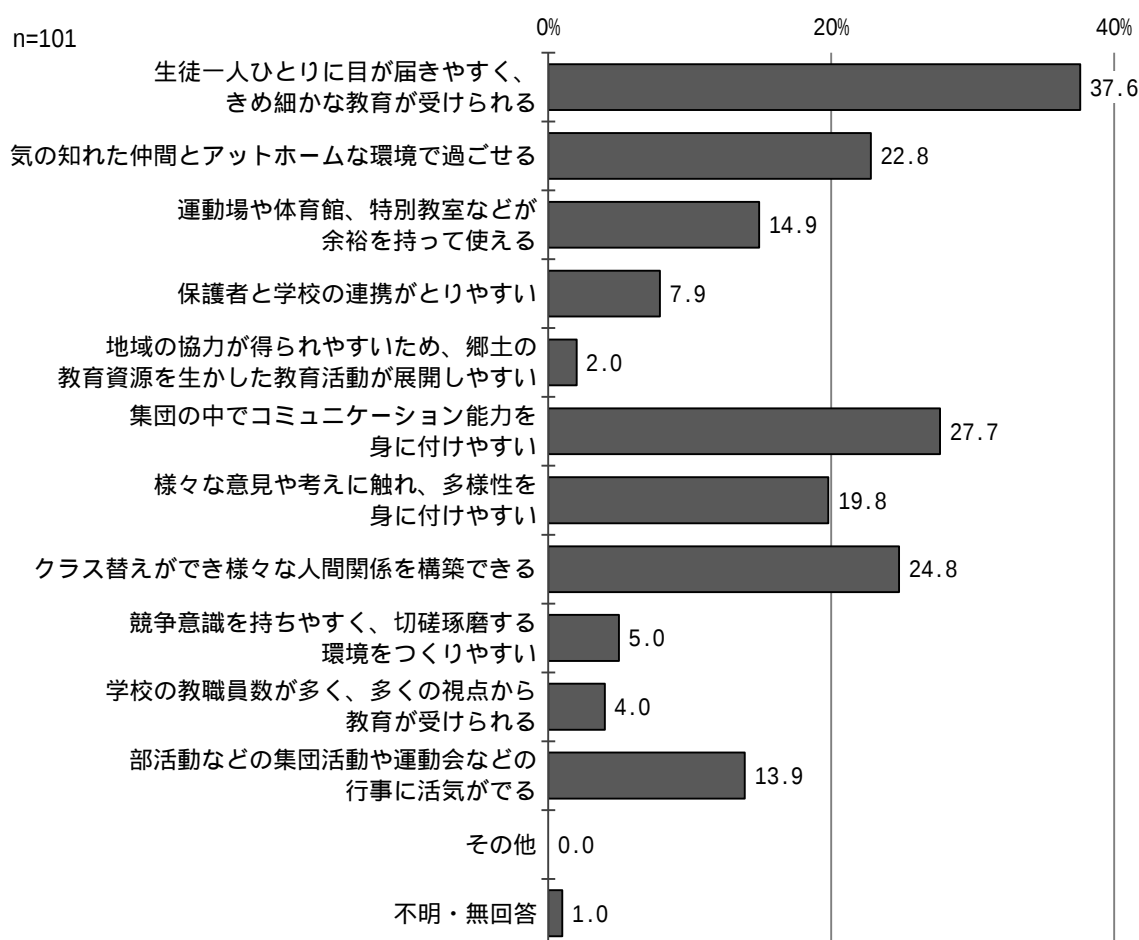


問6 問5で「1」または「2」(学級数に満足している側)を選んだ方にお聞きします。
「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

学級数に満足している理由についてみると、全体では「生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が37.6%と最も多く、次いで「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」が27.7%、「クラス替えができ様々な人間関係を構築できる」が24.8%となっています。

学校の規模別にみると、<1学年2学級>では、「生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせる」が多くなっています。

<1学年4学級以上>では、「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」「クラス替えができ様々な人間関係を構築できる」が多くなっています。



× 学校の規模

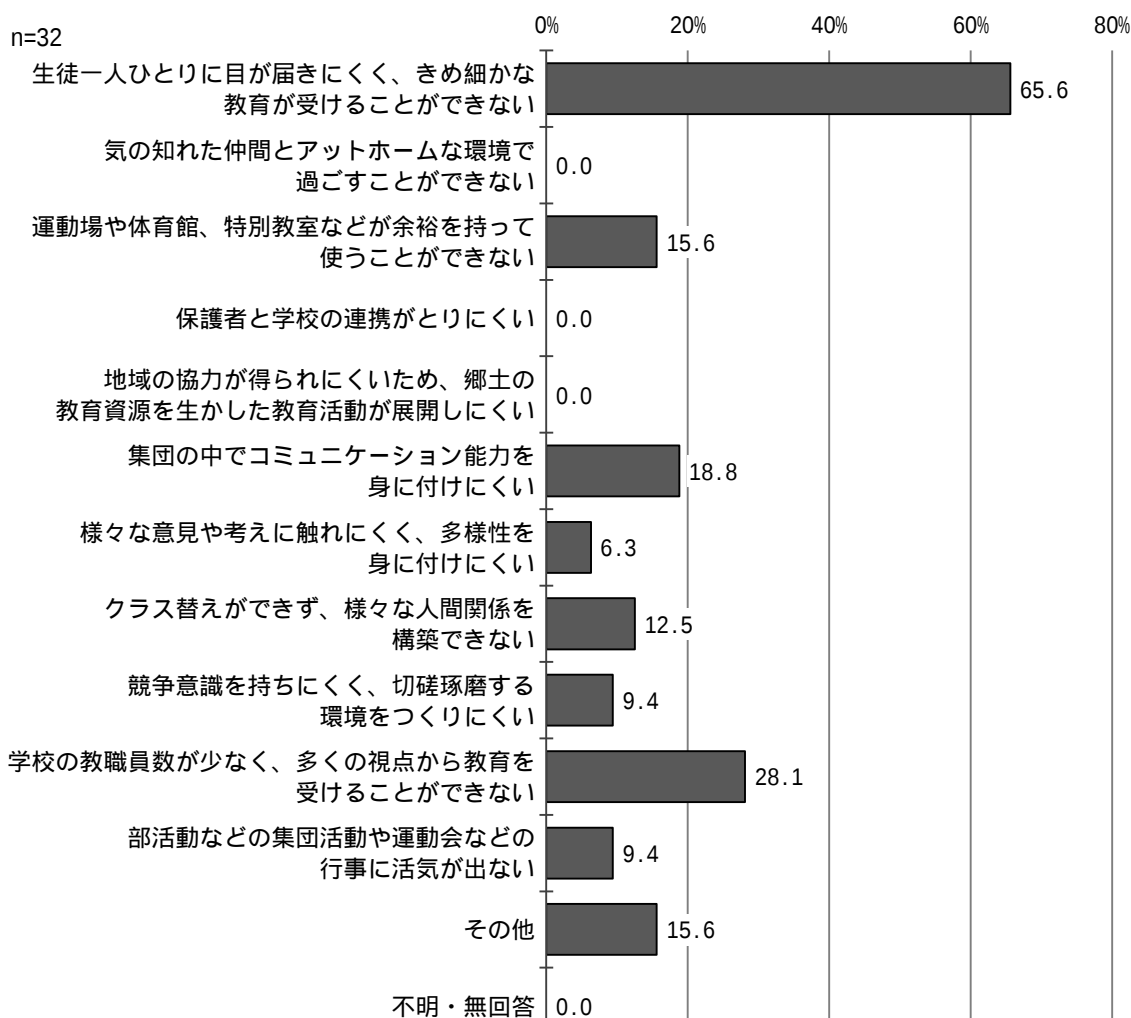
%		生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる	気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせる	運動場や体育館、特別教室などが余裕を持って使える	集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい	様々な意見や考えに触れ、多様性を身に付けやすい	クラス替えができ様々な人間関係を構築できる	部活動などの集団活動や運動会などの行事に活気がでる
学校の規模の項目	全体(n=101)	37.6	22.8	14.9	27.7	19.8	24.8	13.9
	1学年2学級以下(n=34)	64.7	47.1	23.5	8.8	2.9	5.9	5.9
	1学年3学級(n=21)	38.1	14.3	23.8	9.5	23.8	19.0	14.3
	1学年4学級以上(n=46)	17.4	8.7	4.3	50.0	30.4	41.3	19.6

問7 問5で「3」または「4」(学級数に不満である側)を選んだ方にお聞きします。

「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。

(複数回答)

学級数に不満である理由についてみると、「生徒一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな教育が受けることができない」が65.6%と最も多く、次いで「学校の教職員数が少なく、多くの視点から教育が受けることができない」が28.1%、「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けにくい」が18.8%となっています。

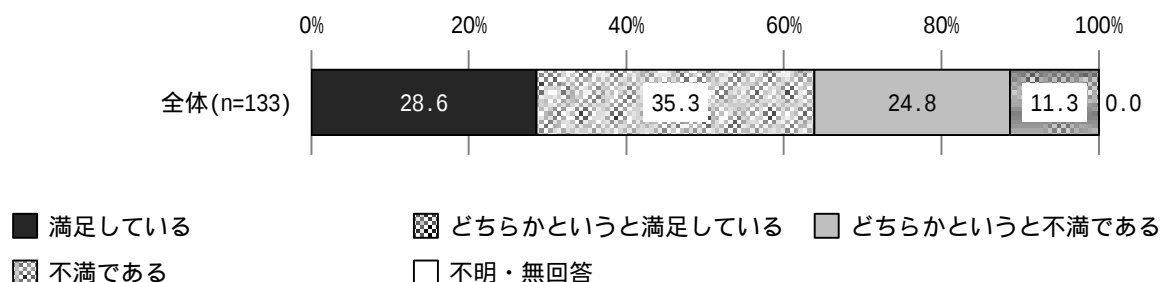


「その他」の内容

- 古臭い考え方。軍隊的な教育。校則もおかしい。絶対に通わせたくない学校。青梅市自体が古臭い考えなので、青梅市の学校が全てそういう教育方針なのかと疑う。他の項目も必須とあり、いい事ばかりしか選択肢として無かった為しょうがなく適当に付けたがその他の項目を増やし意見を書き込めるようにしてほしい。
- 教室内に身体が成長した子ども達が41人クラスともなると狭すぎる。友達との距離が近ければ授業中の私語などに繋がりがやすい。私物を置くスペースも足りず、机の両サイドに荷物をぶら下げているので震災時の避難の妨げになりそう。
- 教室ロッカーの数が足りてない
- 教室がぎゅうぎゅう詰めで、精神的な圧迫感を感じる
- 1クラスの人数が多すぎる。(一クラスの人数38から39名)

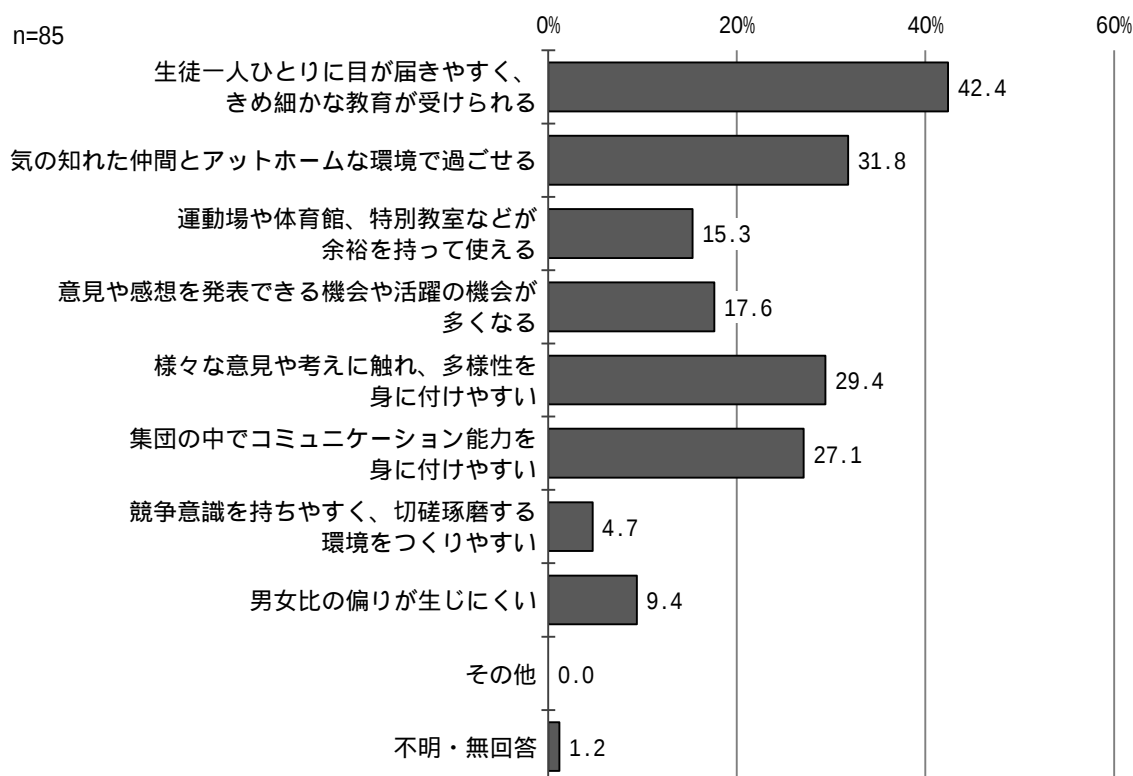
問 9 お子さんが通っている学校の1学級の子ども数に満足していますか。（単数回答）

1学級の子ども数の満足度についてみると、「どちらかという満足している」が35.3%と最も多く、次いで「満足している」が28.6%、「どちらかという不満である」が24.8%となっています。



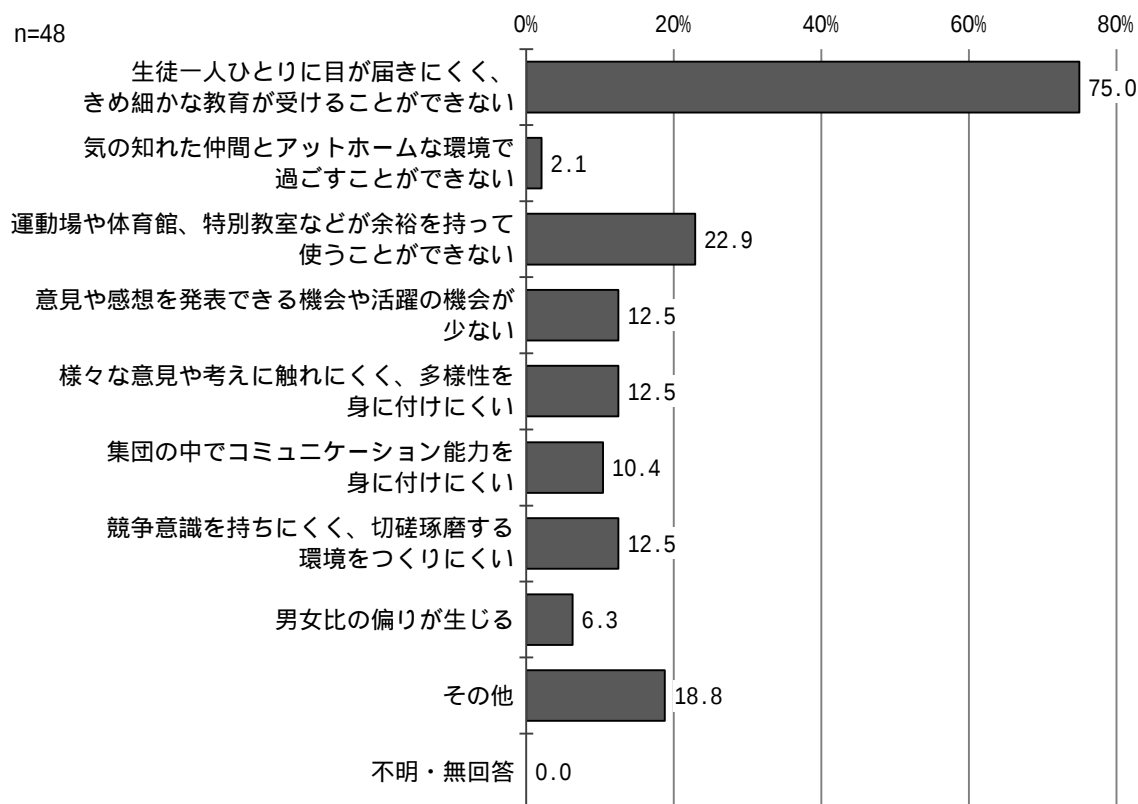
問 10 問 9 で「1」または「2」（1学級の児童数に満足している）を選んだ方にお聞きします。「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。（複数回答）

1学級の児童数に満足している理由についてみると、全体では「生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が42.4%と最も多く、次いで「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせる」が31.8%、「様々な意見や考えに触れ、多様性を身に付けやすい」が29.4%となっています。



問 11 問 9 で「3」または「4」(1学級の児童数に不満である側)を選んだ方にお聞きします。「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

1学級の児童数に不満である理由についてみると、「生徒一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな教育が受けることができない」が75.0%と最も多く、次いで「運動場や体育館、特別教室などが余裕を持って使うことができない」が22.9%、「その他」が18.8%となっています。



「その他」の内容

- 青梅市の学校に通わせたくない。
- 人数が多いため、教室が狭くロッカー数が足りていない。
- 教室ロッカーの数が足りてない
- 教室が狭い！
- 一クラスの人数が多すぎて教室が狭く感じる
- 教室の大きさに対して、子どもの人数が多すぎます。特に3年生は成長期なので、教室が窮屈です。もう一学級増やしてもよかったのではないかと思います。○教室が狭く感じる。(机と机の間などが狭い)
- 教室がぎゅうぎゅう詰めで、精神的な圧迫感を感じる

○クラス人数が現状上限だが、もう1クラス増やす許可がおりなかった...と説明を受けた。子どもが現状減少し施設が余り、実際校内にも空き教室が目立つ。ならば大人程に身体が大きく成長した子ども達を1教室に40人閉じ込めないで欲しい。副教科を受験で重視するのであれば、人数が多い事で実技や実験を体験する回数が減り、作品に対する指摘や指導を受けるチャンスが減る。教職員の人員不足問題もあるだろうが、それによって子どもの学ぶ環境の格差が大きく出ているのは親としても困る。塾であれば個別・集団と選択できるが義務教育である中学生での格差は困る。市内で何人に対して教員1人、オーバーの際は全教科に対して副教員をつける又は、教室を分けるなど環境整備をしてほしい。副教員は、OB・OGや有教員免許者を非常勤やパートなど半日単位や近隣中学の掛け持ち可など、部活動の外部委託的な事は出来ないのか？私の勉強不足で既に取り組んでいたたり個人情報等の問題で不可能かもしれないが、一般主婦には、その改善に向けた取り組みが日常では見えてこない。

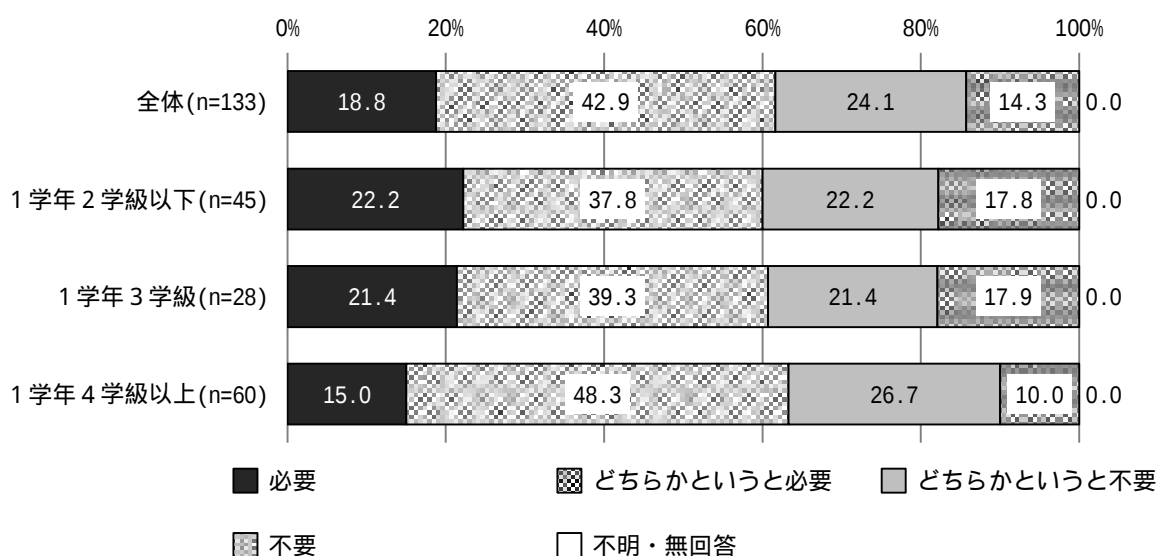
問 12 1 学年 1 学級が見込まれる学校などについては、統合するなどの小規模校対策は必要
 だと思いますか。 (単数回答)

小規模校対策が必要だと思うかについてみると、全体では「どちらかという必要」が 42.9%と
 最も多く、次いで「どちらかという不要」が 24.1%、「必要」が 18.8%となっています。

学校の規模別にみると、大きな傾向の差はありません。

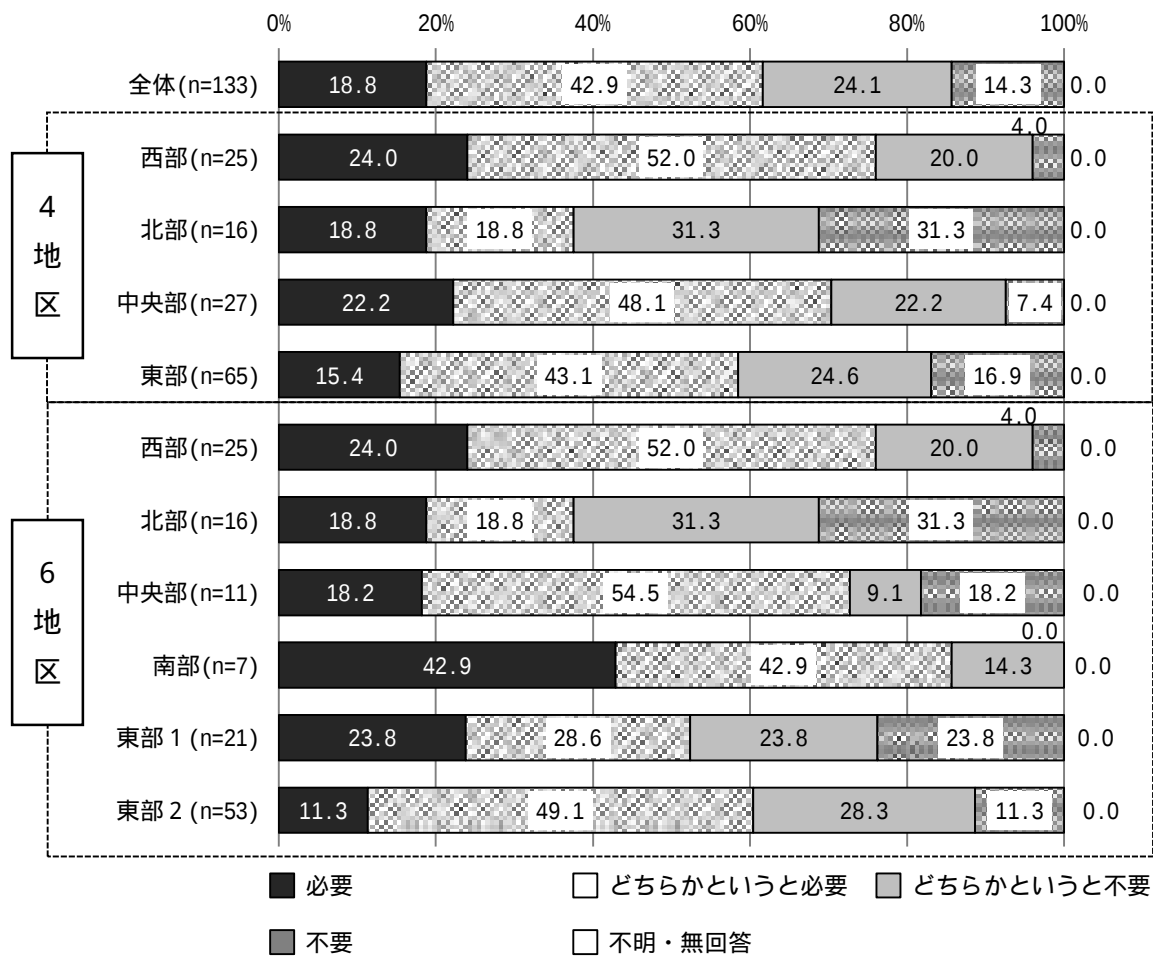
地区別にみると、西部・中央部で「必要」「どちらかという必要」が多く、北部で「不要」「ど
 ちらかという不要」が多くなっています。

× 学校の規模



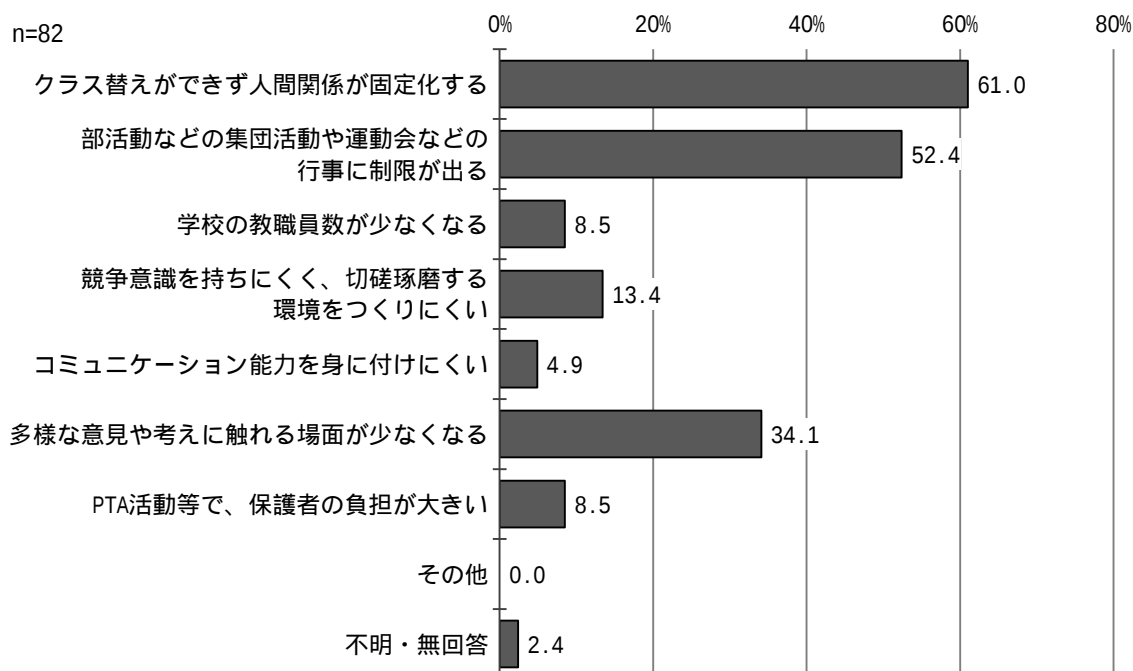
地域別の集計は次のページに掲載。

× 地域性



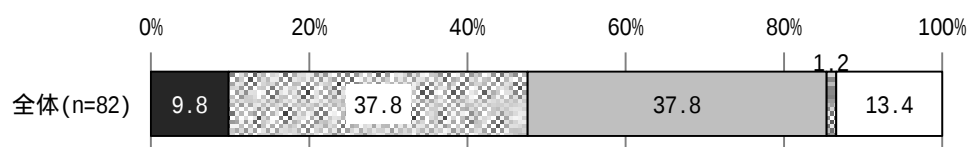
問 13 問 12 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方お聞きします。
「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

小規模校対策が必要だと思う理由についてみると、全体では「クラス替えができず人間関係が固定化する」が61.0%と最も多く、次いで「部活動などの集団活動や運動会などの行事に制限が出る」が52.4%、「多様な意見や考えに触れる場面が少なくなる」が34.1%となっています。



問 14 問 12 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方にお聞きします。小規模校対策として、学校の統合を検討する状況についてどう思われますか。(中学校を想定してお答えください)(単数回答)

どんな状況になったら学校の統合を検討する必要があると思うかについてみると、「3学級の(全学年が単学級)場合は、学校の統合を検討した方よい」「複式学級が見込まれる場合は学校の統合を検討した方がよい」がいずれも37.8%となっています。



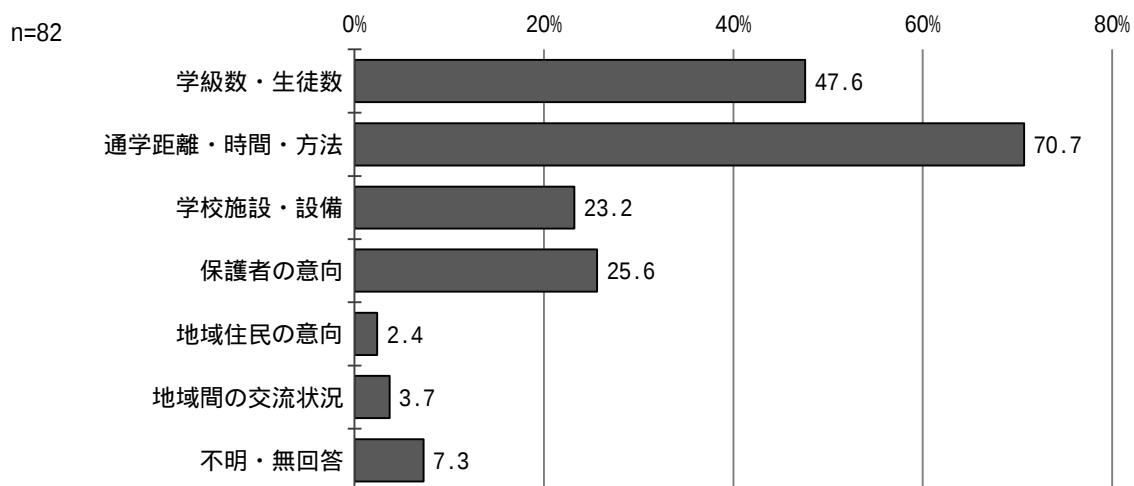
- 5学級以下の(学校全体で1学年でも単学級の学年がある)場合は、学校の統合を検討した方がよい
- 3学級の(全学年が単学級)場合は、学校の統合を検討した方よい
- 複式学級が見込まれる場合は学校の統合を検討した方がよい
- その他
- 不明・無回答

「その他」の内容

- 統合、と言うより、生徒の数、通学距離、等を考慮し、学区の境界を見直す方が良いと思う。
- やり方は色々ある

問 15 問 12 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方にお聞きします。学校の統合を検討する場合に重視すべきことは何だと思いますか。(複数回答)

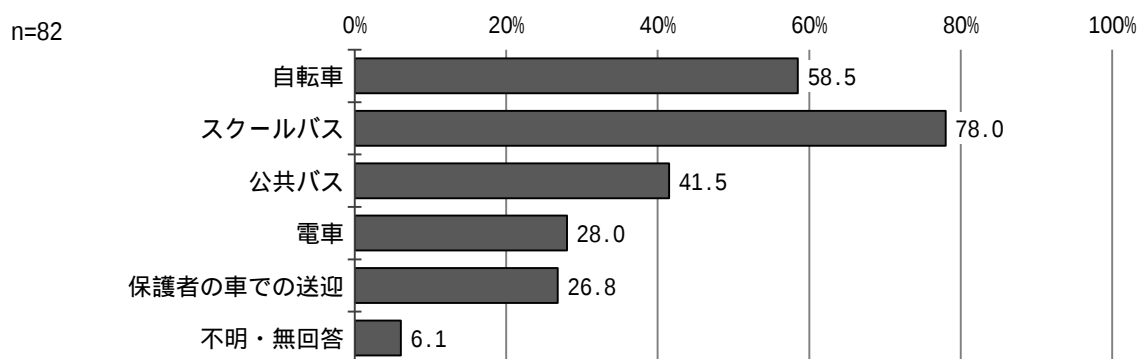
学校の統合を検討する場合に重視すべきことについてみると、「通学距離・時間・方法」が70.7%と最も多く、次いで「学級数・生徒数」が47.6%、「保護者の意向」が25.6%となっています。



問 16 問 12 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方にお聞きします。
 例えば学校が統合されて通学距離が長くなり、徒歩で通学することが難しい場合にどのような通学手段が必要だと思いますか。(複数回答)

徒歩で通学することが難しい場合の通学手段についてみると、全体では「スクールバス」が78.0%と最も多く、次いで「自転車」が58.5%、「公共バス」が41.5%となっています。

地域別にみると、いずれの地域でも「スクールバス」が多くなっているのに加え、西部では「公共バス」「電車」、中央部・東部では「自転車」も多くなっています。



× 地域性

%		自転車	スクールバス	公共バス	電車	保護者の車での送迎	不明・無回答
	全体(n=82)	58.5	78.0	41.5	28.0	26.8	6.1
地域性 (4地区)の 項目	西部(n=19)	36.8	68.4	57.9	47.4	15.8	15.8
	北部(n=6)	33.3	100.0	33.3	16.7	33.3	-
	中央部(n=19)	57.9	78.9	47.4	31.6	31.6	-
	東部(n=38)	73.7	78.9	31.6	18.4	28.9	5.3
地域性 (6地区)の 項目	西部(n=19)	36.8	68.4	57.9	47.4	15.8	15.8
	北部(n=6)	33.3	100.0	33.3	16.7	33.3	-
	中央部(n=8)	62.5	75.0	37.5	12.5	25.0	-
	南部(n=6)	66.7	66.7	50.0	33.3	-	-
	東部1(n=11)	63.6	90.9	45.5	27.3	45.5	-
	東部2(n=32)	71.9	78.1	31.3	21.9	31.3	6.3

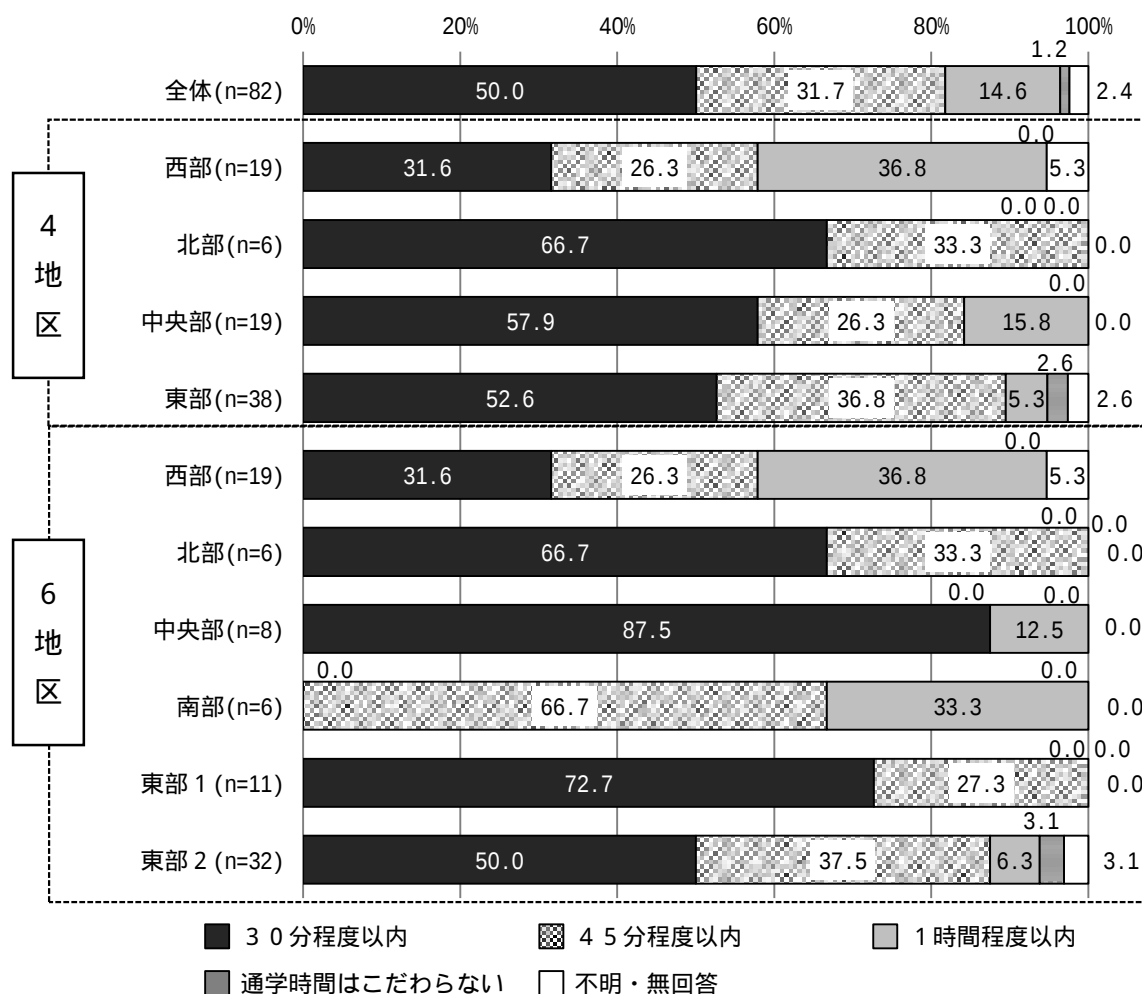
問 17 問 12 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方にお聞きします。学校の統合を検討する場合、通学にかかる時間の限度についてどのように思いますか。

× 地域性

(単数回答)

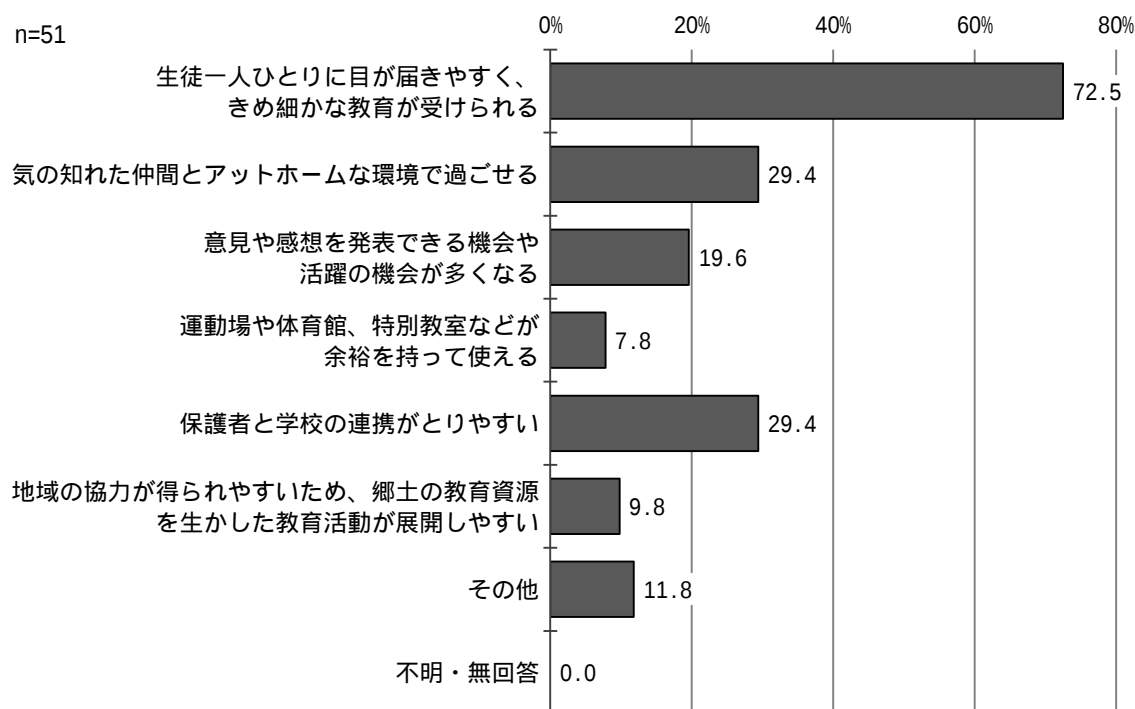
通学時間についてみると、全体では「30分程度以内」が50.0%と最も多く、次いで「45分程度以内」が31.7%、「1時間程度以内」が14.6%となっています。

地域別にみると、<西部>では、「1時間程度以内」が36.8%と最も多くなっています。



問 18 問 12 で「3」または「4」(小規模校対策は不要側)を選んだ方にお聞きします。
「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

小規模校対策は不要だと思ふ理由についてみると、「生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が72.5%と最も多く、次いで「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせる」「保護者と学校の連携がとりやすい」が29.4%となっています。

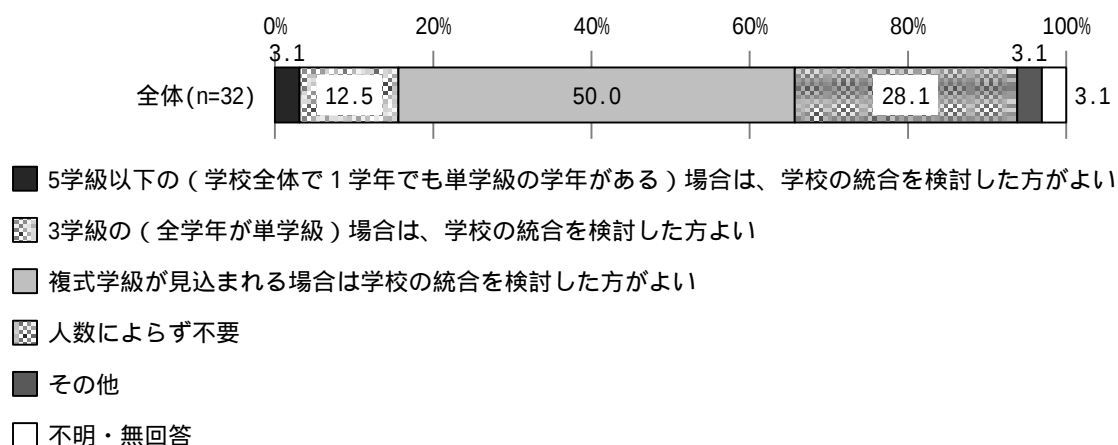


「その他」の内容

- 統廃合という選択が生徒へ与える影響がわかっているのか不明のため、通学手段の構築を教育委員は実施する必要がある
- 通学に時間がかかってしまうのではないかな？
- 通うのが大変では？
- 場所によっては通学が大変になりそうだから
- 質問の意味がわからない
- 学級数が多く、クラス替えがあることが望ましい(ひとクラスしかない人間関係が固定されてしまう)が、子どもが通いやすい距離、時間を考えると家の近くに学校があることが求められる。スクールバスで送迎サービスがあるなら、統合した家から離れた学校に通うことも可能であるが、そうではない場合、子どもの負担が大きすぎる。(教科書意外にも多量の荷物がある時がある。)

問 19 問 12 で「3」(小規模校対策はどちらかというとな必要)を選んだ方にお聞きします。
 小規模校対策(例えば学校の統合)は不要だと思われていますが、どのような状況になったら、小規模校対策を検討する必要があると思いますか。(単数回答)

どのような状況になったら、小規模校対策を検討する必要があると思うかについてみると、全体では「複式学級が見込まれる場合は学校の統合を検討した方がよい」が50.0%と最も多く、次いで「人数によらず不要」が28.1%、「3学級の(全学年が単学級)場合は、学校の統合を検討した方がよい」が12.5%となっています。



「その他」の内容

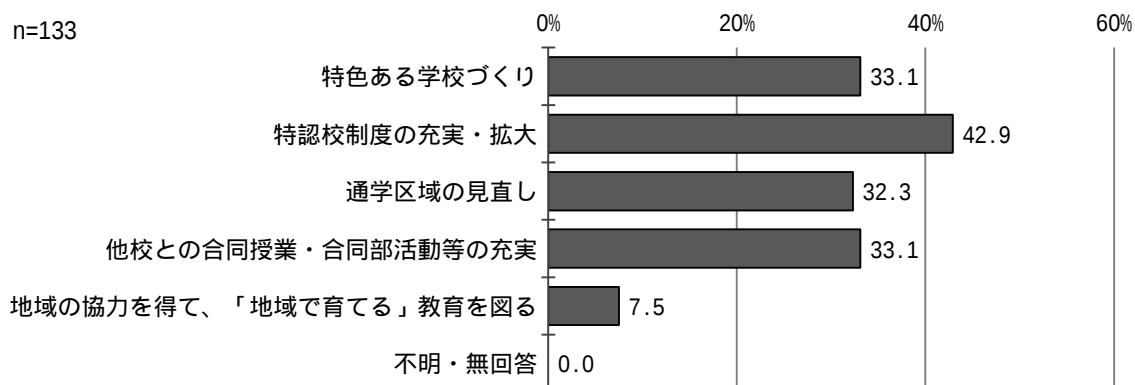
- 生徒数ゼロになったら
- 上記の選択肢の他にもあると思われ、議論はより慎重にする必要がある
- 期待もしないしどうでも良い

問 20 全員にお聞きします。

小規模校として存続する場合に必要なことは何だと思いますか。 (複数回答)

小規模校として存続する場合に必要なことについてみると、全体では「特認校制度の充実・拡大」が42.9%と最も多く、次いで「特色ある学校づくり」「他校との合同授業・合同部活動等の充実」が33.1%となっています。

地域別にみると、<西部>では「通学区域の見直し」が44.0%、<北部>では「特色ある学校づくり」が50.0%と最も多くなっています。また、<中央部><東部>では「特認校制度の充実・拡大」が5割前後と最も多くなっています。

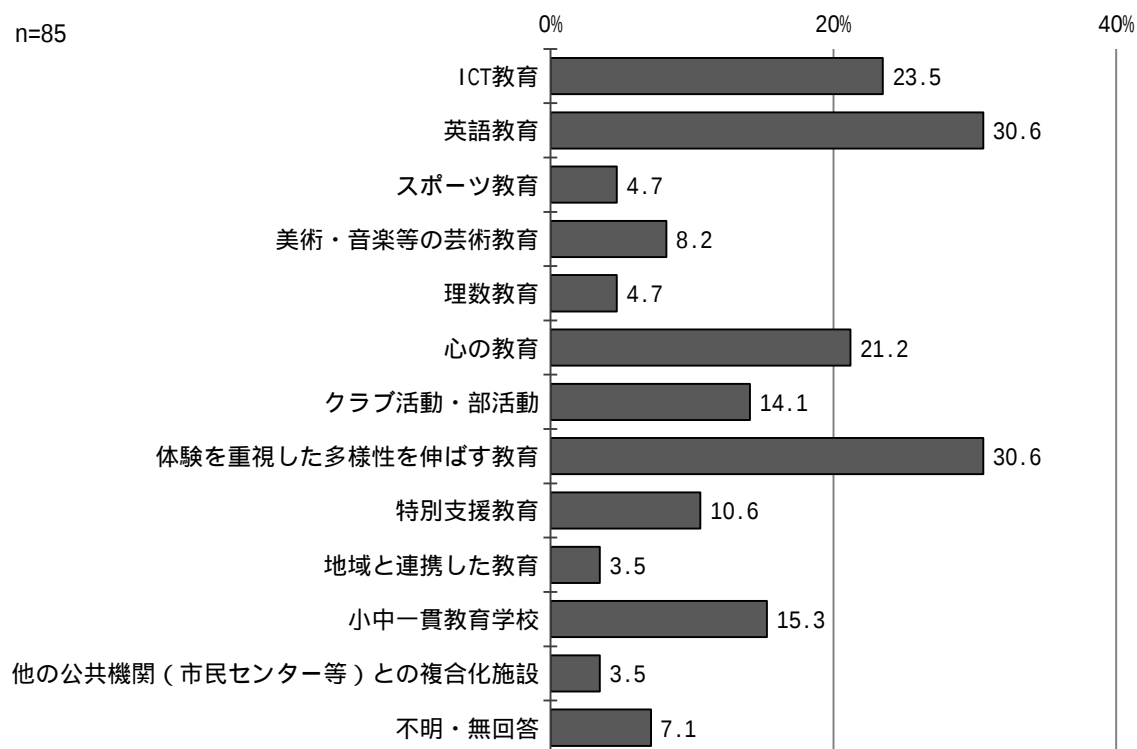


× 地域性

%		特色ある学校づくり	特認校制度の充実・拡大	通学区域の見直し	他校との合同授業・合同部活動等の充実	地域の協力を得て、「地域で育てる」教育を図る	不明・無回答
	全体(n=133)	33.1	42.9	32.3	33.1	7.5	-
地域性 (4地区)の 項目	西部(n=25)	28.0	24.0	44.0	36.0	4.0	-
	北部(n=16)	50.0	43.8	6.3	37.5	25.0	-
	中央部(n=27)	29.6	55.6	40.7	29.6	-	-
	東部(n=65)	32.3	44.6	30.8	32.3	7.7	-
地域性 (6地区)の 項目	西部(n=25)	28.0	24.0	44.0	36.0	4.0	-
	北部(n=16)	50.0		6.3	37.5	25.0	-
	中央部(n=11)	27.3	45.5	45.5	54.5	-	-
	南部(n=7)	42.9	71.4	42.9	-	-	-
	東部1(n=21)	33.3	42.9	28.6	33.3	-	-
	東部2(n=53)	30.2	47.2	32.1	30.2	9.4	-

問 21 問 20 で「1」または「2」(特色ある学校づくりや特認校制度の充実・拡大が必要)を選んだ方にお聞きします。どのような特色を作ったり、特認校を充実を拡大した方がよいと思いますか。(複数回答)

どのような特色を拡大した方がよいと思うかについてみると、全体では「英語教育」「体験を重視した多様性を伸ばす教育」が30.6%と最も多く、次いで「ICT教育」が23.5%となっています。



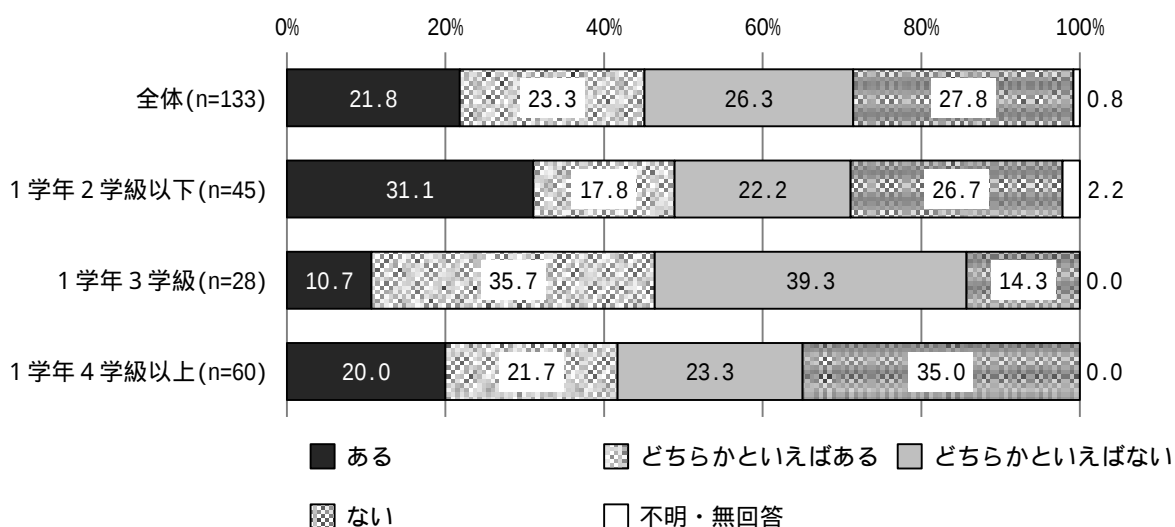
問 22 お子さんが現在の中学校に通うに当たり、学校規模や施設面等で気になる点はありませんか。
(単数回答)

中学校の規模や施設で気になる点があったについてみると、全体では「ない」が27.8%と最も多く、次いで「どちらかといえばない」が26.3%、「どちらかといえばある」が23.3%となっています。

学校の規模別にみると、<1学年2学級以下>では「ある」がやや多いものの、「ある」「どちらかといえばある」の合計はいずれの区分でも4割台となっています。

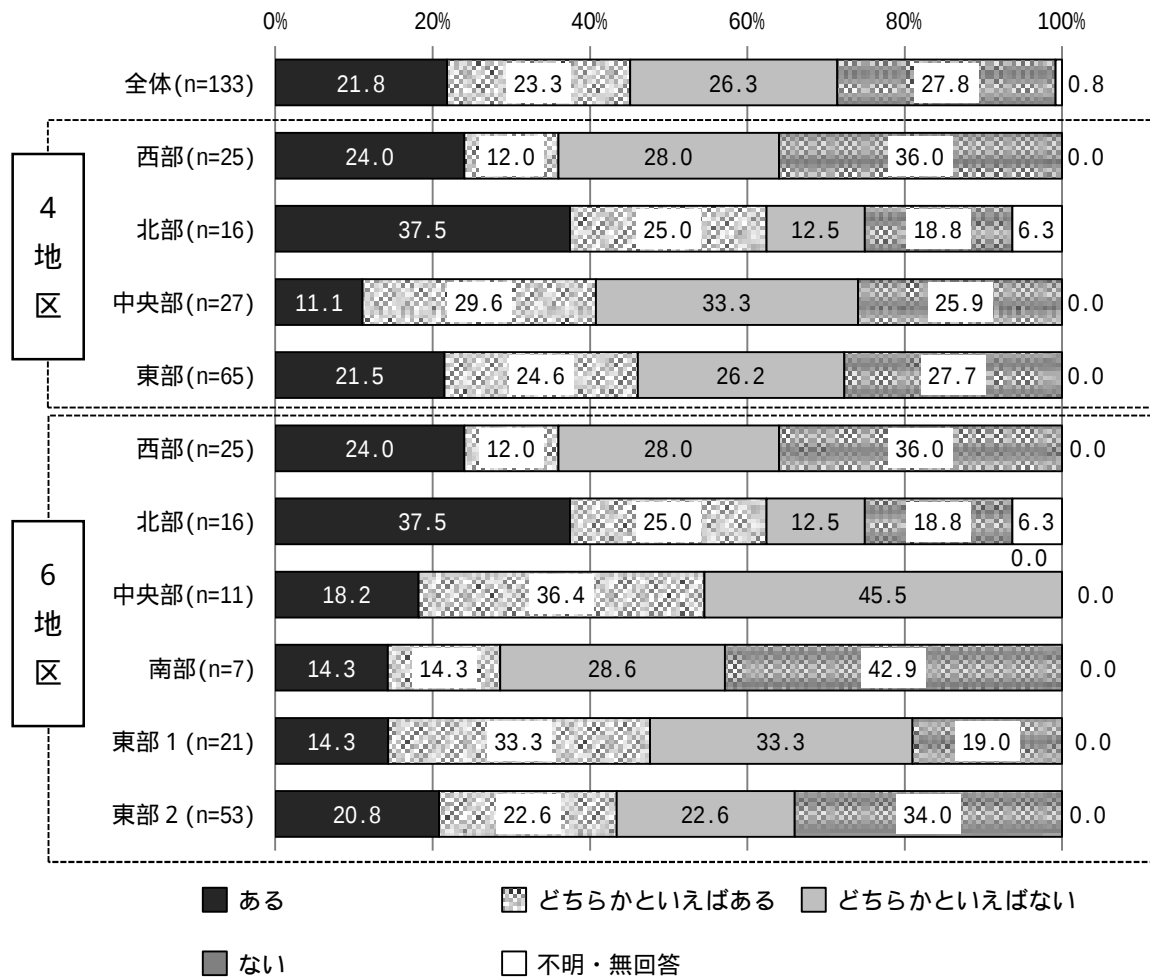
地域別にみると、<北部>で「ある」「どちらかといえばある」が多くなっています。

× 学校の規模



地域別の集計は次のページに掲載。

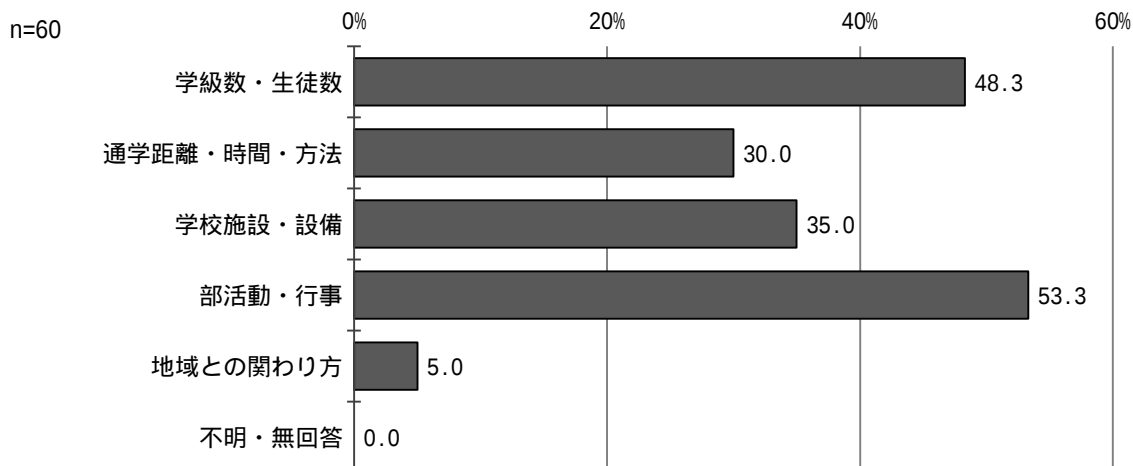
× 地域性



問 23 問 22 で「1」または「2」(中学校の規模や施設で気になる点があった側)を選んだ方にお聞きします。どのような点が気になりますか。
(複数回答)

中学校の規模や施設で気になる点についてみると、全体では「部活動・行事」が53.3%と最も多く、次いで「学級数・生徒数」が48.3%、「学校施設・設備」が35.0%となっています。

地域別にみると、<西部><北部>で「部活動・行事」が8割台、「学級数・生徒数」が約7割となっています。



× 地域性

%		学級数・生徒数	通学距離・時間・方法	学校施設・設備	部活動・行事	地域との関わり方	不明・無回答
	全体(n=60)	48.3	30.0	35.0	53.3	5.0	-
地域性 (4地区)の 項目	西部(n=9)	66.7	44.4	55.6	88.9	11.1	-
	北部(n=10)	70.0	10.0	-	80.0	-	-
	中央部(n=11)	27.3	36.4	27.3	45.5	-	-
	東部(n=30)	43.3	30.0	43.3	36.7	6.7	-
	西部(n=9)	66.7	44.4	55.6	88.9	11.1	-
	北部(n=10)	70.0	10.0	-	80.0	-	-
地域性 (6地区)の 項目	中央部(n=6)	16.7	16.7	16.7	83.3	-	-
	南部(n=2)	50.0	-	50.0	50.0	-	-
	東部1(n=10)	40.0	40.0	40.0	20.0	-	-
	東部2(n=23)	43.5	34.8	43.5	34.8	8.7	-

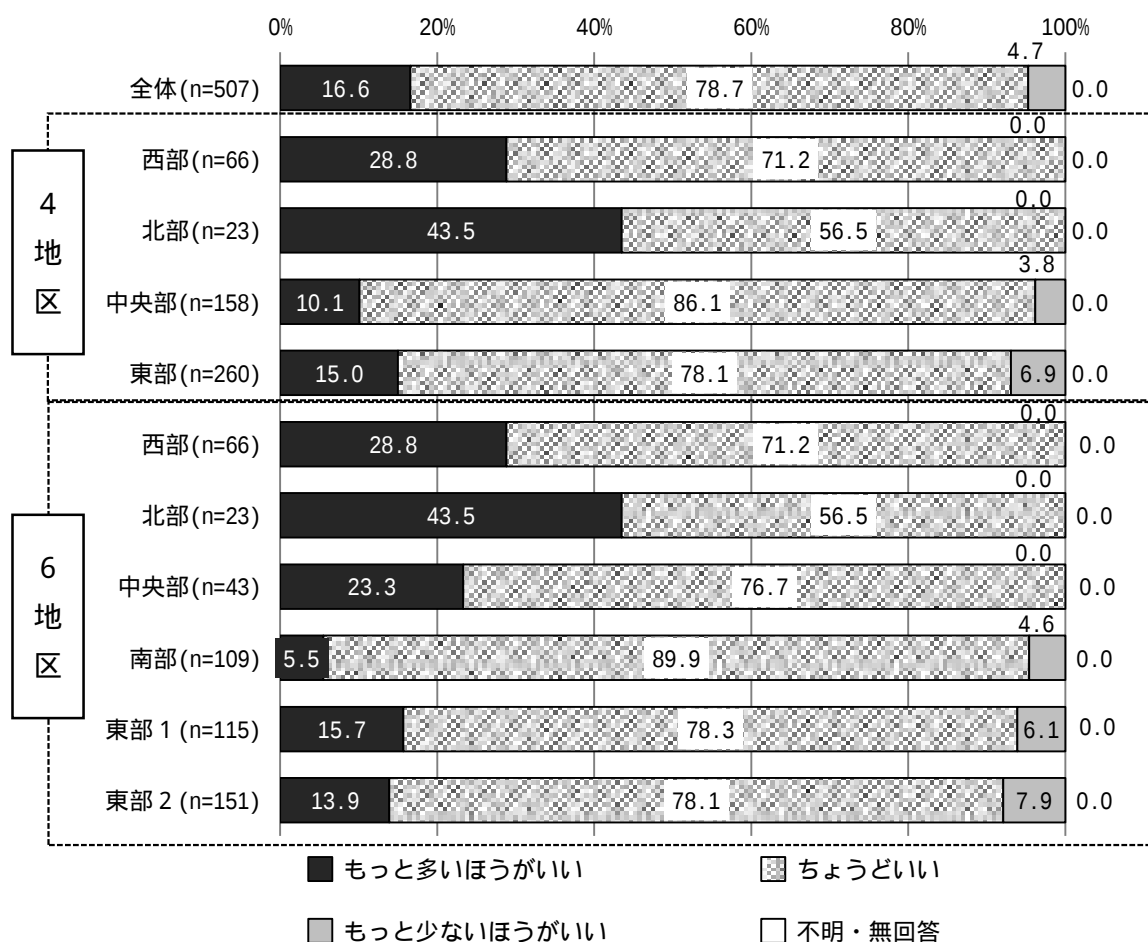
問 24 青梅市では子ども達により良い教育環境を整えるために、学校の統合も視野に入れながら、学校規模の適正化について検討しています。
保護者の皆様の御意見があれば、お聞かせください。

学校規模の適正化等についてのご意見は、別冊の通りとなっています。

第5章 中学生本人調査

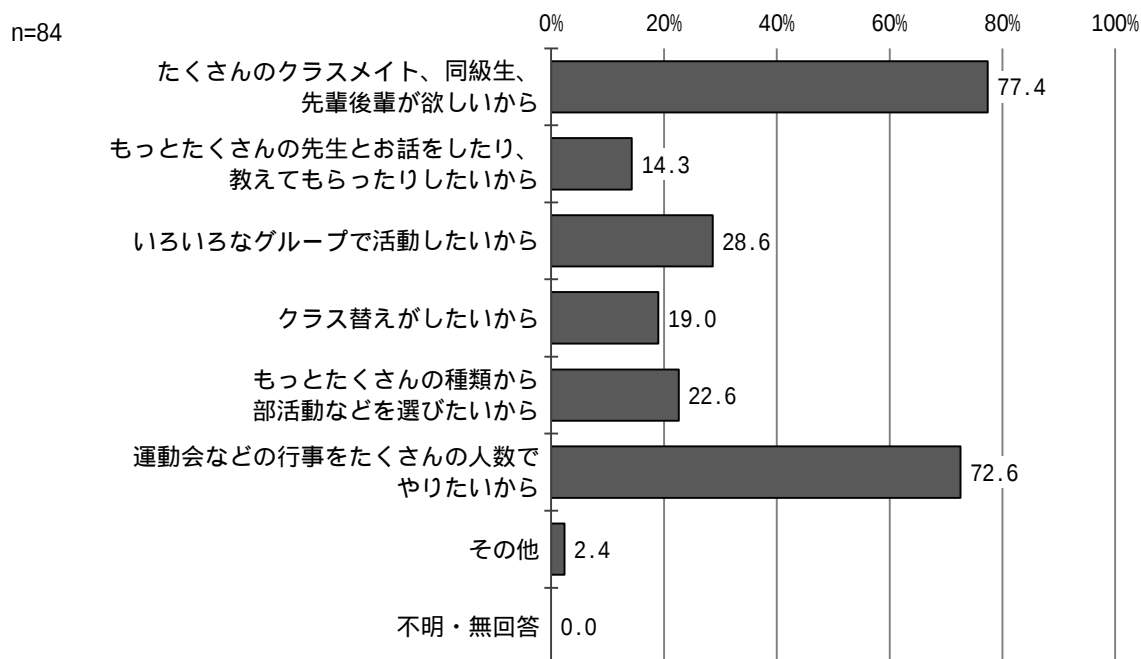
問 2 あなたが現在通っている中学校について、1学級あたりの児童数をどう思いますか。
× 地域性 (単数回答)

1学級の生徒数をどう思うかについてみると、全体では「ちょうどいい」が78.7%と最も多く、次いで「もっと多いほうがいい」が16.6%、「もっと少ないほうがいい」が4.7%となっています。
地域別でみると、「もっと多い方がいい」が北部では43.5%、西部では28.8%と、他の地域と比べて多くなっています。



問 3 問 2 で「1」(1学級の生徒数についてもっと多い方がいい)を選んだ方にお聞きします。「もっと多いほうがいい」を選んだ理由は何ですか。(単数回答)

1学級の生徒数が増える方がいいと思う理由についてみると、全体では「たくさんのクラスメイト、同級生、先輩後輩が欲しいから」が77.4%と最も多く、次いで「運動会などの行事をたくさん的人数でやりたいから」が72.6%、「いろいろなグループで活動したいから」28.6%となっています。

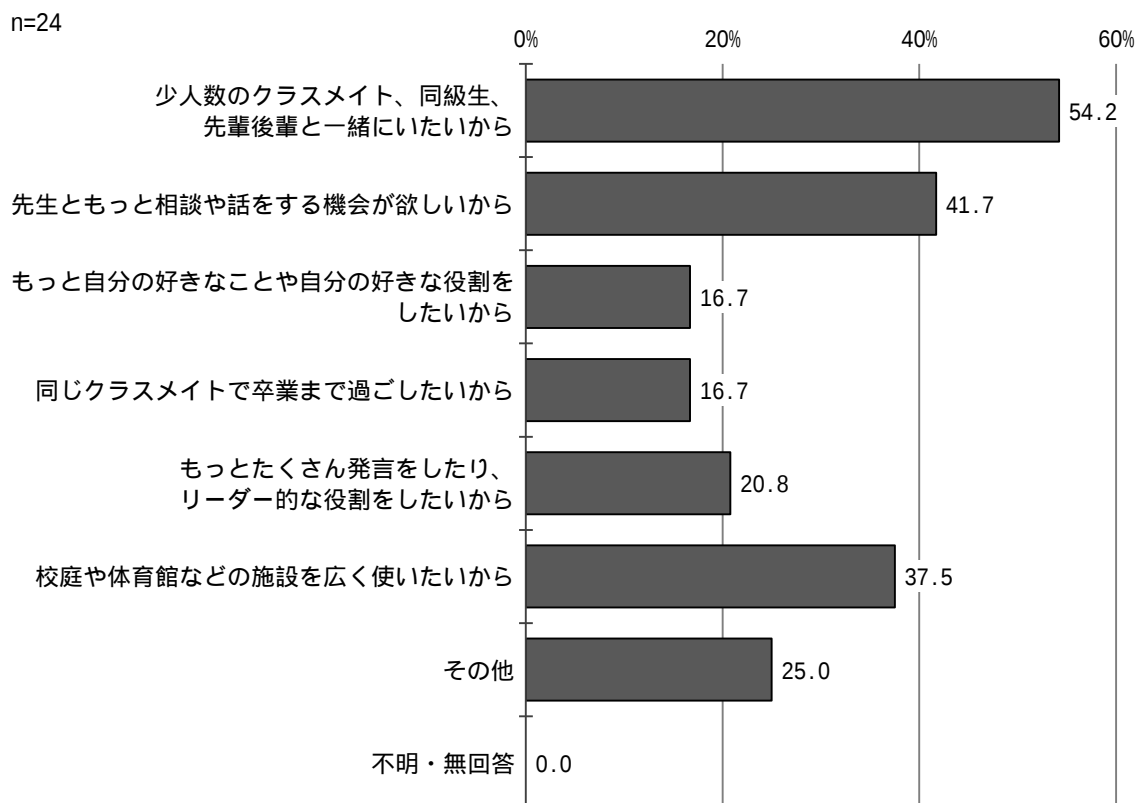


「その他」の内容

- 部活の平均人数を増やしたいから。
- 今現在、40人学級で教室が窮屈だから。

問 4 問 2 で「3」(1学級の生徒数についてもっと少ない方がいい)を選んだ方にお聞きします。「もっと少ないほうがいい」を選んだ理由は何ですか。(単数回答)

1学級の生徒数をもっと少ない方がいいと思う理由についてみると、全体では「少人数のクラスメイト、同級生、先輩後輩と一緒にいたいから」が54.2%と最も多く、次いで「先生ともっと相談や話をする機会が欲しいから」が41.7%、「校庭や体育館などの施設を広く使いたいから」が37.5%となっています。



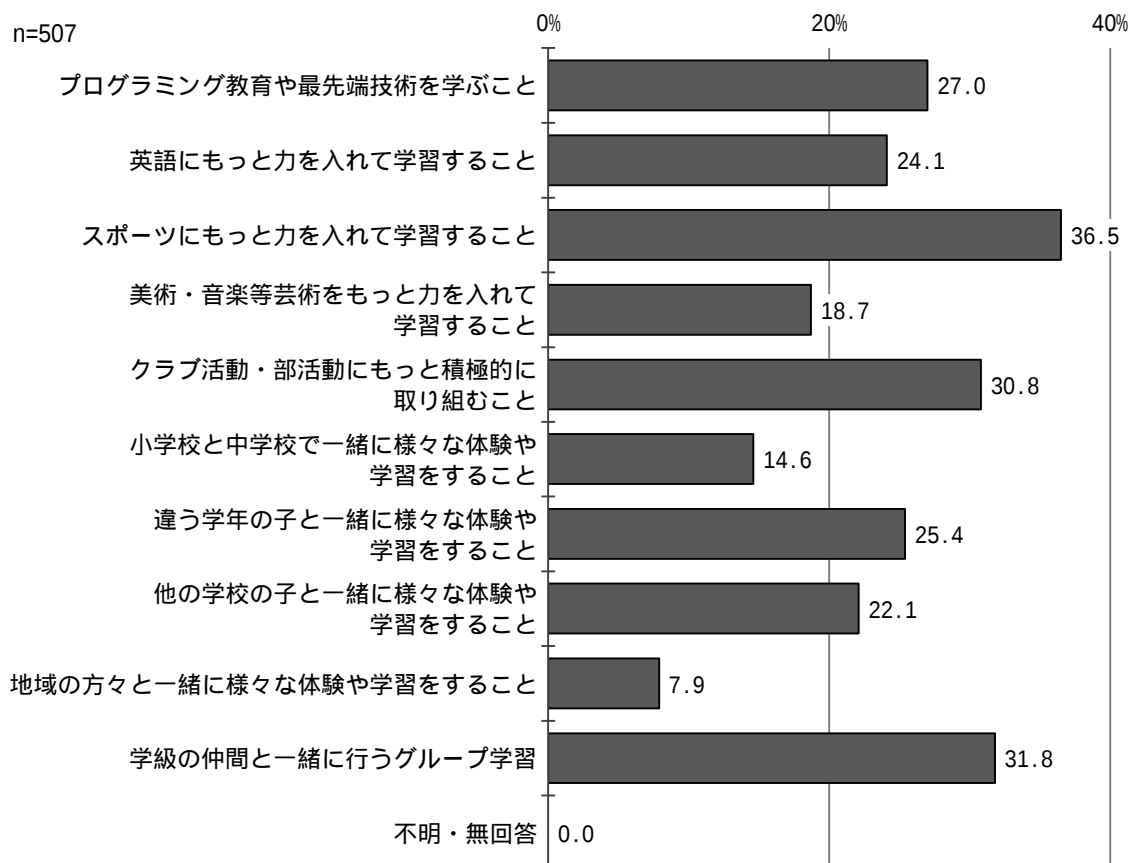
「その他」の内容

- 中学生は体が大きく、40人だとぎゅうぎゅうで勉強に集中できない可能性があるから。
- 多いとクラスをまとめることが難しくなるから。
- 人の顔や名前が覚えられないから。
- 教室が狭いから。
- 一つの空間にたくさん人がいるのが不愉快だから
- 1つの場所にたくさんの人数が密集している空間があまり得意ではないから。

問 5 今後、学校生活でやってみたいことはありますか。

(複数回答)

今後、学校生活でやってみたいことについてみると、全体では「スポーツにもっと力を入れて学習すること」が 36.5%と最も多く、次いで「学級の仲間と一緒に行うグループ学習」が 31.8%、「クラブ活動・部活動にもっと積極的に取り組むこと」が 30.8%となっています。



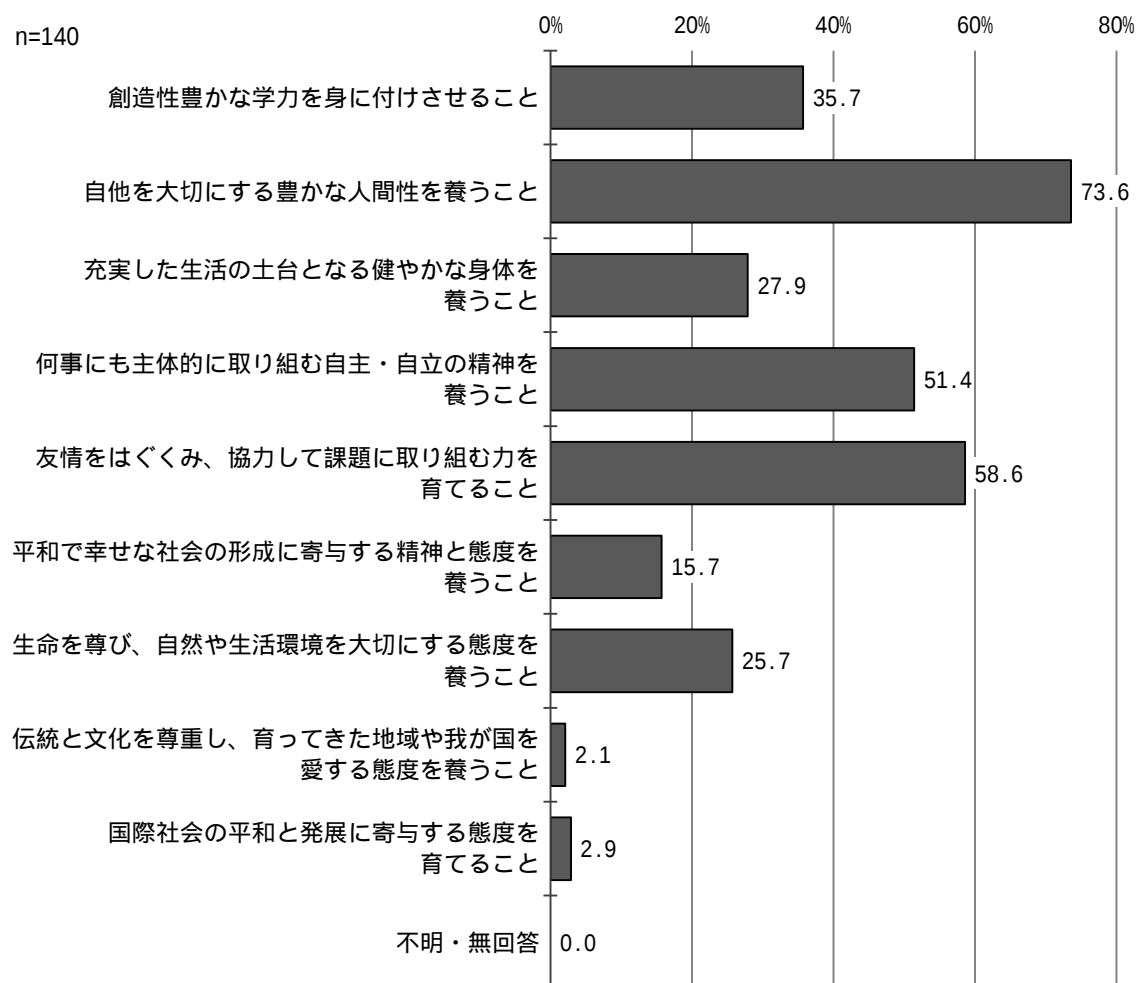
問 6 青梅市では子ども達により良い教育環境を整えるために、学校の統合も視野に入れながら、学校規模の適正化について検討しています。皆様のご意見があれば、お聞かせください。

学校規模の適正化等についてのご意見は、別冊の通りとなっています。

第6章 未就学児保護者調査

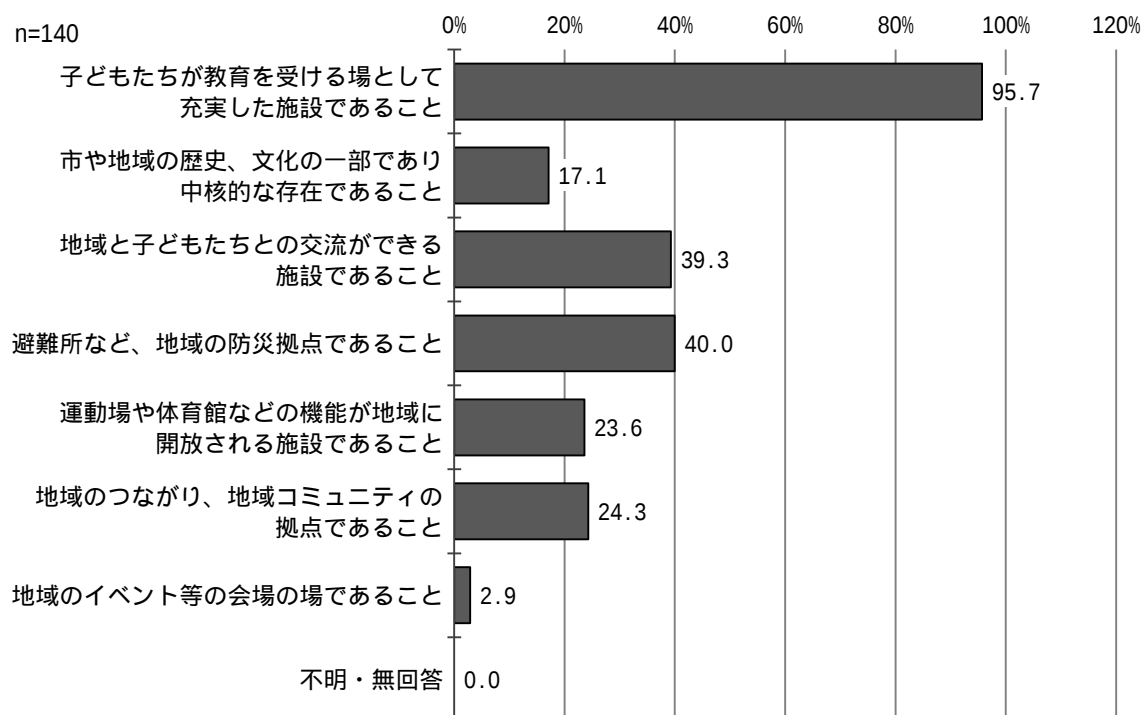
問2 お子さんが入学する小学校が力を入れてほしい教育内容をお聞かせください。
(複数回答)

力を入れてほしい教育内容についてみると、「自他を大切にする豊かな人間性を養うこと」が73.6%と最も多く、次いで「友情をはぐくみ、協力して課題に取り組む力を育てること」が58.6%、「何事にも主体的に取り組む自主・自立の精神を養うこと」が51.4%となっています。



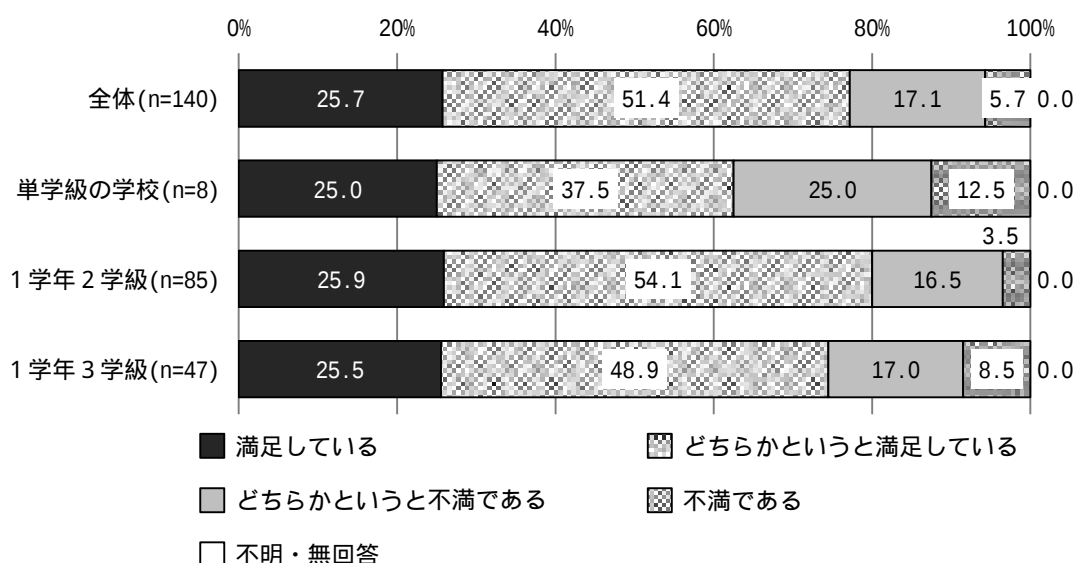
問 3 お子さんが入学する小学校に期待する学校施設をお聞かせください。（複数回答）

学校施設への期待についてみると、「子どもたちが教育を受ける場として充実した施設であること」が 95.7%と最も多く、次いで「避難所など、地域の防災拠点であること」が 40.0%、「地域と子どもたちとの交流ができる施設であること」が 39.3%となっています。



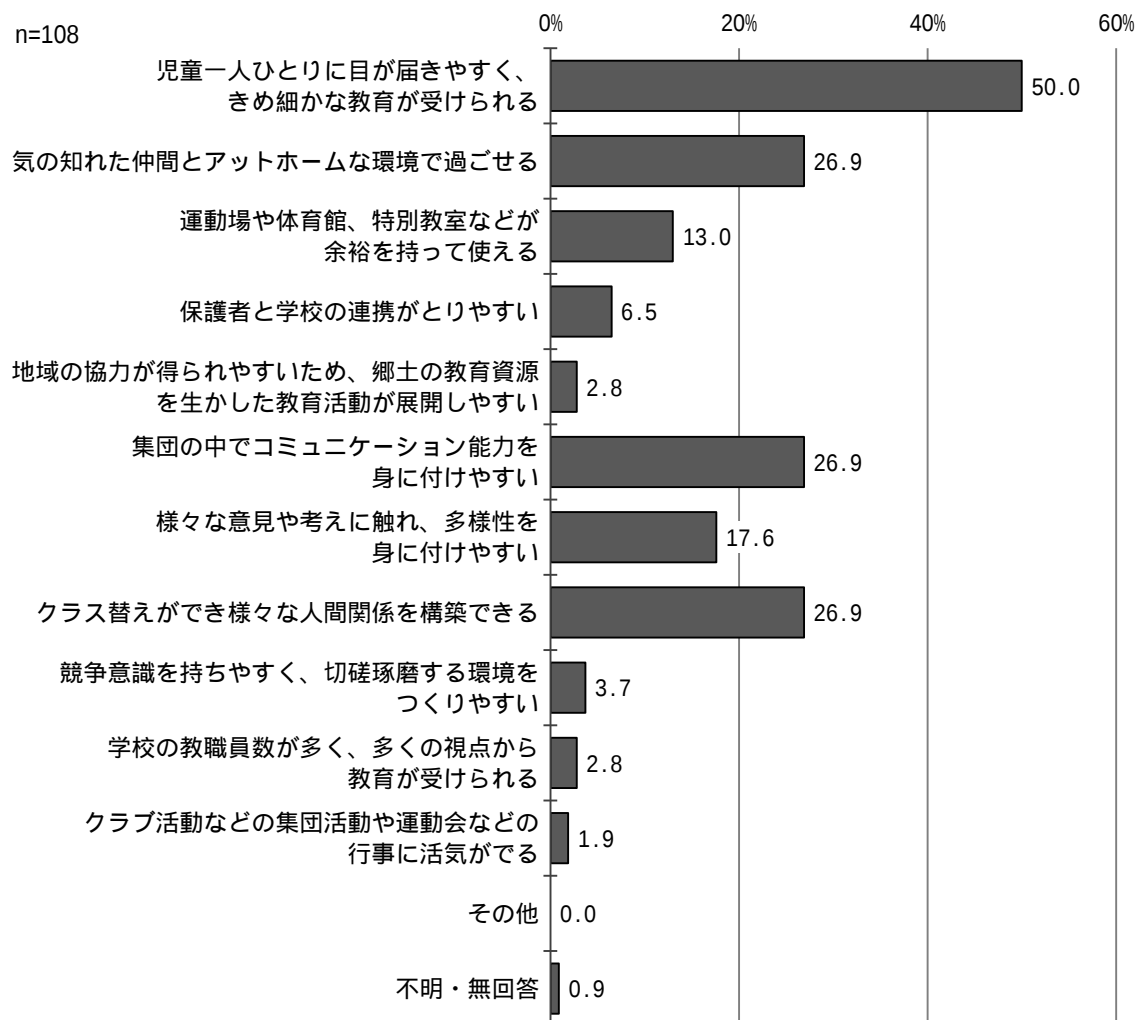
問 4 参考資料中の各小学校の学級数をご確認ください。お子さんが通う予定の小学校の学級数に満足していますか。 × 学校の規模（単数回答）

学級数への満足度についてみると、全体では「どちらかという満足している」が 51.4%と最も多く、次いで「満足している」が 25.7%、「どちらかという不満である」が 17.1%となっています。学校の規模別にみると、区分ごとで大きな差はみられません。



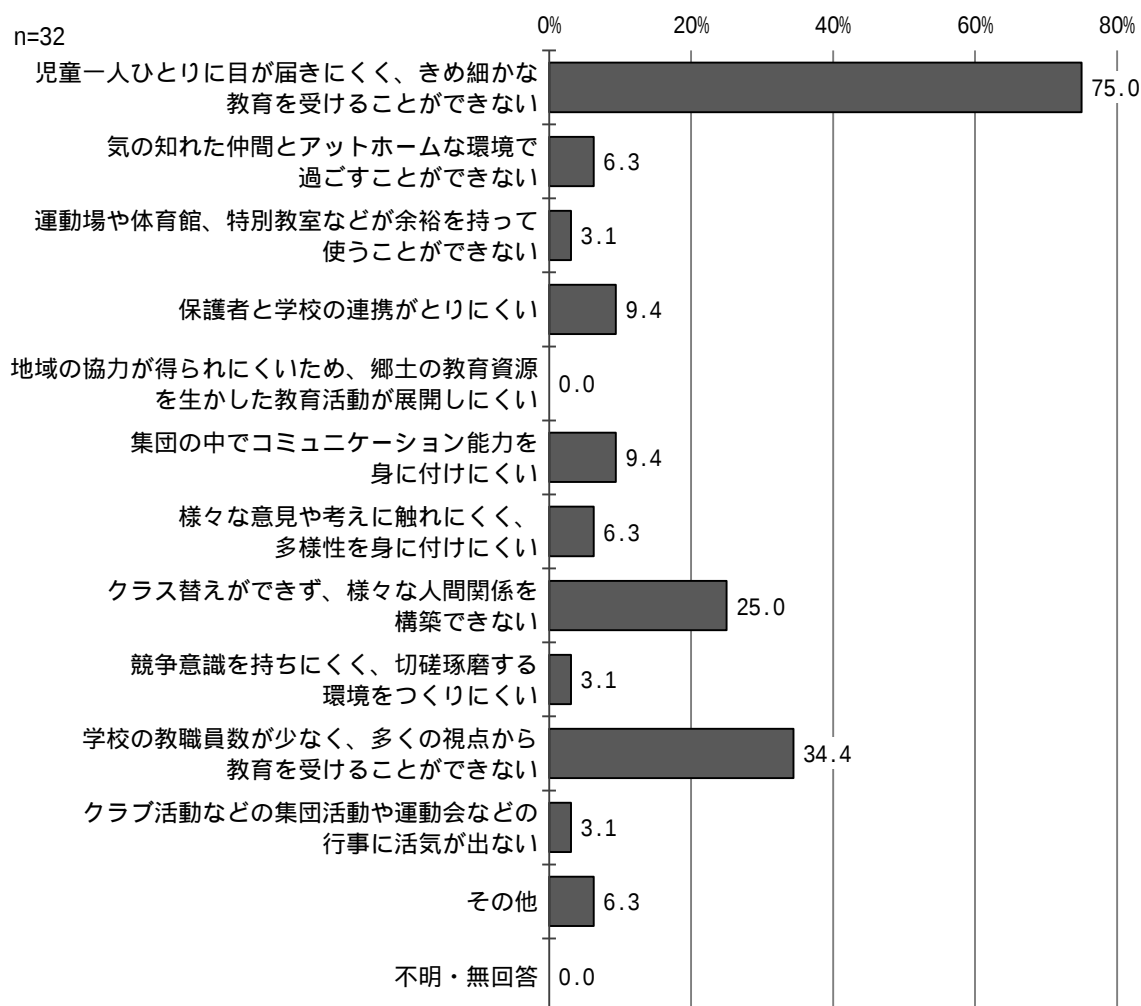
問 5 問 4 で「1」または「2」(学級数に満足している側)を選んだ方にお聞きします。「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

学級数に満足している理由についてみると、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が50.0%と最も多く、次いで「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせる」「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」が26.9%となっています。



問 6 問 4 で「3」または「4」(学級数に不満である側)を選んだ方にお聞きします。「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

学級数に不満である理由についてみると、「児童一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな教育を受けることができない」が75.0%と最も多く、次いで「学校の教職員数が少なく、多くの視点から教育を受けることができない」が34.4%、「クラス替えができず、様々な人間関係を構築できない」が25.0%となっています。

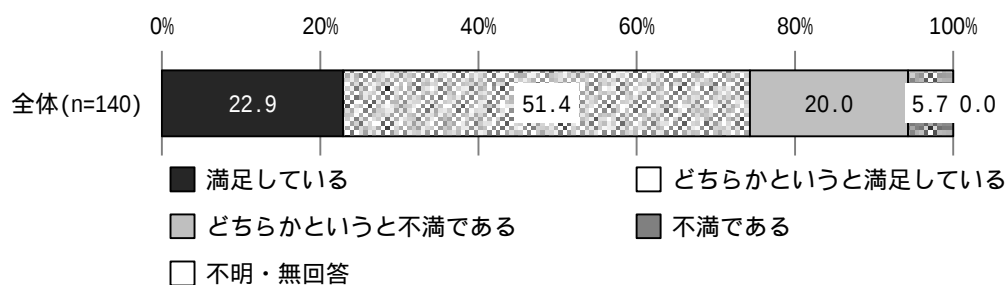


「その他」の内容

- クラス児童数が多い事で

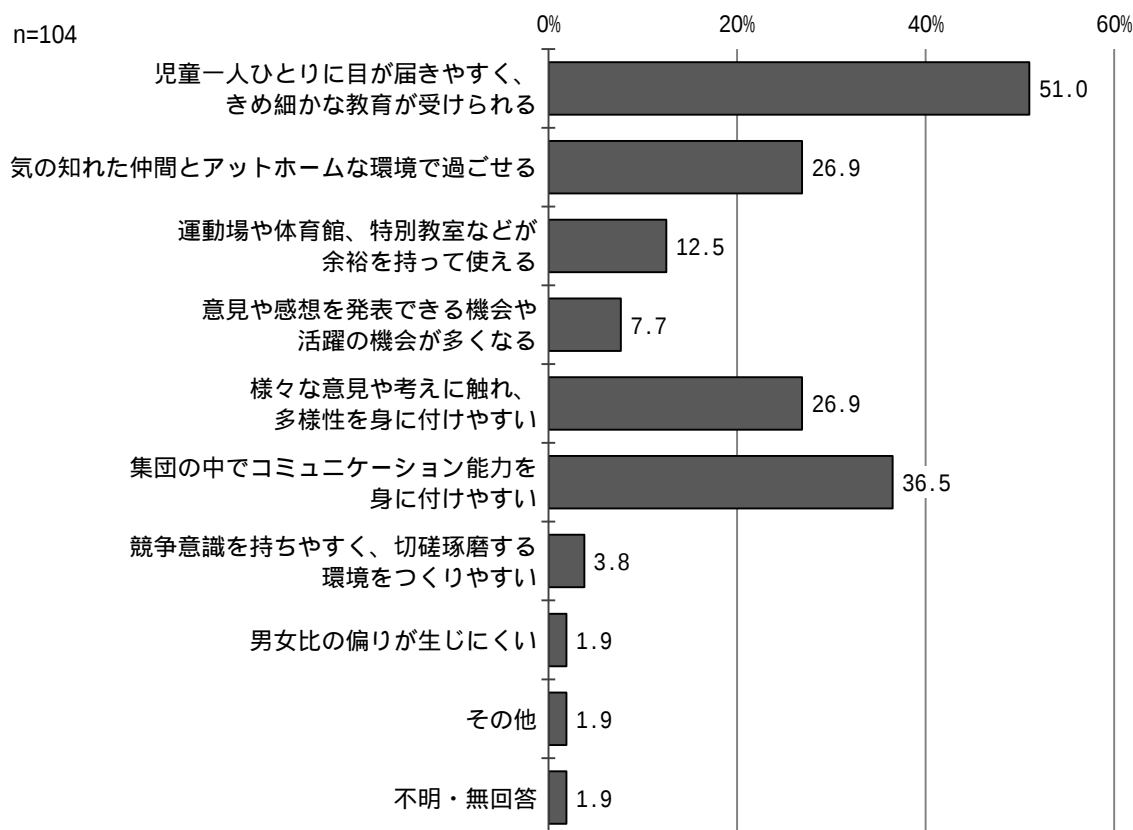
問 7 参考資料中の各小学校の 1 学級当たりの児童数をご確認ください。お子さんが通う予定の小学校の 1 学級の児童数に満足していますか。
(単数回答)

1 学級の子どもの数の満足度についてみると、「どちらかという満足している」が 51.4%と最も多く、次いで「満足している」が 22.9%、「どちらかという不満である」が 20.0%となっています。



問 8 問 7 で「1」または「2」(1学級の児童数に満足している側)を選んだ方にお聞きします。「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

1学級の児童数に満足している理由についてみると、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が51.0%と最も多く、次いで「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすい」が36.5%、「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせる」が26.9%となっています。

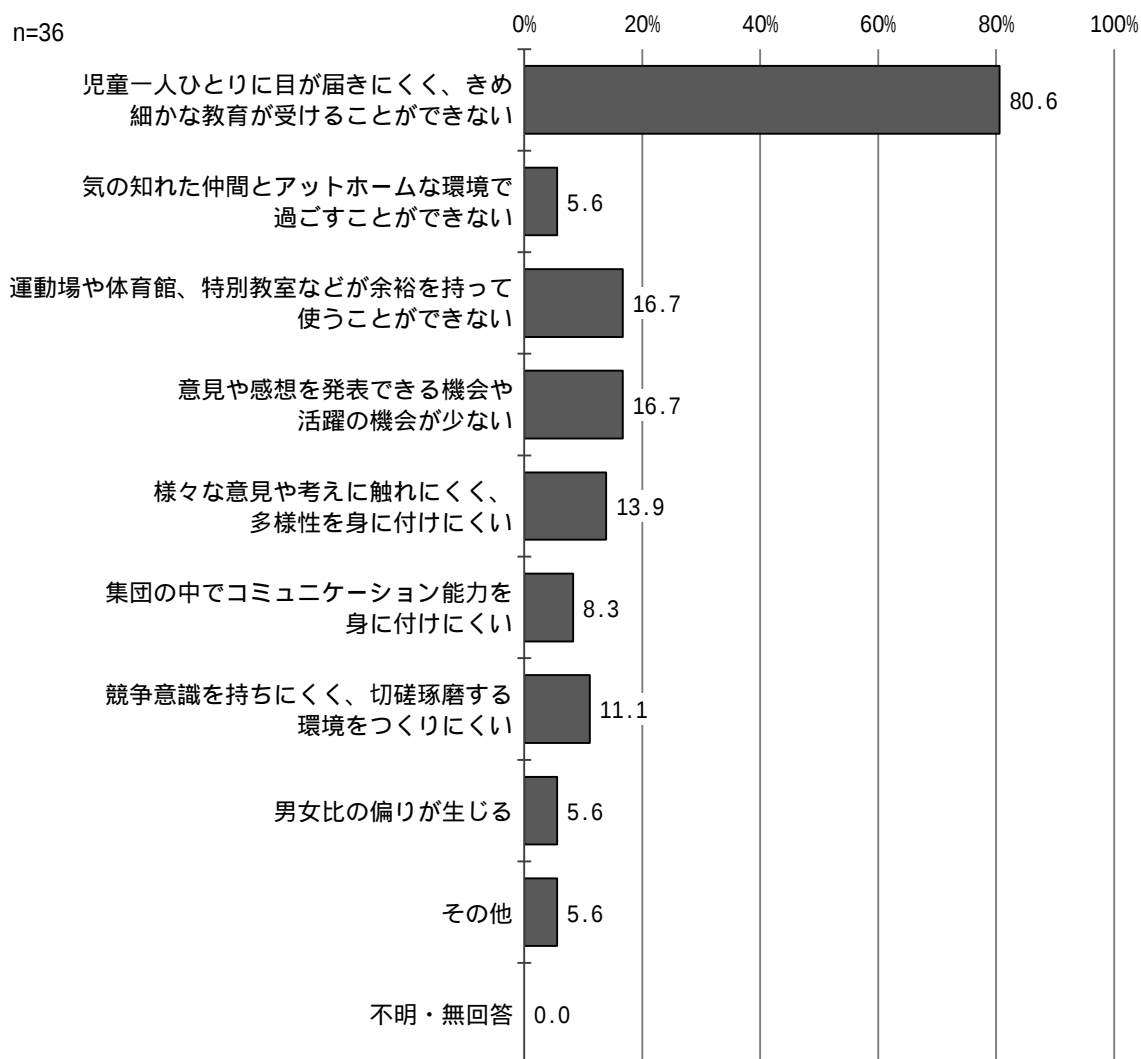


「その他」の内容

- 特に不満がないためどちらでもない
- 児童数は、住居の増加も関係しているためどうしても出来ない問題かと思う。だが、学童の許容人数の拡大や地域連携のクラブ活動などが充実すれば、児童の分散、親も就業時間の選択も出来るかと思います。

問 9 問 7 で「3」または「4」(1学級の児童数に不満である側)を選んだ方にお聞きします。
「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

1学級の児童数に不満である理由についてみると、「児童一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな教育が受けることができない」が80.6%と最も多く、次いで「運動場や体育館、特別教室などが余裕を持って使うことができない」「意見や感想を発表できる機会や活躍の機会が少ない」が16.7%となっています。



「その他」の内容

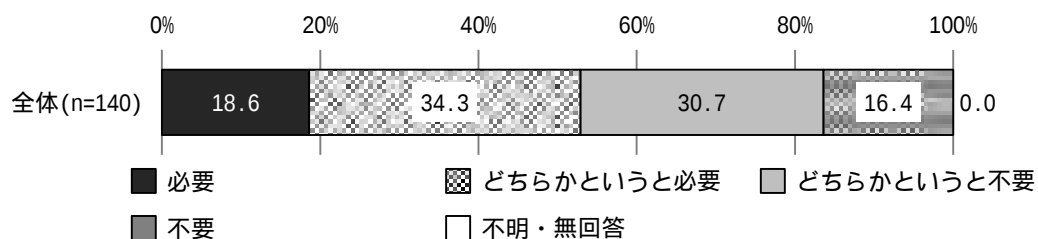
- クラスの児童数が多い事で 教員の様々な負担が大きいのではないかと。

問 10 1 学年 1 学級が見込まれる学校などについては、統合するなどの小規模校対策は必要
だと思いませんか。 (単数回答)

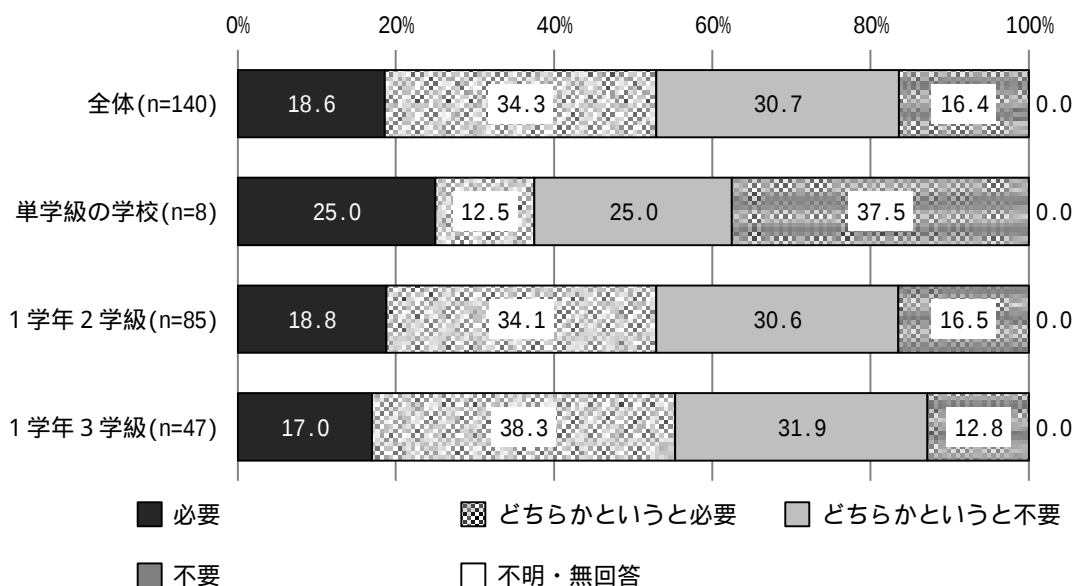
小規模校対策が必要だと思うかについてみると、全体では「どちらかという必要」が 34.3%と最も多く、次いで「どちらかという不要」が 30.7%、「必要」が 18.6%となっています。

学校の規模別にみると、母数は少ないものの<単学級の学校>では、「不要」が 37.5%と最も多く、次いで「必要」「どちらかという不要」が 25.0%となっています。

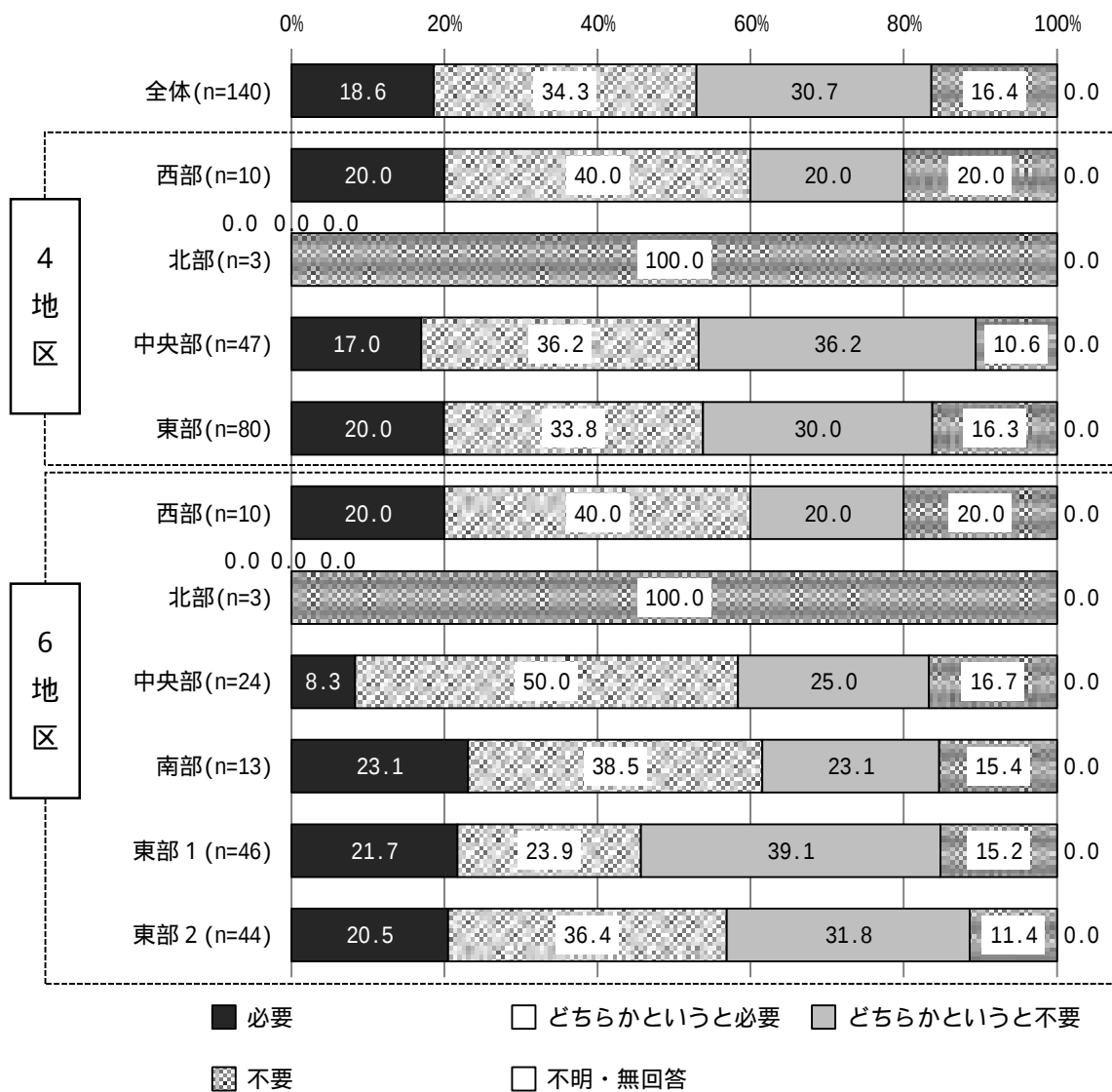
地域別にみると、6 地区別の<中央部>では「必要」が少なくなっています。また、<北部>はサンプル数が非常に少ないものの、「不要」が多くなっています。



× 学校の規模

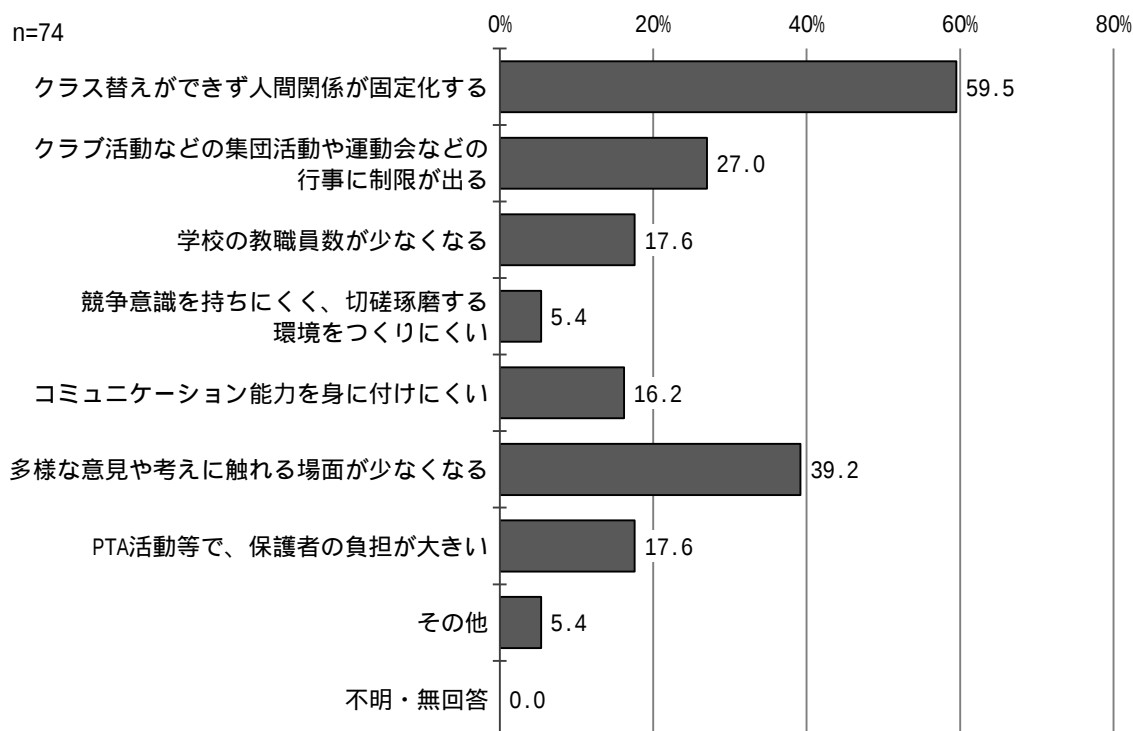


× 地域性



問 11 問 10 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方お聞きします。「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

小規模校対策が必要だと思う理由についてみると、「クラス替えができず人間関係が固定化する」が59.5%と最も多く、次いで「多様な意見や考えに触れる場面が少なくなる」が39.2%、「クラブ活動などの集団活動や運動会などの行事に制限が出る」が27.0%となっています。

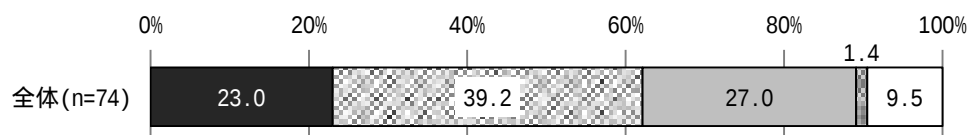


「その他」の内容

- 通学しにくくなる場合があることは置いておき、統合することにより、生徒数が多い学校に人員補充でき、先生方の負担軽減になる。空いた土地や施設を子供のため(娯楽施設など)に活用できれば更に良いと思う。昨今のびのび遊べる場所が少ないため。
- 少人数はクラスメイトが打ち解けやすいが、反りの合わない子がボス気質だと簡単に逃げられず、学校に行くことが苦行になりかねない。教員の負担が大きくなるから。部活や課外活動だけでも統合できれば少人数のメリットも享受しつつ、負担を減らせると思います。
- 小規模学校でも、学校の維持費は同様にかかるから、財源に限りがあるから、統合した方が予算を有効に執行できる。
- 教員数を削減しないのであれば、教師一人あたりの負担が減る

問 12 問 10 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方にお聞きします。小規模校対策として、どのような状況になったら、学校の統合を検討する必要があると思いますか。(小学校を想定してお答えください) (単数回答)

どんな状況になったら学校の統合を検討する必要があると思うかについてみると、「6学級の(全学年が単学級)場合は、学校の統合を検討した方よい」が39.2%と最も多く、次いで「複式学級が見込まれる場合は学校の統合を検討した方がよい」が27.0%、「11学級以下の(学校全体で1学年でも単学級の学年がある)場合は、学校の統合を検討した方がよい」が23.0%となっています。



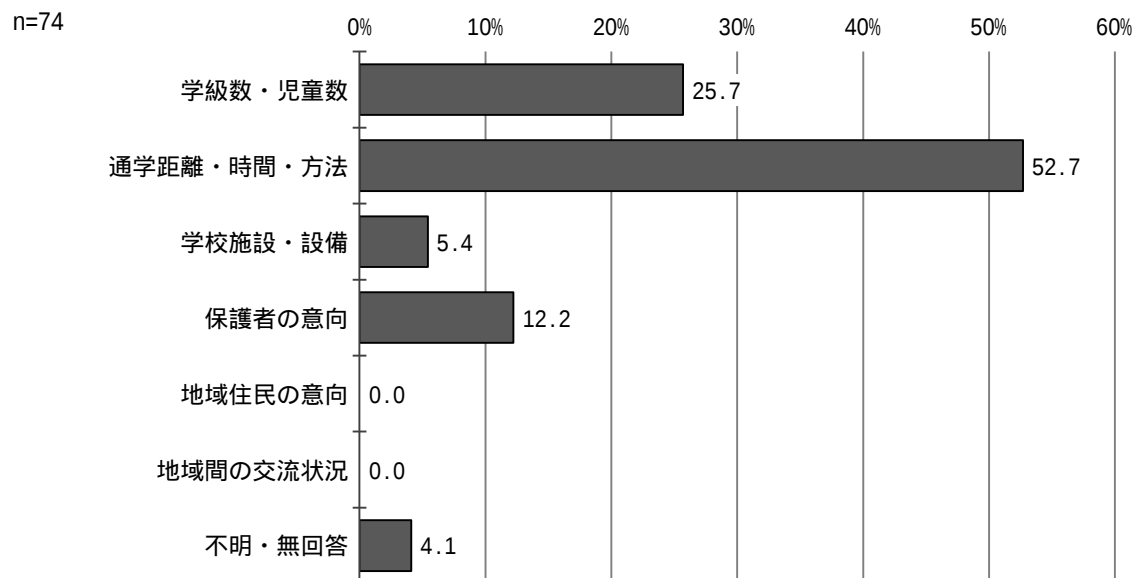
- ☒ 11学級以下の(学校全体で1学年でも単学級の学年がある)場合は、学校の統合を検討した方がよい
- ☐ 6学級の(全学年が単学級)場合は、学校の統合を検討した方よい
- ☐ 複式学級が見込まれる場合は学校の統合を検討した方がよい
- ☐ その他
- ☐ 不明・無回答

「その他」の内容

- 生徒への目が行き届かなくなるんじゃないかと思う
- 子供が徒歩で通える範囲で学校があることが望ましい時思うから
- 候補であれば、複式学級になった場合には統合の必要性が出てくるかと。あとは一クラスあたりの人数も重要かと。20人超の場合は、統合した場合児童数が多くなりすぎることもあり得る。可能かどうかは分かりませんが、児童数が少ない学校については内容に特徴をつけるなどで分散できたらと思います。英語が多いとか、運動に特化など。
- よく意味がわからない

問 13 問 10 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方にお聞きします。学校の統合を検討する場合に重視すべきことは何だと思いませんか。(複数回答)

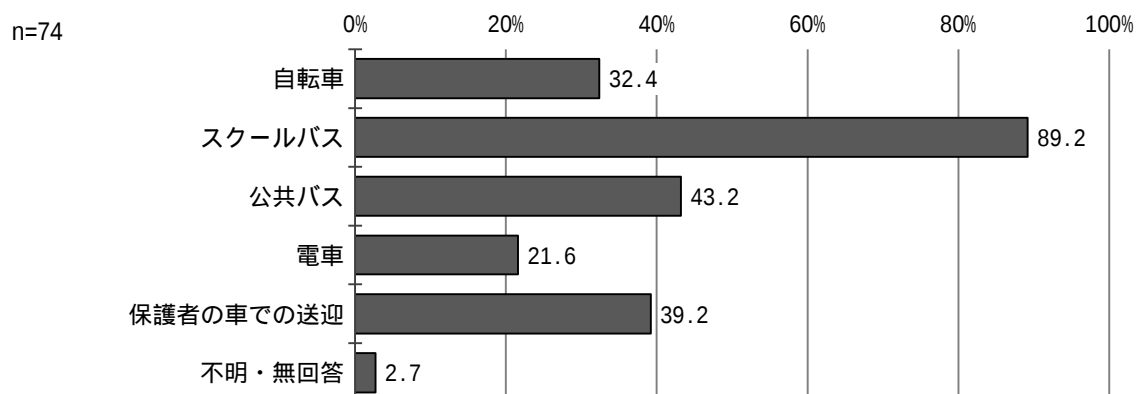
学校の統合を検討する場合に重視すべきことについてみると、「通学距離・時間・方法」が52.7%と最も多く、次いで「学級数・児童数」が25.7%、「保護者の意向」が12.2%となっています。



問 14 問 10 で「1」または「2」(小規模校対策が必要側)を選んだ方にお聞きします。例えば学校が統合されて通学距離が長くなり、徒歩で通学することが難しい場合にどのような通学手段が必要だと思いますか。(複数回答)

徒歩で通学することが難しい場合の通学手段についてみると、全体では「スクールバス」が89.2%と最も多く、次いで「公共バス」が43.2%、「保護者の車での送迎」が39.2%となっています。

地域別にみると、各地区で「スクールバス」が多くなっています。また、サンプル数は少ないものの<西部>では「公共バス」「保護者の車での送迎」も多くなっています。

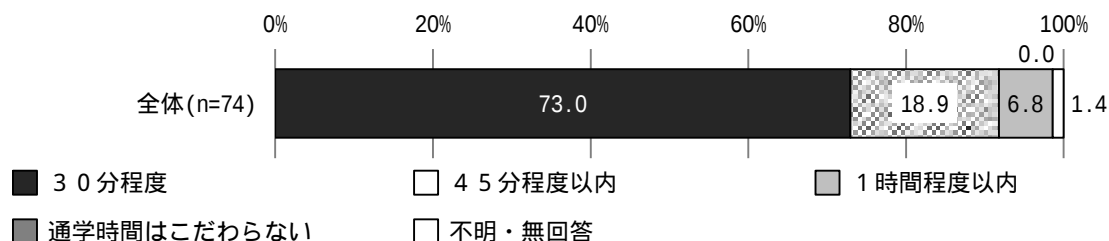


× 地域性

%		自転車	スクールバス	公共バス	電車	保護者の車での送迎	不明・無回答
	全体(n=74)	32.4	89.2	43.2	21.6	39.2	2.7
地域性 (4地区)の 項目	西部(n=6)	16.7	66.7	100.0	66.7	83.3	-
	北部(n=0)	-	-	-	-	-	-
	中央部(n=25)	32.0	100.0	40.0	16.0	32.0	-
	東部(n=43)	34.9	86.0	37.2	18.6	37.2	4.7
地域性 (6地区)の 項目	西部(n=6)	16.7	66.7	100.0	66.7	83.3	-
	北部(n=0)	-	-	-	-	-	-
	中央部(n=14)	35.7	100.0	35.7	14.3	28.6	-
	南部(n=8)	25.0	100.0	25.0	12.5	50.0	-
	東部1(n=21)	23.8	100.0	33.3	9.5	23.8	-
	東部2(n=25)	44.0	76.0	48.0	28.0	44.0	8.0

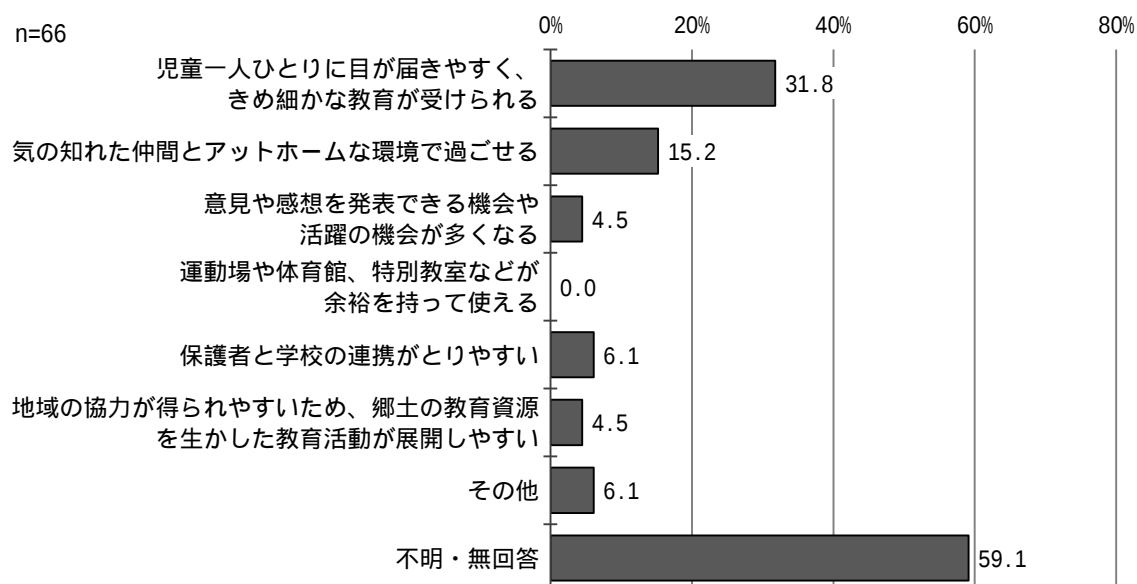
問 15 問 10 で「1」または「2」(小規模校対策が必要)を選んだ方にお聞きします。通学(片道)にかかる時間の許容範囲についてどのように思いますか。(単数回答)

通学時間についてみると、全体では「30分程度」が73.0%と最も多く、次いで「45分程度以内」が18.9%、「1時間程度以内」が6.8%となっています。



問 16 問 10 で「3」または「4」(小規模校対策は不要側)を選んだ方にお聞きします。
「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

小規模校対策は不要だと思理由についてみると、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられる」が31.8%と最も多く、次いで「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせる」が15.2%、「保護者と学校の連携がとりやすい」が6.1%となっています。

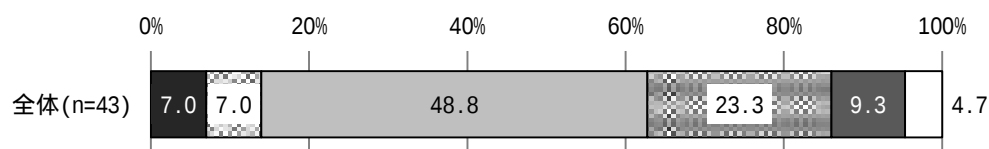


「その他」の内容

- 統合することにより、通学にかかる児童への負担が大きい。
- 統合した際に学校が遠くなるとの保護者や児童の負担が大きくなるのではないかと思うから
- 学校は教育や地域が集う場として 地域ごとにあるべき。
- 遠い学校に通学することになる場合があり児童たちに負担がかかるから

問 17 問 10 で「3」(小規模校対策はどちらかというとな必要)を選んだ方にお聞きします。
 小規模校対策(例えば学校の統合)は不要だと思われていますが、どのような状況になったら、小規模校対策を検討する必要があると思いますか。(単数回答)

どのような状況になったら、小規模校対策を検討する必要があると思うかについてみると、「複式学級が見込まれる場合は学校の統合を検討した方がよい」が48.8%と最も多く、次いで「人数によらず不要」が23.3%、「その他」が9.3%となっています。



- ☒ 11学級以下の(学校全体で1学年でも単学級の学年がある)場合は、学校の統合を検討した方がよい
- ☐ 6学級の(全学年が単学級)場合は、学校の統合を検討した方がよい
- ☒ 複式学級が見込まれる場合は学校の統合を検討した方がよい
- ☒ 人数によらず不要
- ☒ その他
- ☐ 不明・無回答

「その他」の内容

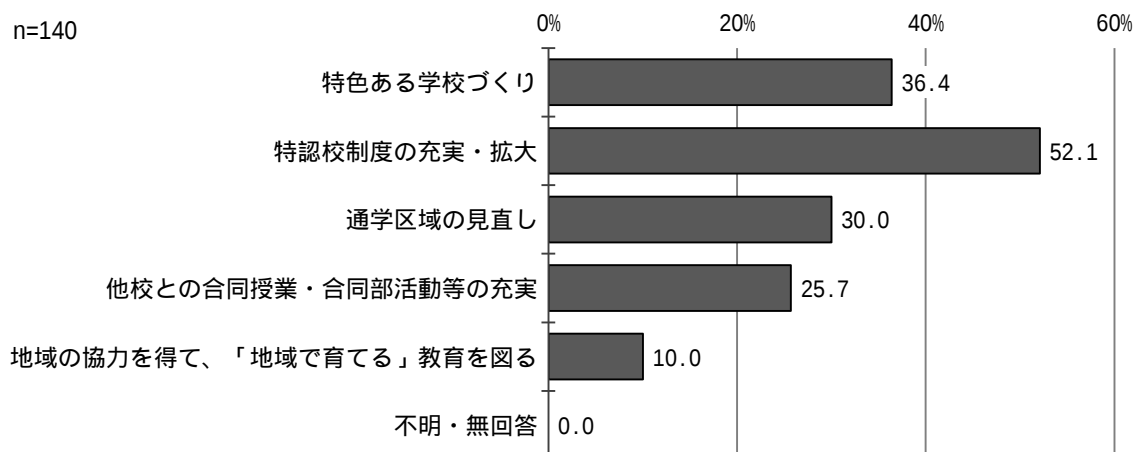
- 生徒数があまりにも少ない場合は統合も必要だと思いましたが、子供達が通学するのにあまりにも広域になってしまうのはあまり良くないと思います。
- 人材不足や学習するうえで他の学校と比べて不利な状況等があるなら体制を変えるべきだと思うが、無ければ現状のままで良いのでは無いと思う
- 子供が徒歩で通える範囲で学校があることが望ましいと思うから
- よく意味がわからない

問 18 全員にお聞きします。

小規模校として存続する場合に必要なことは何だと思いますか。 (複数回答)

小規模校として存続する場合に必要なことについてみると、全体では「特認校制度の充実・拡大」が52.1%と最も多く、次いで「特色ある学校づくり」が36.4%、「通学区域の見直し」が30.0%となっています。

学校の規模別にみると、<単学級の学校>ではサンプル数が少ないものの、「通学区域の見直し」「他校との合同授業・合同部活動等の充実」「地域の協力を得て、「地域で育てる」教育を図る」が37.5%と多くなっています。

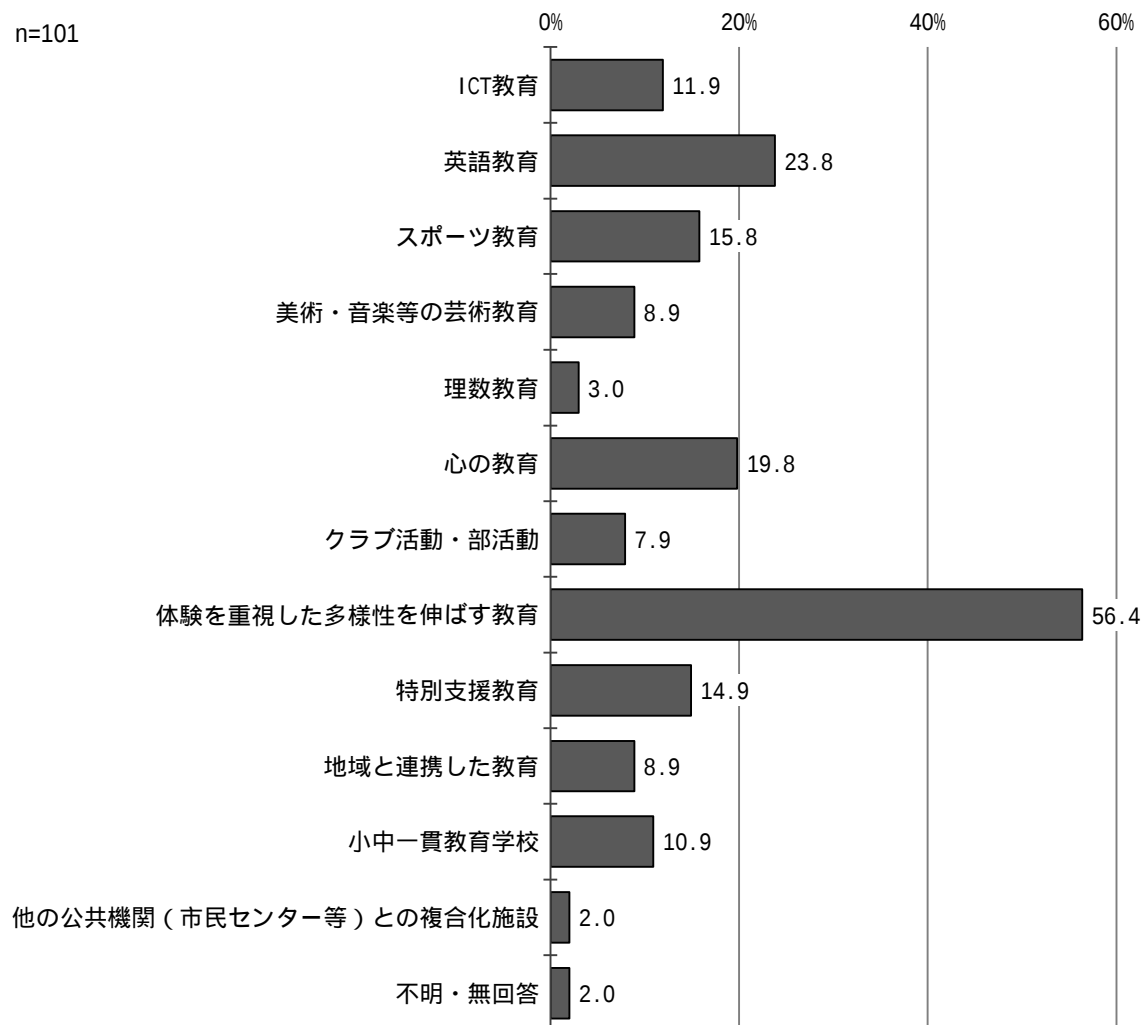


× 学校の規模

%		特色ある学校づくり	特認校制度の充実・拡大	通学区域の見直し	他校との合同授業・合同部活動等の充実	地域の協力を得て、「地域で育てる」教育を図る	不明・無回答
学校の規模の項目	全体(n=140)	36.4	52.1	30.0	25.7	10.0	-
	単学級の学校(n=8)	25.0	25.0	37.5	37.5	37.5	-
	1学年2学級(n=85)	37.6	61.2	29.4	22.4	7.1	-
	1学年3学級(n=47)	36.2	40.4	29.8	29.8	10.6	-

問 19 問 18 で「1」または「2」(特色ある学校づくりや特認校制度の充実・拡大が必要)を選んだ方にお聞きします。どのような特色を作ったり、特認校の充実を拡大した方がよいと思いますか。
(複数回答)

どのような特色を拡大した方がよいと思うかについてみると、全体では「体験を重視した多様性を伸ばす教育」が56.4%と最も多く、次いで「英語教育」が23.8%、「心の教育」が19.8%となっています。

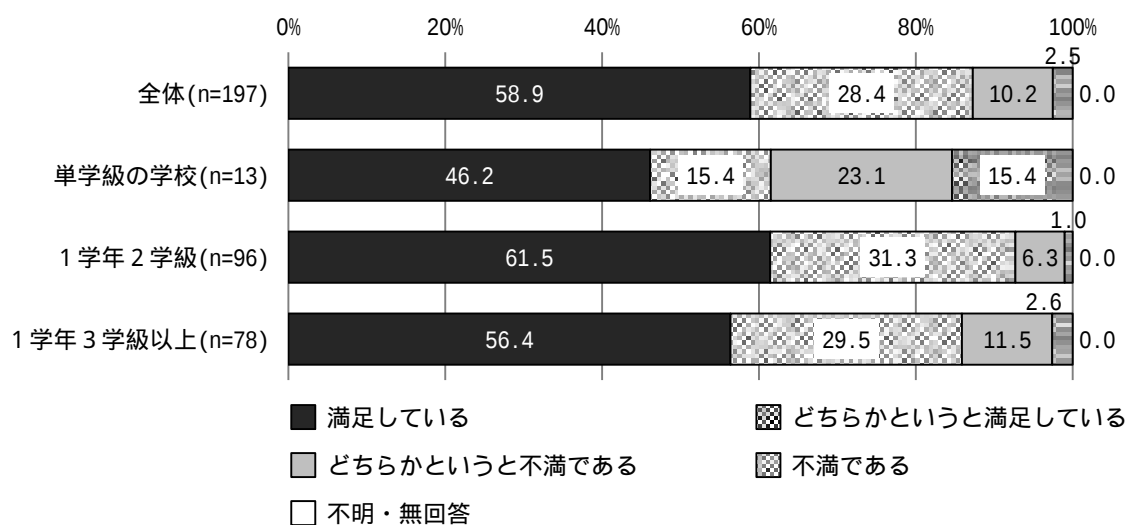


第7章 青梅市内在住の17歳調査

問3 あなたが卒業した小学校の1学年あたりの学級数について、改めて振り返り、満足していますか。 × 小学校規模別 (単数回答)

卒業した小学校の学級数への満足度についてみると、全体では「満足している」が58.9%と最も多く、次いで「どちらかという満足している」が28.4%、「どちらかという不満である」が10.2%となっています。

学校の規模別にみると、<単学級の学校>では、「満足している」が46.2%と、全体と比べて少なくなっています。

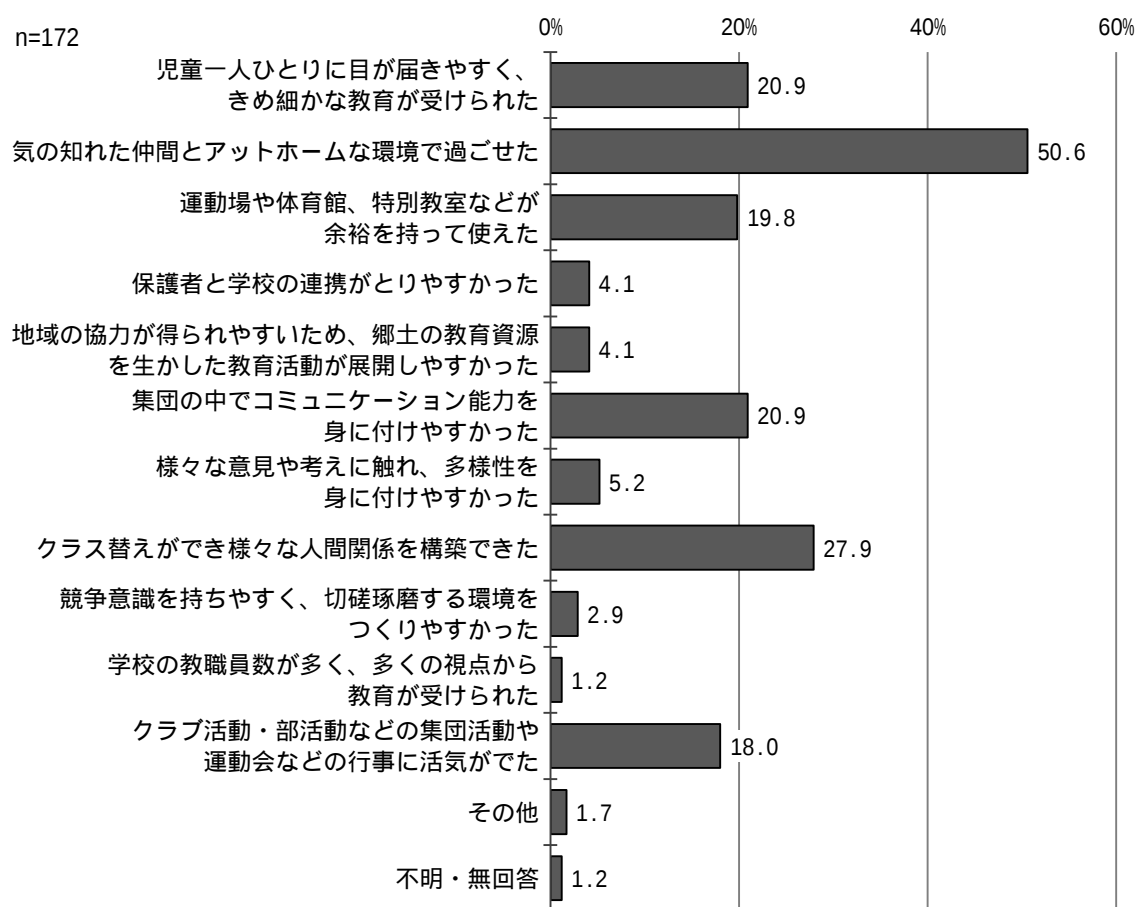


問4 問3で「1」または「2」(卒業した小学校の学級数に満足している側)を選んだ方にお聞きします。「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

卒業した小学校の学級数に満足している理由についてみると、「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせた」が50.6%と最も多く、次いで「クラス替えができ様々な人間関係を構築できた」が27.9%、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられた」および「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすかった」が20.9%となっています。

小学校の規模別にみると、<単学級の学校><1学年2学級>では、「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせた」が最も多く、次いで「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられた」「運動場や体育館、特別教室などが余裕を持って使えた」が多くなっています。

<1学年3学級以上>では、「クラス替えができ様々な人間関係を構築できた」が44.8%と最も多く、次いで「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせた」が40.3%となっています。



「その他」の内容

- 特に不満がない、思い出せないから。
- なんとなく
- 1学年の人数をわっしょい割り振ったら3~4クラスが妥当だと思ったから

規模別の集計は次のページに掲載。

× 小学校規模別

(複数回答)

%		児童一人ひとりに 目が届きやすく、 きめ細かな教育が 受けられた	気の知れた仲間と アットホームな環 境で過ごせた	運動場や体育館、 特別教室などが余 裕を持って使えた	集団の中でコミュ ニケーション能力 を身に付けやす かった	クラス替えができ 様々な人間関係を 構築できた	クラブ活動・部活 動などの集団活動 や運動会などの行 事に活気がでた
小学校 規模別 の項目	全体(n=172)	20.9	50.6	19.8	20.9	27.9	18.0
	単学級の学校(n=8)	37.5	75.0	37.5	-	12.5	12.5
	1 学年 2 学級(n=89)	24.7	56.2	22.5	19.1	18.0	13.5
	1 学年 3 学級以上(n=67)	10.4	40.3	13.4	28.4	1.5	23.9

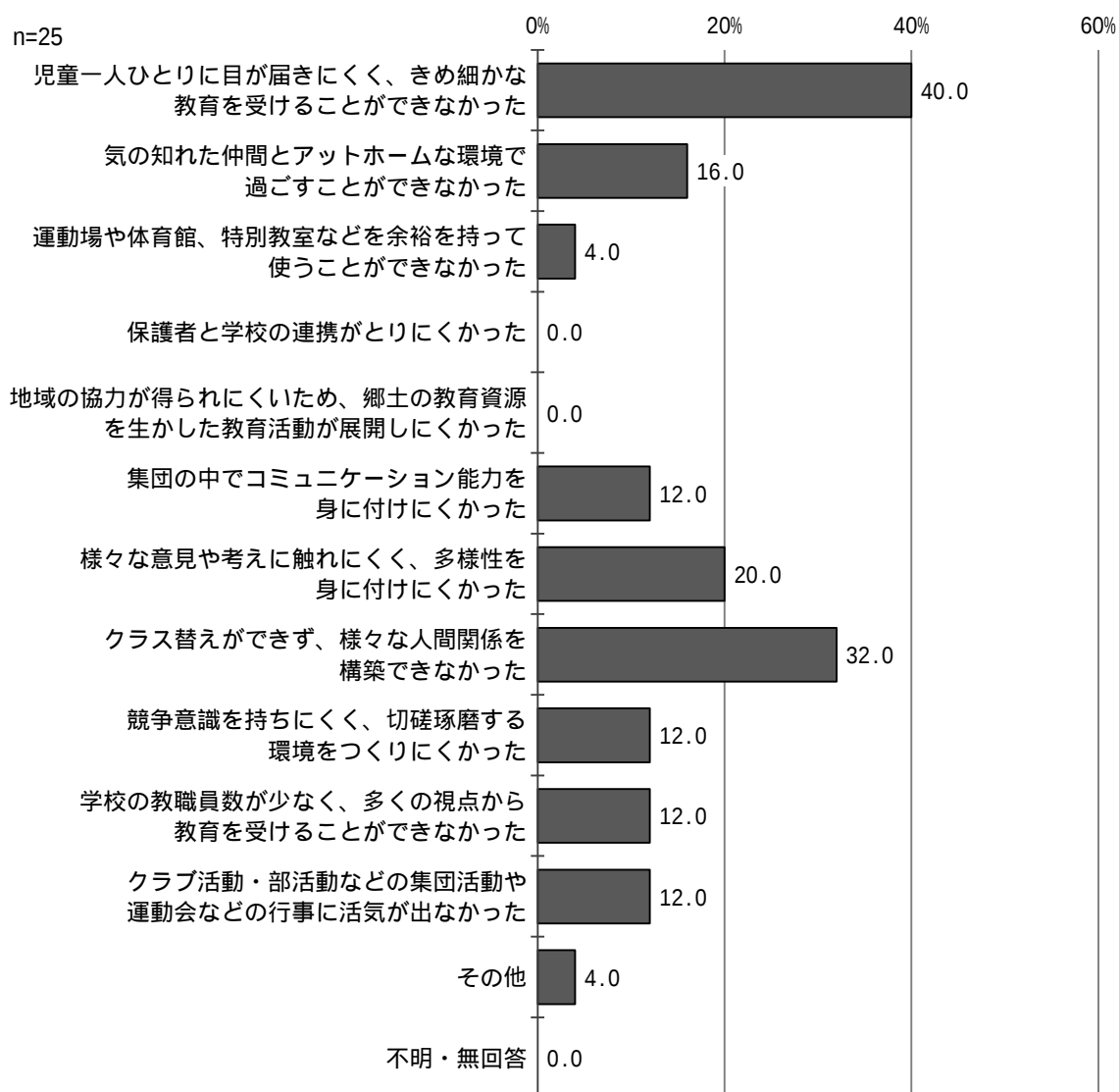
問 5 問 3 で「3」または「4」(卒業した小学校の学級数に不満である側)を選んだ方にお聞きします。「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

卒業した小学校の学級数に不満であるについてみると、全体では「児童一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな教育を受けることができなかった」が40.0%と最も多く、次いで「クラス替えができず、様々な人間関係を構築できなかった」が32.0%となっています。

小学校の規模別にみると<単学級の学校>では、「クラス替えができず、様々な人間関係を構築できなかった」が100.0%と最も多くなっています。

<1学年2学級>では、「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごすことができなかった」が42.9%と最も多くなっています。

<1学年3学級以上>では、「児童一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな教育を受けることができなかった」が63.6%と最も多くなっています。



「その他」の内容

○特別支援級だったからよくわからない。普通級の集団行動がむりだった。

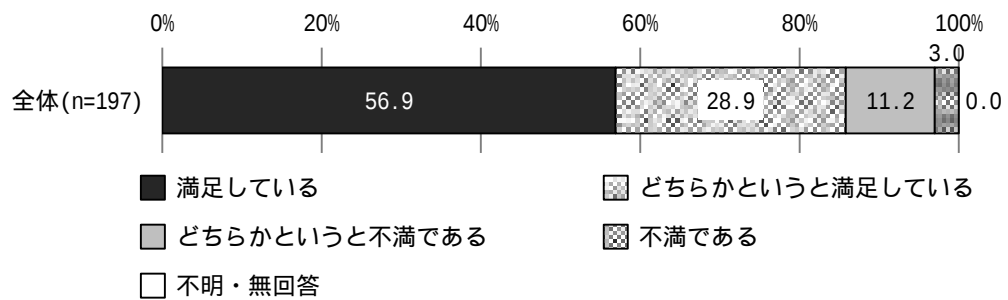
規模別の集計は次のページに掲載。

× 小学校規模別

%		児童一人ひとりに 目が届きにくく、 きめ細かな教育が 受けることができ なかった	気の知れた仲間と アットホームな環 境で過ごすことが できなかった	様々な意見や考え に触れにくく、多 様性を身に付けに くかった	クラス替えができ ず、様々な人間関 係を構築できな かった
小学校 規模別 の項目	全体(n=25)	40.0	16.0	20.0	32.0
	単学級の学校(n=5)	-	-	40.0	100.0
	1学年2学級(n=7)	28.6	42.9	-	28.6
	1学年3学級以上(n=11)	63.6	9.1	27.3	9.1

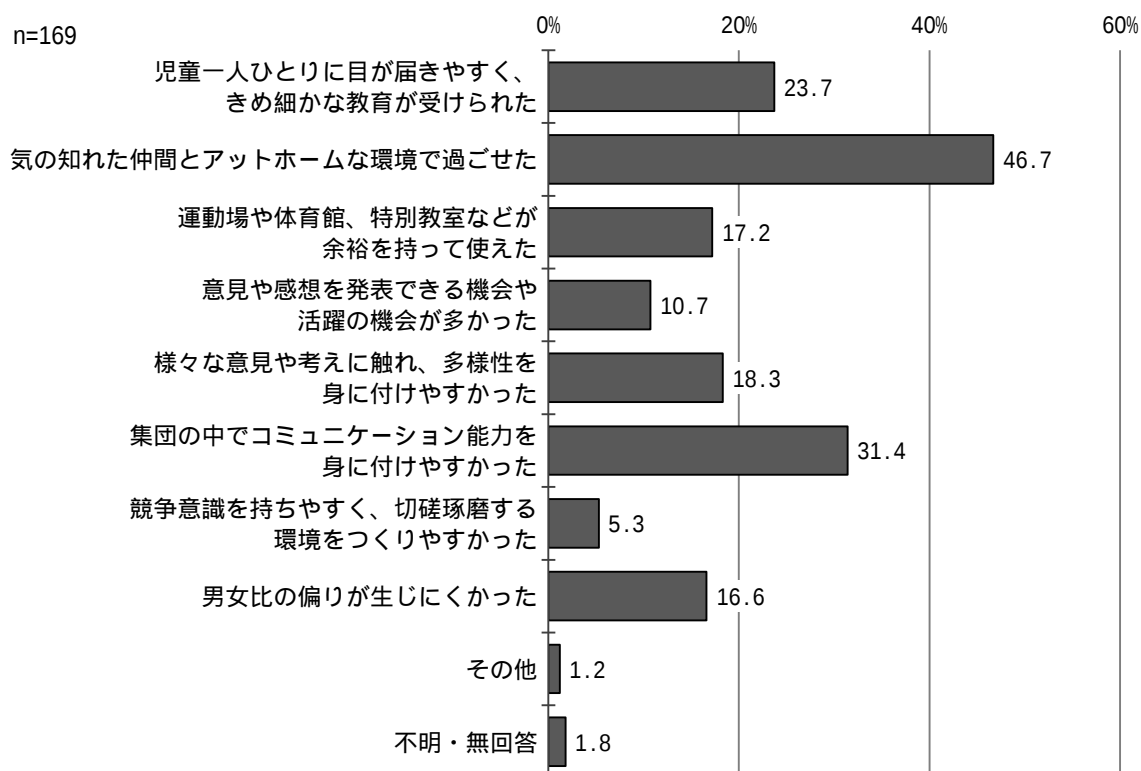
問 6 あなたが卒業した小学校の1学級あたりの児童数について、改めて振り返り、満足していますか。
(単数回答)

卒業した小学校における1学級の子どもの数の満足度についてみると、「満足している」が56.9%と最も多く、次いで「どちらかという満足している」が28.9%、「どちらかという不満である」が11.2%となっています。



問 7 問 6 で「1」または「2」(卒業した小学校における1学級の児童数に満足している側)を選んだ方にお聞きします。「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

卒業した小学校における1学級の児童数に満足している理由についてみると、全体では「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせた」が46.7%と最も多く、次いで「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすかった」が31.4%、「児童一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられた」が23.7%となっています。

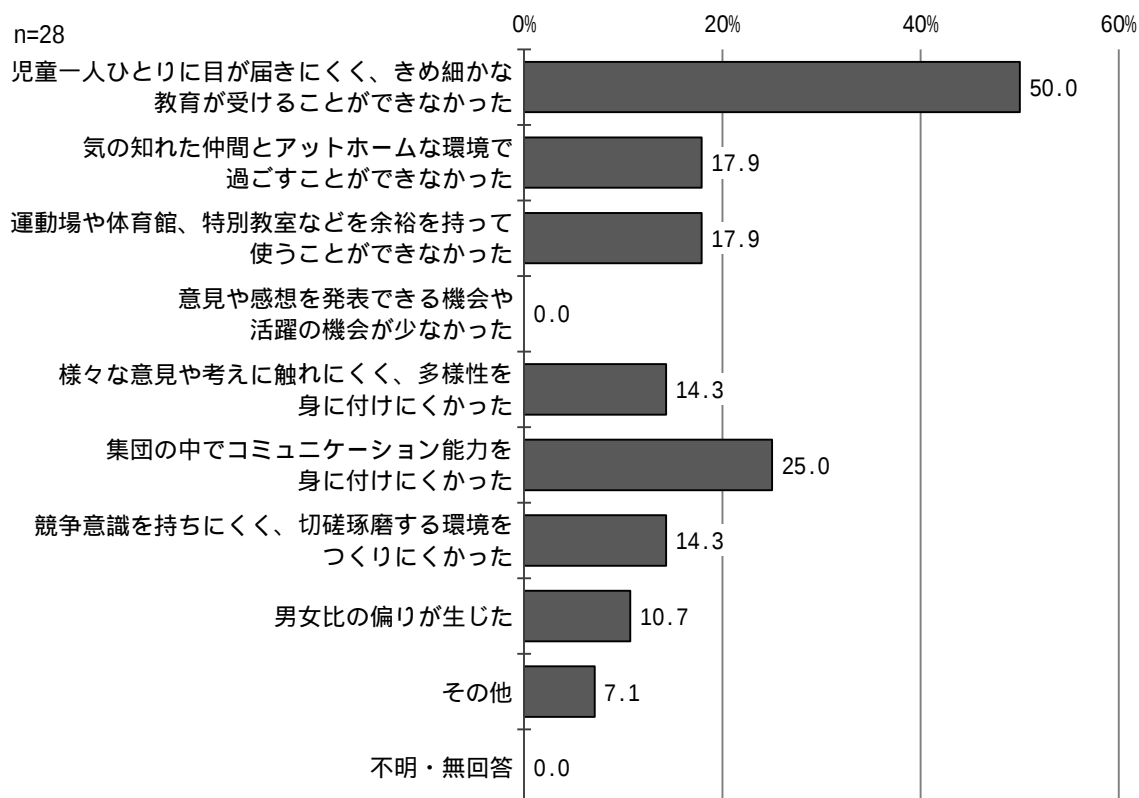


「その他」の内容

- 特に不満がない、思い出せないから。
- なんとなく

問 8 問 6 で「3」または「4」(卒業した小学校における1学級の児童数に不満である側)を選んだ方にお聞きします。「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

卒業した小学校における1学級の児童数に不満である理由についてみると、「児童一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな教育を受けることができなかった」が50.0%と最も多く、次いで「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けにくかった」が25.0%となっています。



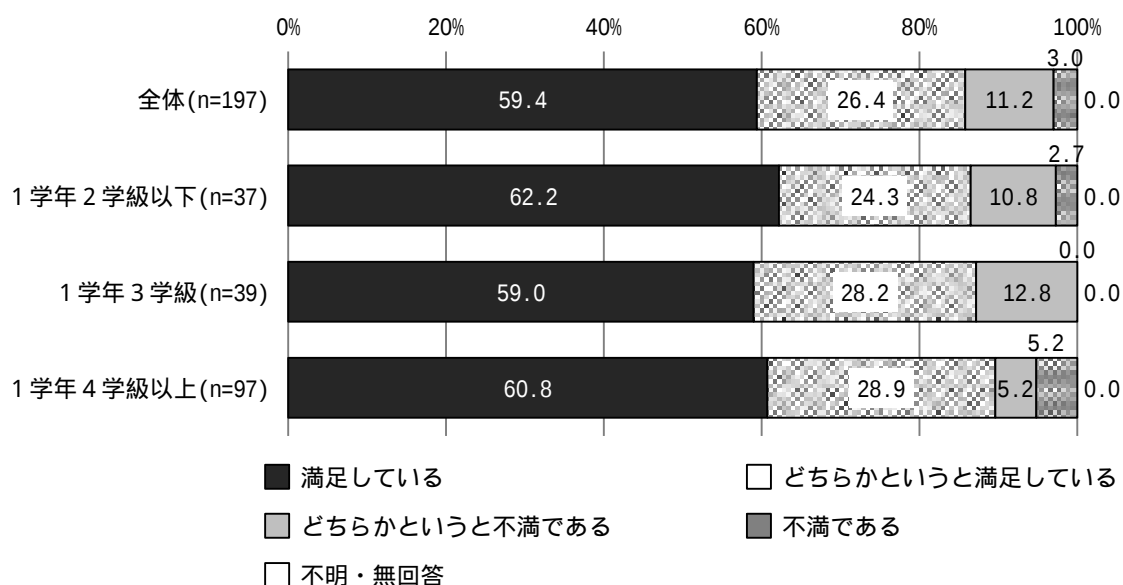
「その他」の内容

- 特別支援級だからわからない。ひとクラスに30人～40人位いる集合の中で過ごすのが無理だった。
- 40人以上だった記憶があるが、授業内容が分からないままで、ついていけなくなる生徒が多かったような記憶がある。また、自分の場合は8クラスあったので学年で、他の生徒とのコミュニケーションが取れにくかった。そんなことを考えると、学年で4クラス、クラスの人数は30人以下が良いかと思う。

問 9 あなたが卒業した中学校の1学年あたりの学級数について、改めて振り返り、満足していますか。 × 中学校規模別 (単数回答)

卒業した中学校の学級数への満足度についてみると、全体では「満足している」が59.4%と最も多く、次いで「どちらかという満足している」が26.4%、「どちらかという不満である」が11.2%となっています。

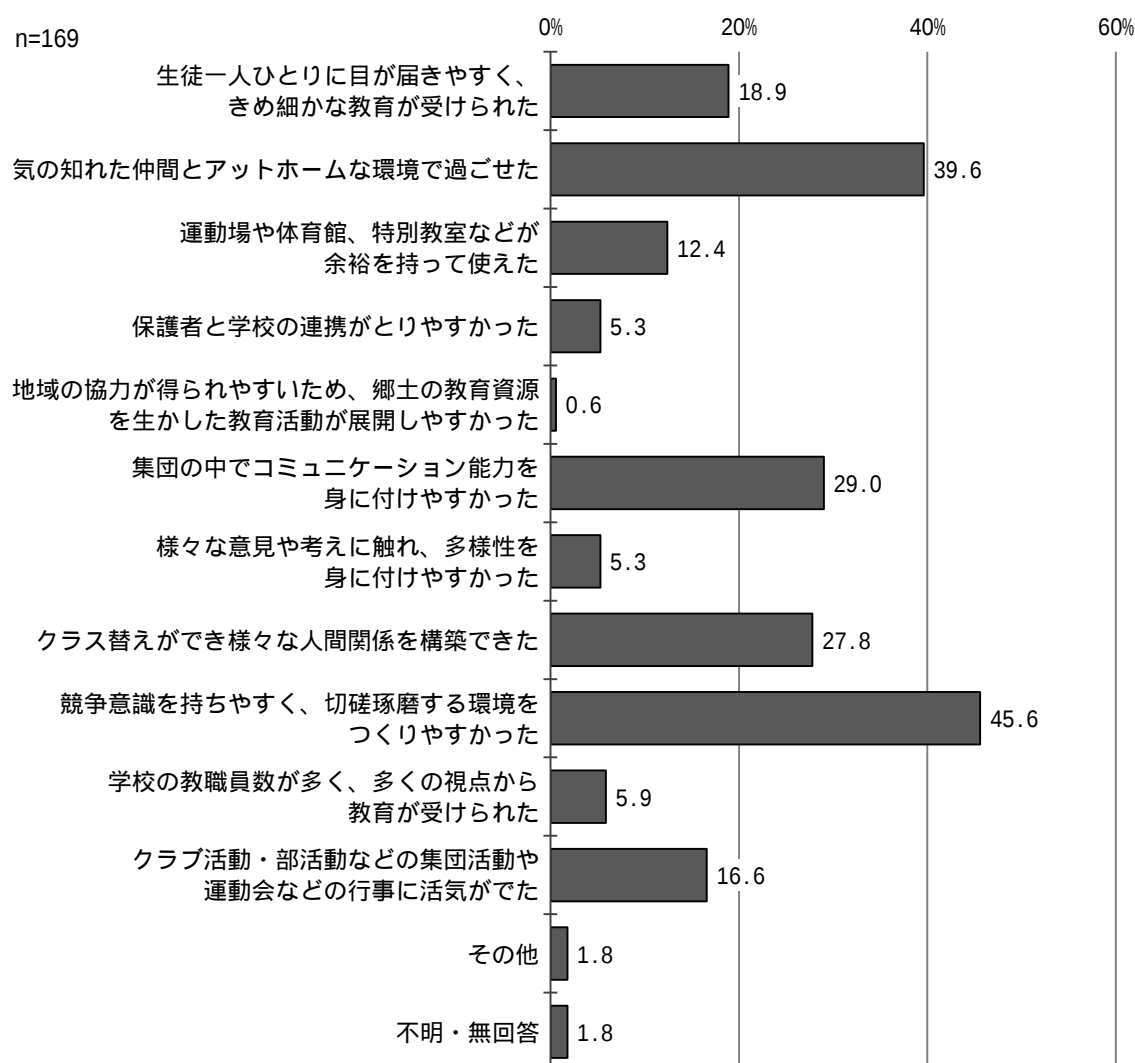
中学校の規模別にみると、各区分において概ね同様の結果となっています。



問 10 問 9 で「1」または「2」(卒業した中学校の学級数に満足している側)を選んだ方にお聞きします。「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

卒業した中学校の学級数に満足している理由についてみると、全体では「競争意識を持ちやすく、切磋琢磨する環境をつくりやすかった」が45.6%と最も多く、次いで「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせた」が39.6%、「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすかった」が29.0%となっています。

中学校の規模別にみると、いずれの区分でも「競争意識を持ちやすく、切磋琢磨する環境をつくりやすかった」が最も多く、次いで「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせた」となっています。



「その他」の内容

- 不満はないから。
- 支援学級にいたため通常級は関係なかったため
- なんとなく

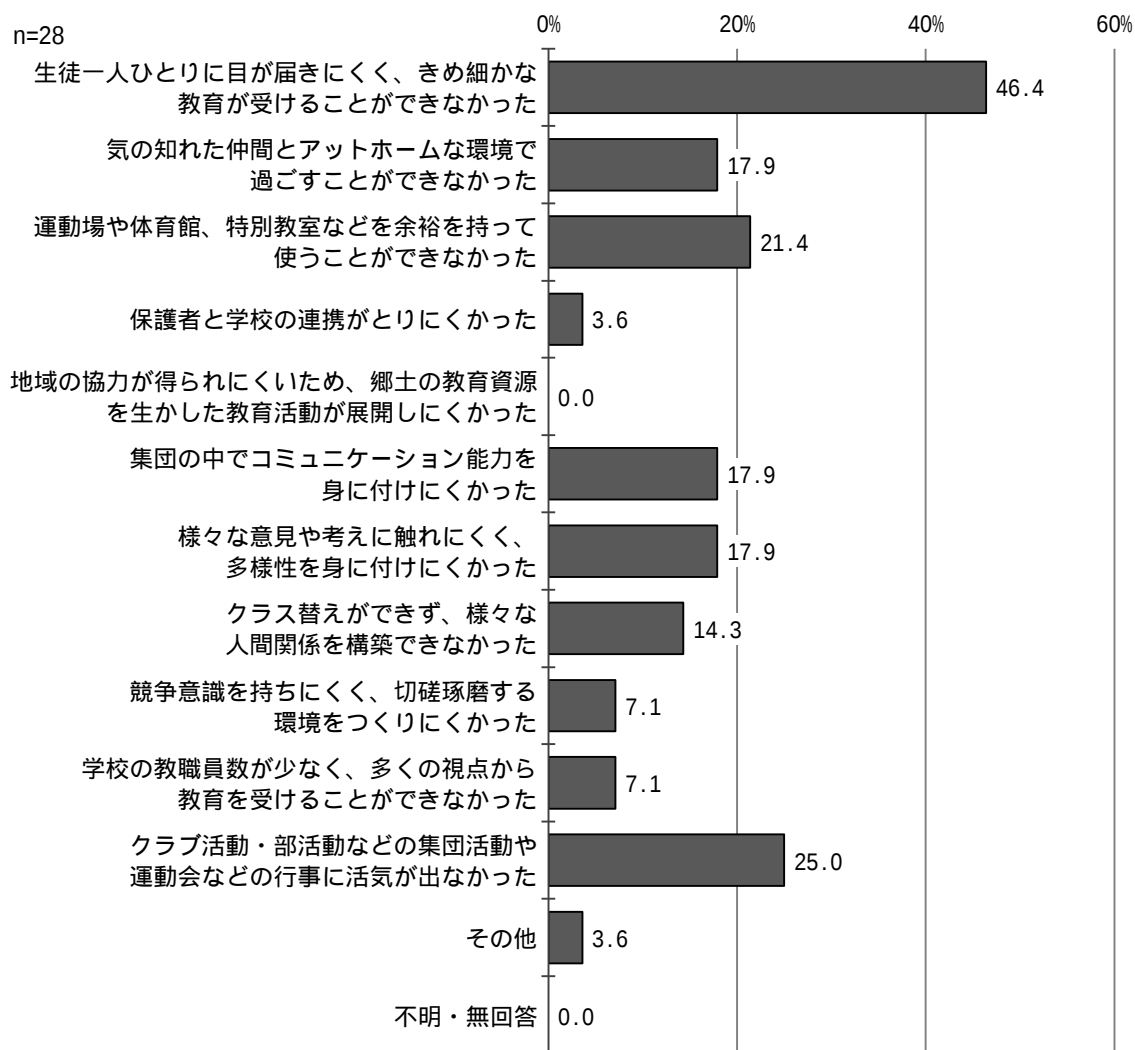
規模別の集計は次のページに掲載。

× 中学校規模別

%		生徒一人ひとりに 目が届きやすく、 きめ細かな教育が 受けられた	気の知れた仲間と アットホームな環 境で過ごせた	運動場や体育館、 特別教室などが余 裕を持って使えた	集団の中でコミュ ニケーション能力 を身に付けやす かった	クラス替えができ 様々な人間関係を 構築できた	競争意識を持ちや すく、切磋琢磨す る環境をつくりや すかった	クラブ活動・部活 動などの集団活動 や運動会などの行 事に活気がでた
中学校 規模別 の項目	全体(n=169)	18.9	39.6	12.4	29.0	27.8	45.6	16.6
	1 学年 2 学級以下(n=32)	37.5	46.9	21.9	18.8	9.4	50.0	6.3
	1 学年 3 学級(n=34)	17.6	44.1	11.8	26.5	32.4	52.9	20.6
	1 学年 4 学級以上(n=87)	8.0	36.8	8.0	35.6	35.6	43.7	20.7

問 11 問 9 で「3」または「4」(卒業した中学校の学級数に不満である側)を選んだ方にお聞きします。「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

卒業した中学校の学級数に不満である理由についてみると、「生徒一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな教育が受けることができなかった」が46.4%と最も多く、次いで「クラブ活動・部活動などの集団活動や運動会などの行事に活気が出なかった」が25.0%、「運動場や体育館、特別教室などが余裕を持って使うことができなかった」が21.4%となっています。

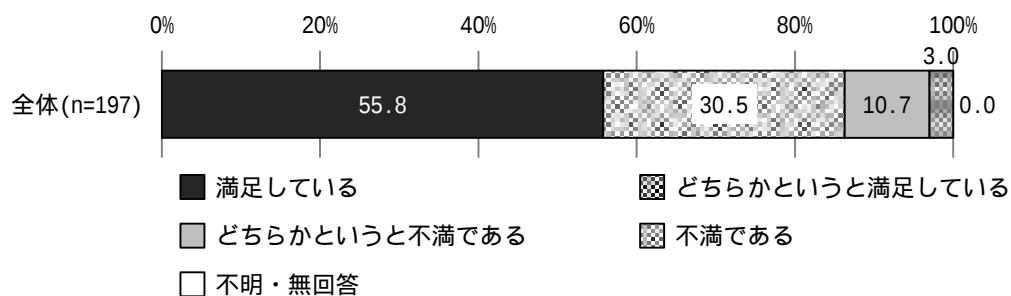


「その他」の内容

- 無理だったからフリースクールに行った。クラスも多すぎ、人も多すぎ、学区はこの学校、特別支援級も無理だった。

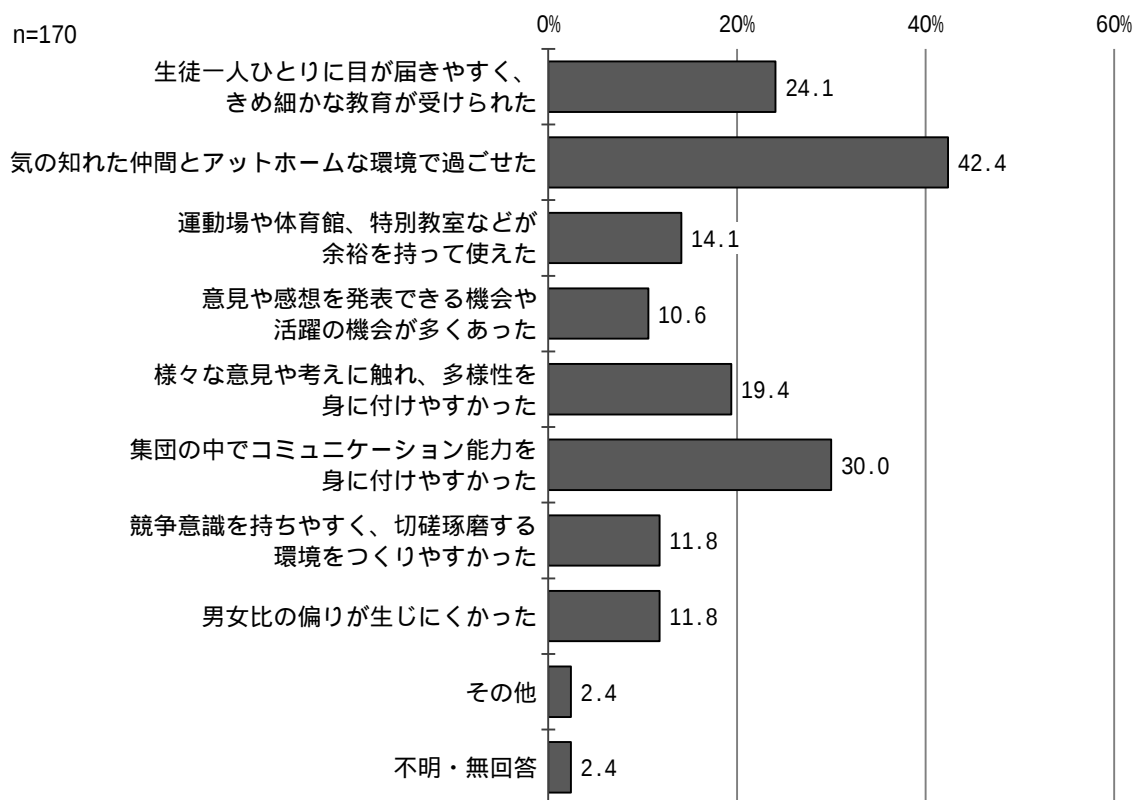
問 12 あなたが卒業した中学校の 1 学級あたりの生徒数について、改めて振り返り、満足していますか。
(単数回答)

卒業した中学校における 1 学級の子どもの数の満足度についてみると、「満足している」が 55.8%と最も多く、次いで「どちらかという満足している」が 30.5%、「どちらかという不満である」が 10.7%となっています。



問 13 問 12 で「1」または「2」(卒業した中学校における1学級の生徒数に満足している側)を選んだ方にお聞きします。「1」または「2」を選んだ理由は何ですか。
(複数回答)

卒業した中学校における1学級の児童数に満足している理由についてみると、「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごせた」が42.4%と最も多く、次いで「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けやすかった」が30.0%、「生徒一人ひとりに目が届きやすく、きめ細かな教育が受けられた」が24.1%となっています。

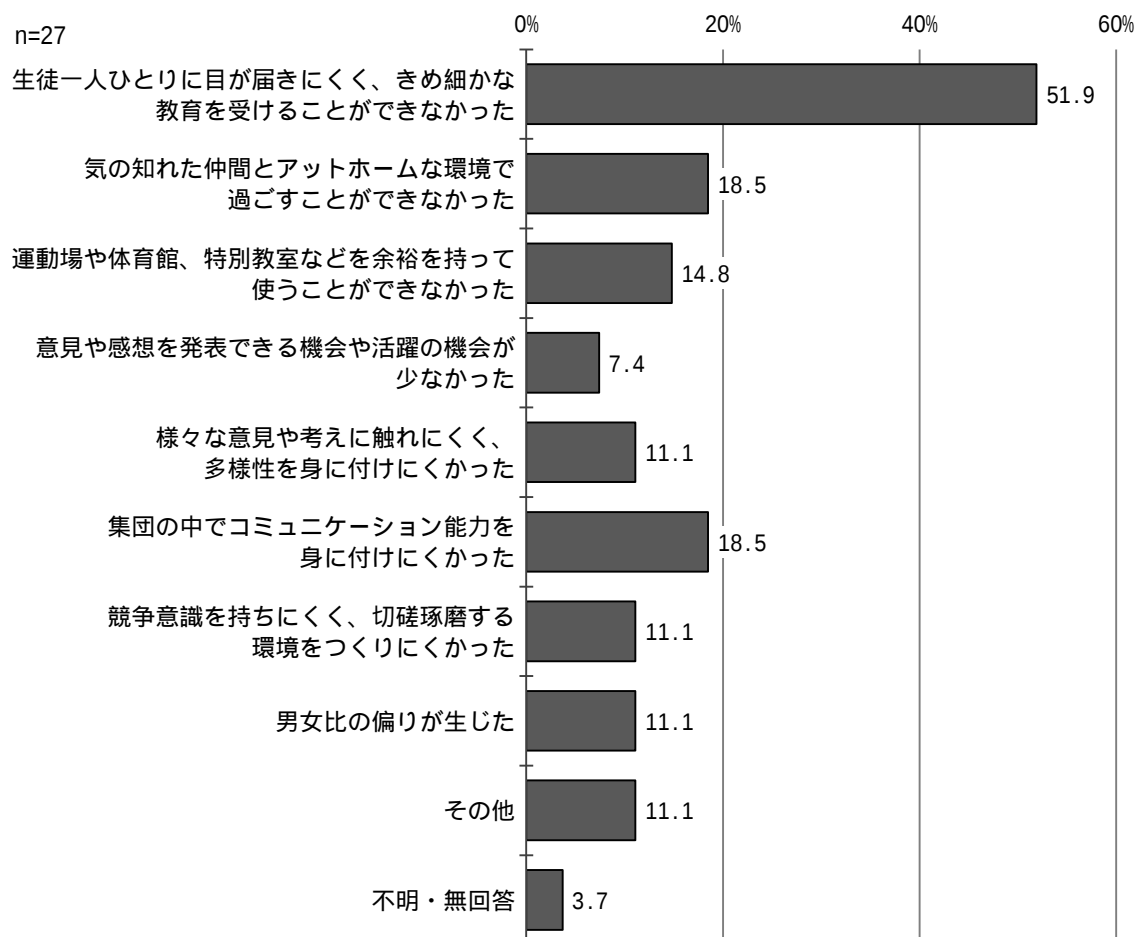


「その他」の内容

- 不満は無いから。
- 少なかったけどその分仲良くできた
- 個別の授業だけを選択して受けていたため
- なんとなく

問 14 問 12 で「3」または「4」(卒業した中学校における1学級の生徒数に不満である側)を選んだ方にお聞きします。「3」または「4」を選んだ理由は何ですか。(複数回答)

卒業した中学校における1学級の児童数に不満である理由についてみると、全体では「生徒一人ひとりに目が届きにくく、きめ細かな教育を受けることができなかった」が51.9%と最も多く、次いで「気の知れた仲間とアットホームな環境で過ごすことができなかった」「集団の中でコミュニケーション能力を身に付けにくかった」が18.5%となっています。



「その他」の内容

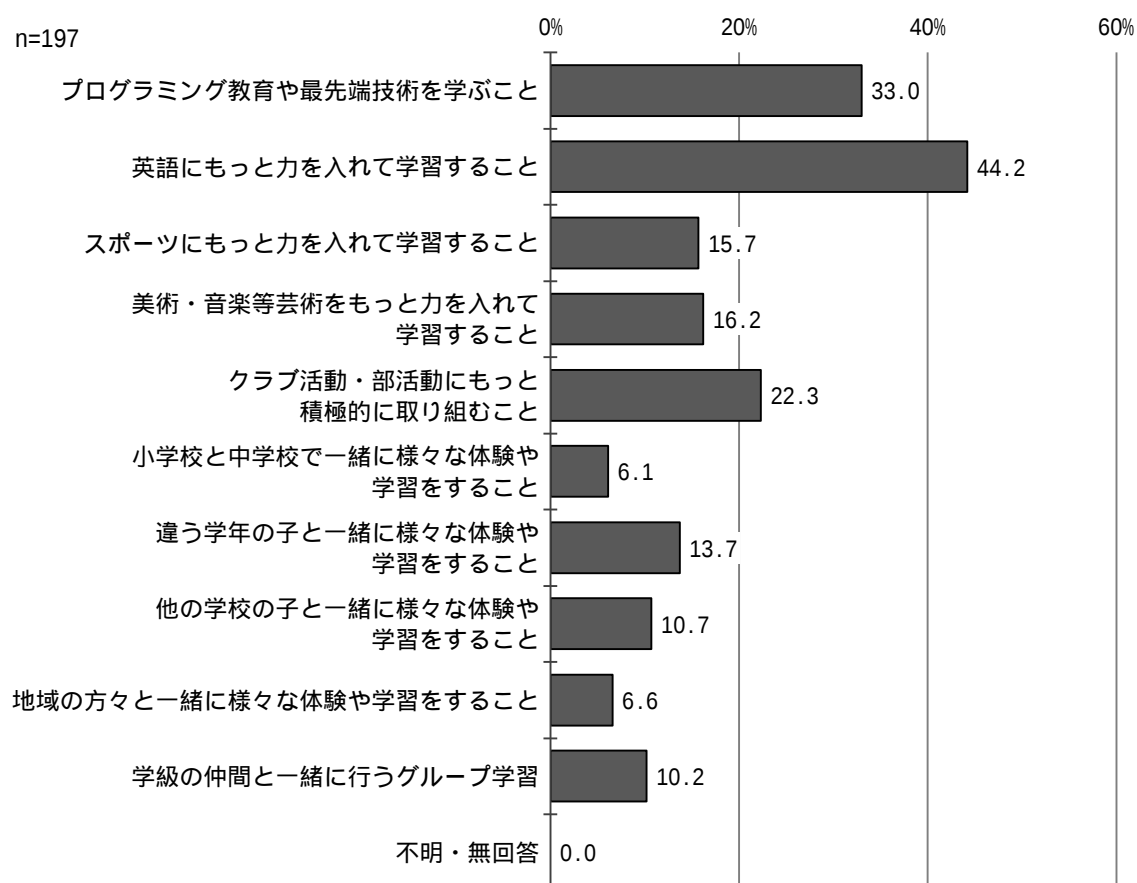
- 人数が少なすぎた
- フリースクールに行った為、わからない。
- クラスの人数的なものなのか、先生達の業務の多さからだとは思うので一概には責めることは出来ないが、マニュアル通りの指導で理不尽に感じる事が多く、お互いに誤解や意思の疎通が余り出来ていなかった。

問 15 小中学校生活でやってみたかったことはありますか。

(複数回答)

小中学校生活でやってみたかったことについてみると、全体では「英語にもっと力を入れて学習すること」が44.2%と最も多く、次いで「プログラミング教育や最先端技術を学ぶこと」が33.0%、「クラブ活動・部活動にもっと積極的に取り組むこと」が22.3%となっています。

地域別にみると、<西部><北部>では、「クラブ活動・部活動にもっと積極的に取り組むこと」が、その他の地域では「英語にもっと力を入れて学習すること」「プログラミング教育や最先端技術を学ぶこと」が多くなっています。



× 地域性（中学校区基準）

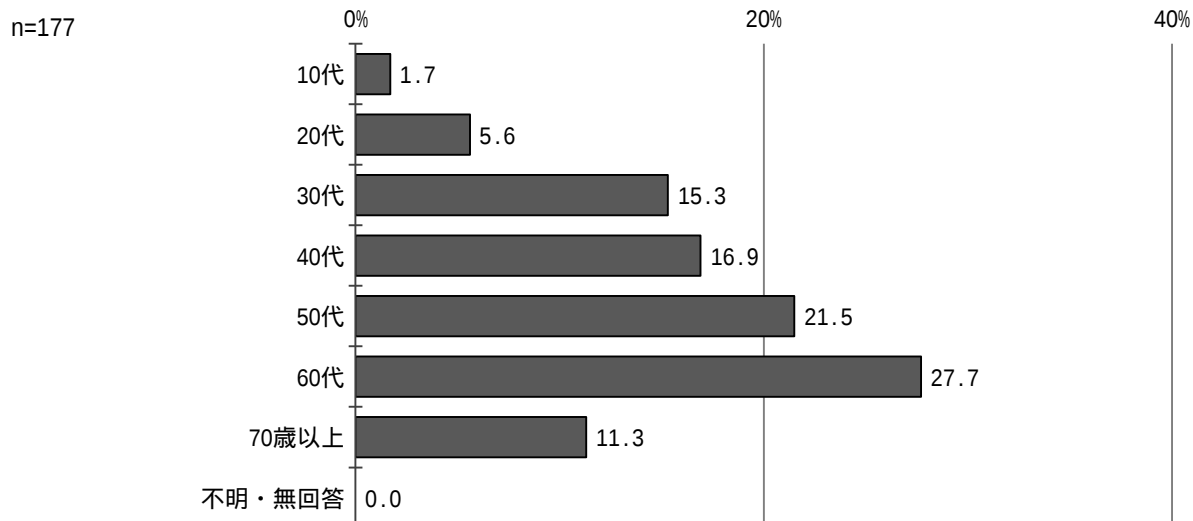
%		プログラミング教育や最先端技術を学ぶこと	英語にもっと力を入れて学習すること	スポーツにもっと力を入れて学習すること	美術・音楽等芸術をもっと力を入れて学習すること	クラブ活動・部活動にもっと積極的に取り組むこと	小学校と中学校で一緒に様々な体験や学習をすること	違う学年の子と一緒に様々な体験や学習をすること
	全体(n=197)	33.0	44.2	15.7	16.2	22.3	6.1	13.7
地域性（4地区）の項目	西部(n=17)	11.8	23.5	23.5	5.9	41.2	5.9	5.9
	北部(n=6)	16.7	16.7	16.7	50.0	50.0	16.7	-
	中央部(n=59)	37.3	54.2	16.9	18.6	15.3	3.4	13.6
	東部(n=91)	36.3	45.1	14.3	15.4	19.8	8.8	14.3
	東部1(n=50)	42.0	56.0	18.0	20.0	12.0	2.0	10.0
地域性（6地区）の項目	西部(n=17)	11.8	23.5	23.5	5.9	41.2	5.9	5.9
	北部(n=6)	16.7	16.7	16.7	50.0	50.0	16.7	-
	中央部(n=31)	32.3	48.4	16.1	22.6	25.8	9.7	9.7
	南部(n=17)	35.3	58.8	17.6	5.9	11.8	-	23.5
	東部2(n=52)	34.6	38.5	11.5	13.5	21.2	11.5	17.3
%		他の学校の子と一緒に様々な体験や学習をすること	地域の方々と一緒に様々な体験や学習をすること	学級の仲間と一緒に行うグループ学習	不明・無回答			
	全体(n=197)	10.7	6.6	10.2				
地域性（4地区）の項目	西部(n=17)	29.4	5.9	11.8				
	北部(n=6)	-	-	-				
	中央部(n=59)	10.2	10.2	6.8				
	東部(n=91)	6.6	4.4	13.2				
	東部1(n=50)	10.0	6.0	6.0				
地域性（6地区）の項目	西部(n=17)	29.4	5.9	11.8				
	北部(n=6)	-	-	-				
	中央部(n=31)	3.2	6.5	6.5				
	南部(n=17)	5.9	11.8	11.8				
	東部2(n=52)	9.6	5.8	17.3				

第 8 章 青梅市内在住の 18 歳以上無作為抽出調査

問 2 ご自身の年代をお答えください。

(単数回答)

回答者の年代についてみると、「60代」が 27.7%と最も多く、次いで「50代」が 21.5%、「40代」が 16.9%となっています。

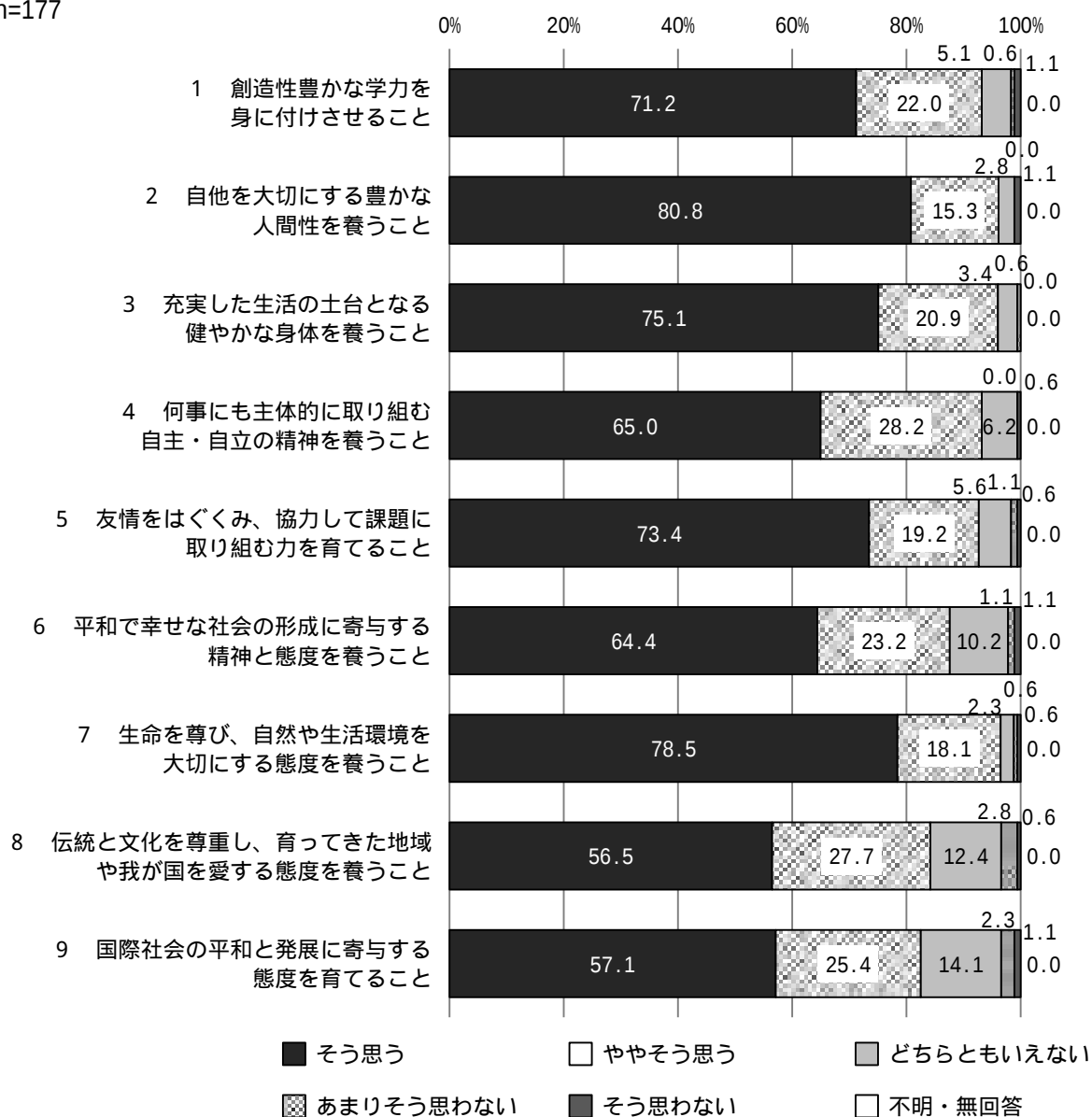


問 3 小・中学校に力を入れてほしい教育内容をお聞かせください。

小・中学校に力を入れてほしい教育内容についてみると、いずれの項目でも「そう思う」が5割以上となっています。中でも、＜2 自他を大切にする豊かな人間性を養うこと＞で80.8%と、特に多くなっています。

また、「あまりそう思わない」「そう思わない」については、いずれも5%未満となっています。

n=177

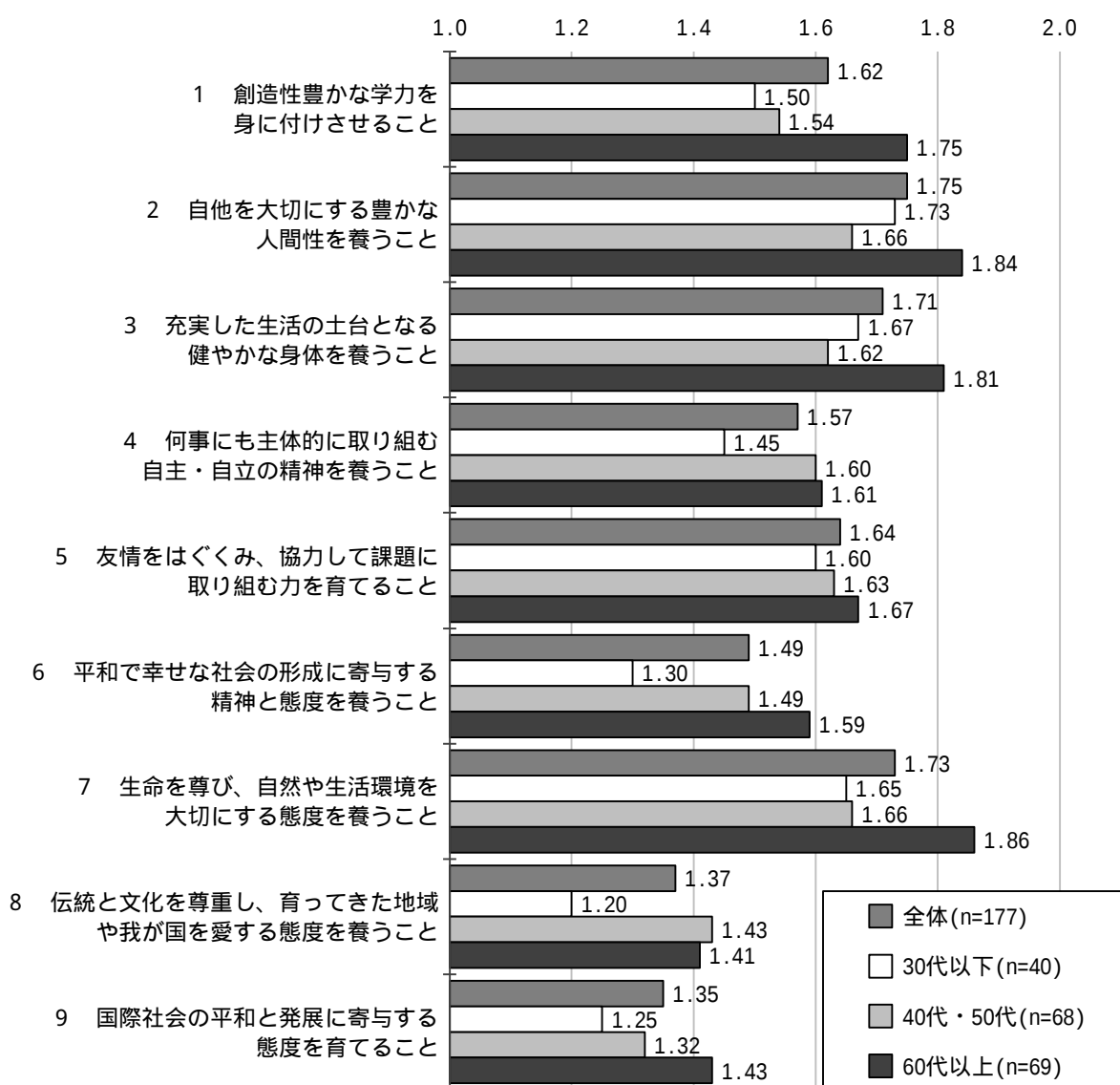


力を入れてほしい教育内容 × 年代別・平均値比較

小・中学校に力を入れてほしい教育内容について、「そう思う」を2点、「ややそう思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「あまりそう思わない」を－1点、「そう思わない」を－2点として、各項目に対する平均点及び、年代別に見た平均点を算出しています。

全体では、「2 自他を大切にできる豊かな人間性を養うこと」で1.75点と最も高く、次いで「7 生命を尊び、自然や生活環境を大切にできる態度を養うこと」で1.73点となっています。

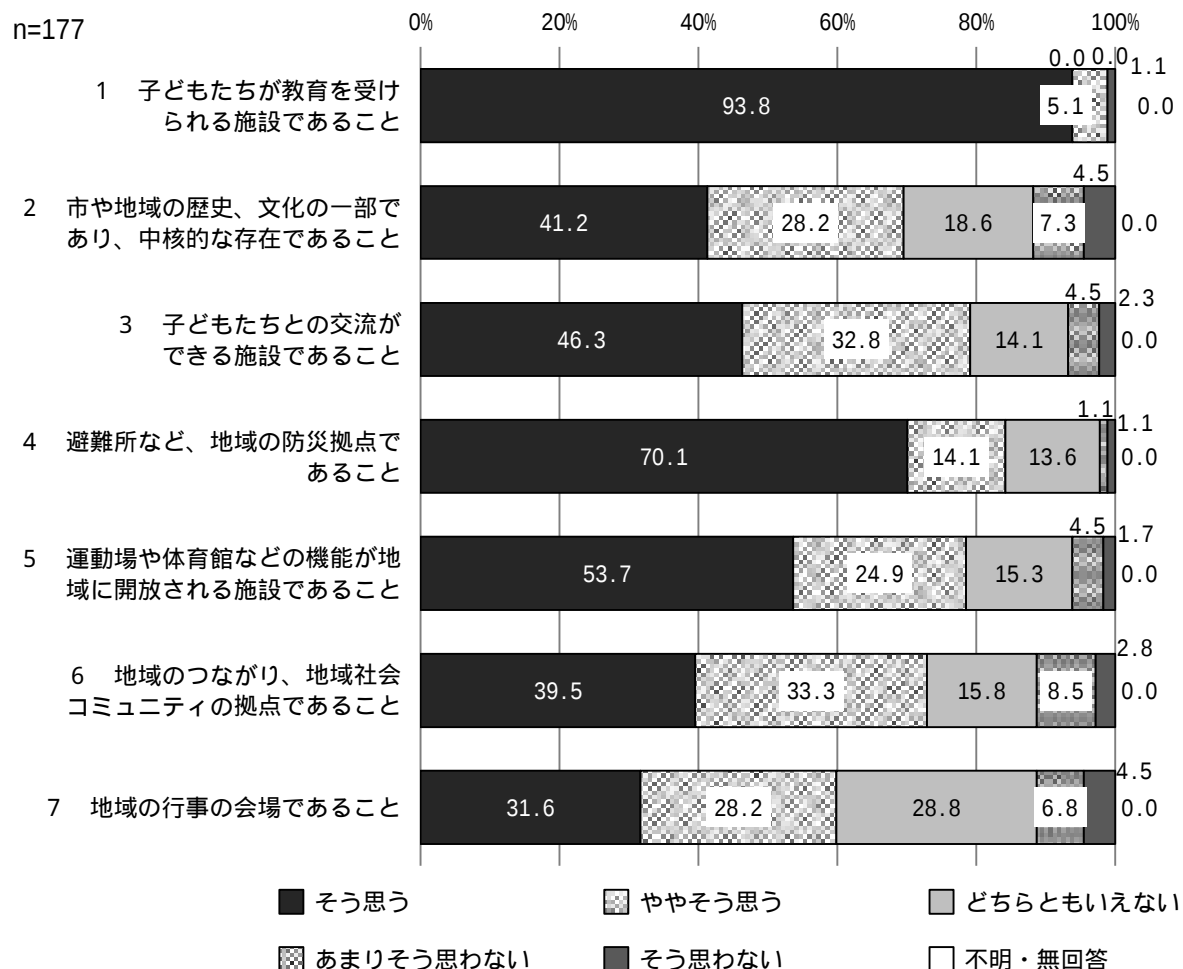
年代別にみると、<30代以下>では「2 自他を大切にできる豊かな人間性を養うこと」で1.73点と最も高く、次いで「3 充実した生活の土台となる健やかな身体を養うこと」で1.67点となっています。



問 4 小・中学校として学校施設に期待することをお聞かせください。

小・中学校の学校施設に期待することについてみると、<1 子どもたちが教育を受けられる施設であること>では、「そう思う」が93.8%と特に多くなっています。

「そう思う」の割合をみると、次いで<4 避難所など、地域の防災拠点であること>で70.1%と多くなっています。一方で、<7 地域の行事の会場であること>では31.6%と、他に比べて少なくなっています。

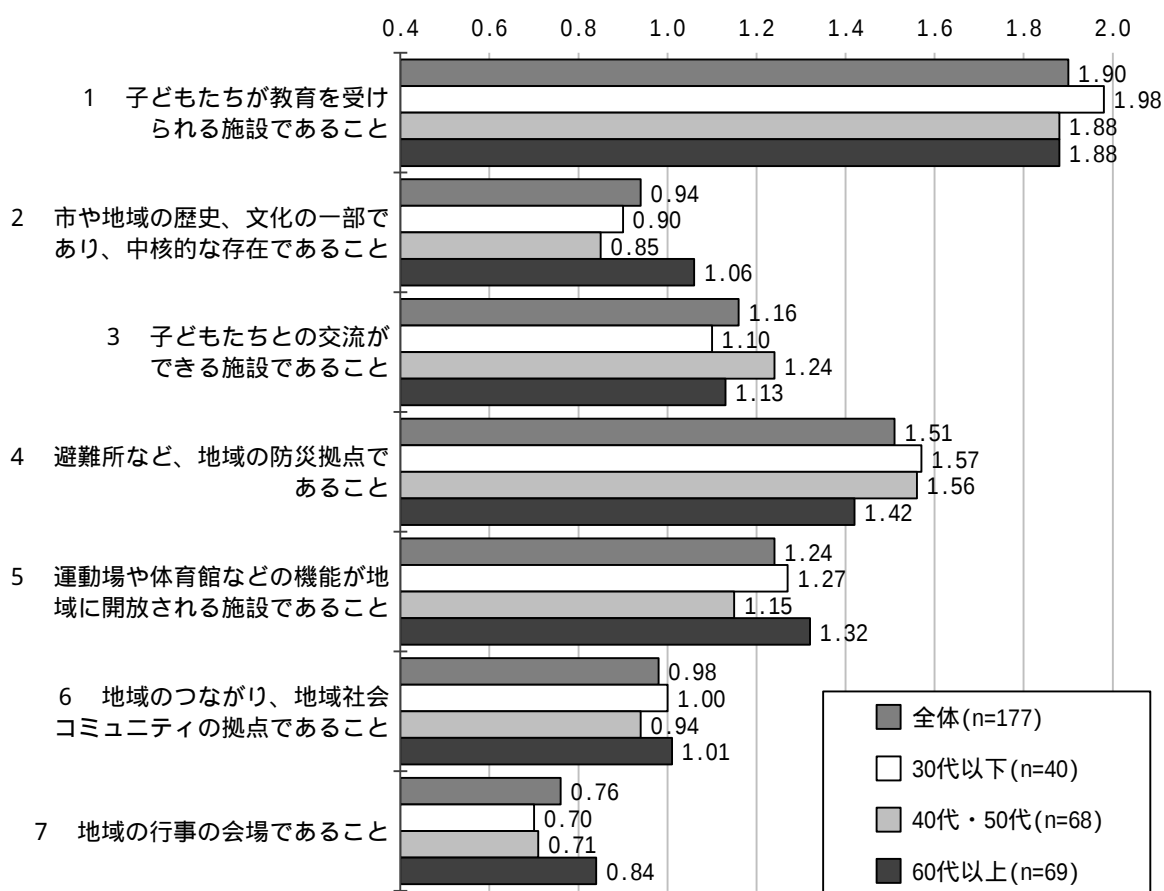


学校施設に期待すること × 年代別・平均値比較

小・中学校の学校施設に期待することについて、「そう思う」を2点、「ややそう思う」を1点、「どちらともいえない」を0点、「あまりそう思わない」を-1点、「そう思わない」を-2点として、各項目に対する平均点及び、年代別に見た平均点を算出しています。

全体及び、年代別にみたすべての区分で、「1 子どもたちが教育を受けられる施設であること」が最も多く、次いで「4 避難所など、地域の防災拠点であること」となっています。

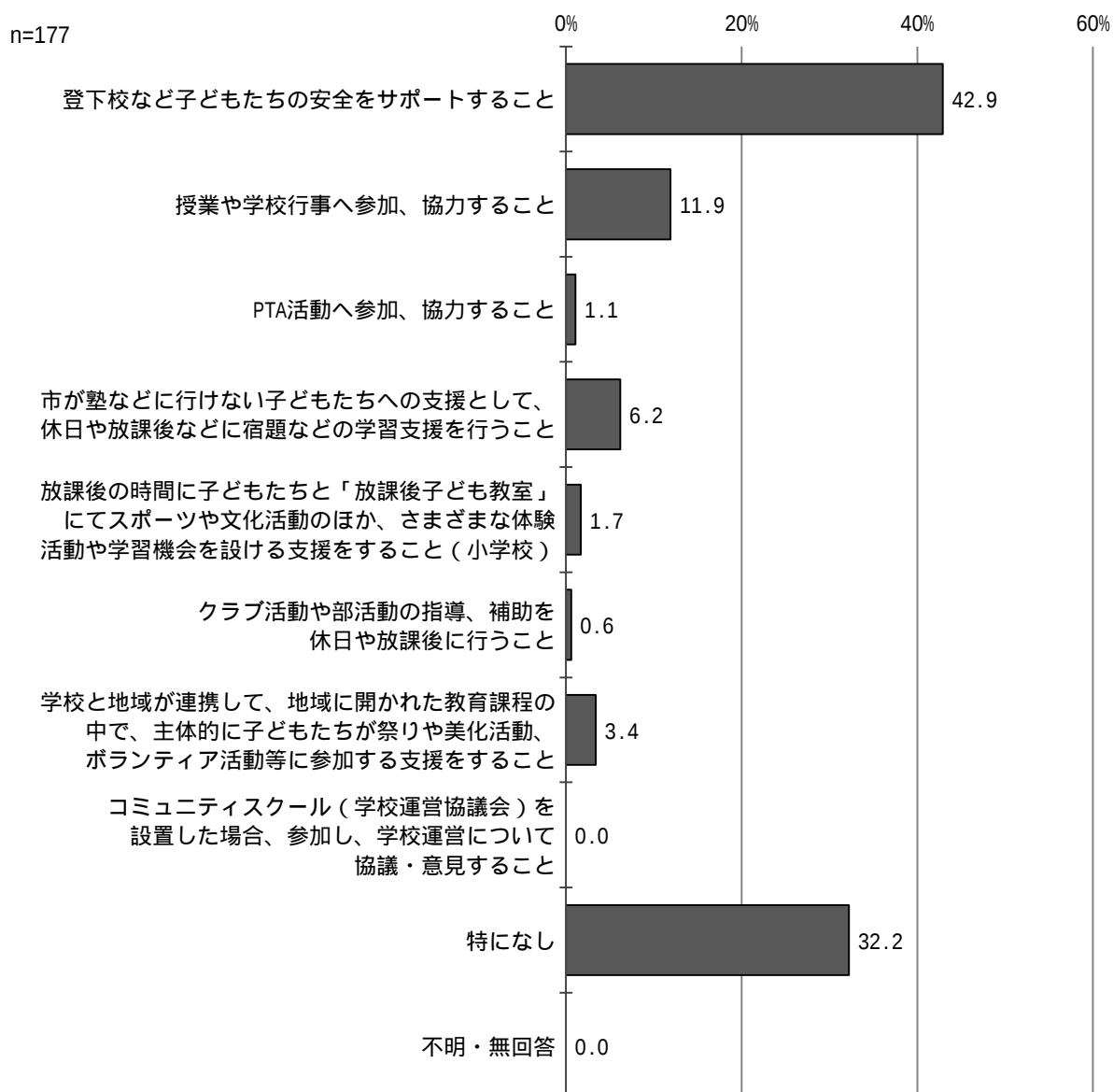
3番目に多い項目についてみると、<30代以下><60代以上>では「5 運動場や体育館などの機能が地域に開放される施設であること」が、<40代・50代>では「3 子どもたちとの交流ができる施設であること」が続いています。



問 5 今後ご自身と小・中学校との関わり方で、行っていききたいと思うものはありますか。
(単数回答)

小・中学校との関わり方の意向についてみると、全体では「登下校など子どもたちの安全をサポートすること」が42.9%と最も多く、次いで「特になし」が32.2%、「授業や学校行事へ参加、協力すること」が11.9%となっています。

年代別にみると、「登下校など子どもたちの安全をサポートすること」は年代が上がるほど多くなっています。



× 年代別

%		登下校など子どもたちの安全をサポートすること	授業や学校行事へ参加、協力すること	PTA活動へ参加、協力すること	市が塾などに行けない子どもたちへの支援として、休日や放課後などに宿題などの学習支援を行うこと	放課後の時間に子どもたちと「放課後子ども教室」にてスポーツや文化活動のほか、さまざまな体験活動や学習機会を設ける支援をすること（小学校）	学校と地域が連携して、地域に開かれた教育課程の中で、主体的に子どもたちが祭りや美化活動、ボランティア活動等に参加する支援をすること	特になし
年代別の項目	全体(n=177)	42.9	11.9	1.1	6.2	1.7	3.4	32.2
	30代以下(n=40)	32.5	22.5	2.5	7.5	5.0	-	30.0
	40代・50代(n=68)	38.2	14.7	-	7.4	1.5	1.5	35.3
	60代以上(n=69)	53.6	2.9	1.4	4.3	-	7.2	30.4